

# 今治市子ども・子育て会議

## 会議次第

日時 平成31年2月28日(木) 16時から17時(予定)

場所 今治市役所 第1別館10階 101会議室

### 1 開会

### 2 議題

○今治市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果について【資料1】

### 3 部会報告

○教育・保育部会より【資料2】

### 4 その他

### 5 閉会

---

---

今 治 市

子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査

---

---

調査報告書

平成31年2月

今治市 健康福祉部 子育て支援課

# 目 次

I 今治市の状況	1
II 調査の概要	13
III 調査結果（就学前児童）	15
あて名のお子さんご家族の状況	16
子どもの育ちをめぐる環境	20
保護者の就労状況	24
平日の定期的な教育・保育事業の利用	33
地域の子育て支援事業の利用状況	41
土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用 希望	46
「幼児教育・保育無償化」	50
病気の際の対応	53
不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用	59
小学校就業後の放課後の過ごし方	64
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	70
子育て全般	80
子育てを支援する生活環境の整備	83
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	85
行政への要望	88
IV 調査結果（放課後児童クラブ）	90

## I 今治市の状況

# Ⅰ 人口・世帯数等の状況

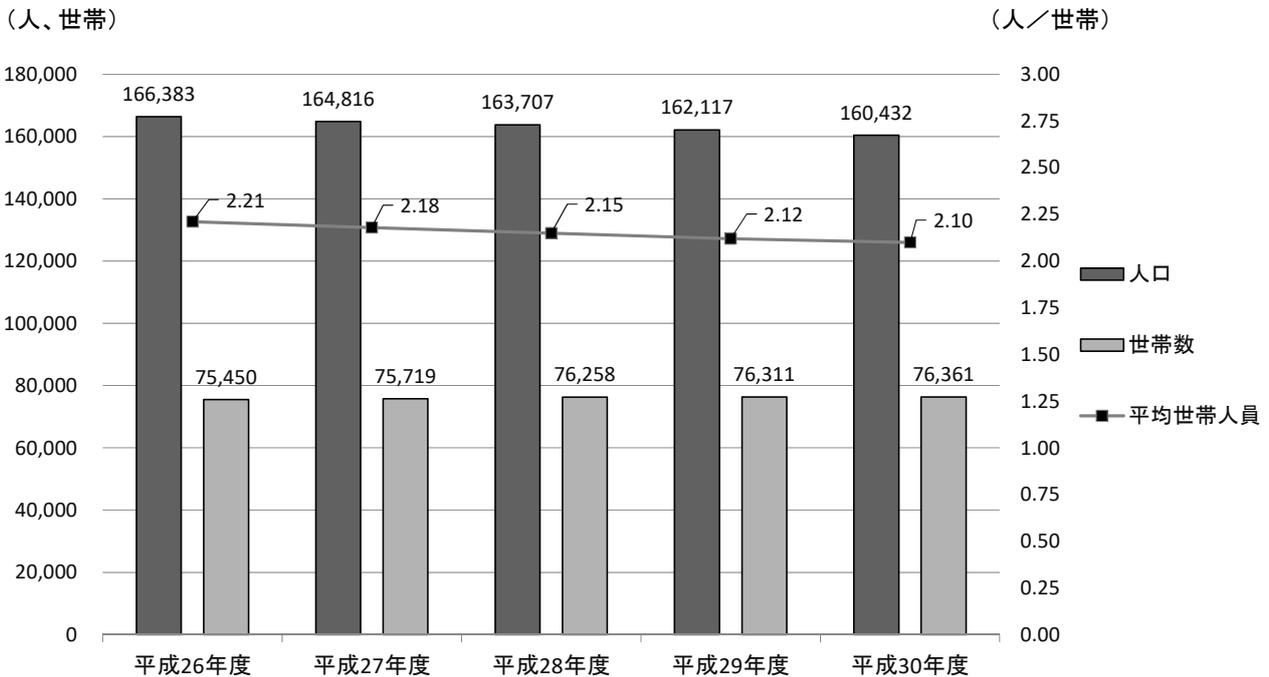
## ■ 総人口

今治市総人口は、減少の一途であり、H26-H30では5,951人減（3.6%減）です。総世帯数は、微増傾向にあり、H26-H30では911世帯増（1.2%増）です。しかしながら、平均世帯人員は減少傾向にあり、H26-H30では-0.11人/世帯となっていることから、独居世帯、二人世帯が増加していると思われます。

陸地部の人口は、今治市総人口と同じ傾向を示しており、H26-H30では3,902人減（2.7%減）です。陸地部の世帯数は、微増傾向にあり、H26-H30では1,361世帯増（2.1%増）です。しかしながら、平均世帯人員は減少傾向にあり、H26-H30では-0.10人/世帯となっていることから、独居世帯、二人世帯が増加していると思われます。

島しょ部の人口は、今治市総人口と同じ傾向を示しており、H26-H30では2,049人減（10.0%減）です。島しょ部の世帯数は、減少傾向にあり、H26-H30では450世帯減（4.6%減）です。平均世帯人員は減少傾向にあり、H26-H30では-0.11人/世帯となっていることから、親子世帯等3人以上の世帯から子どもの独立による島しょ部外への転出や自然減していると思われます。

### 【今治市全体】

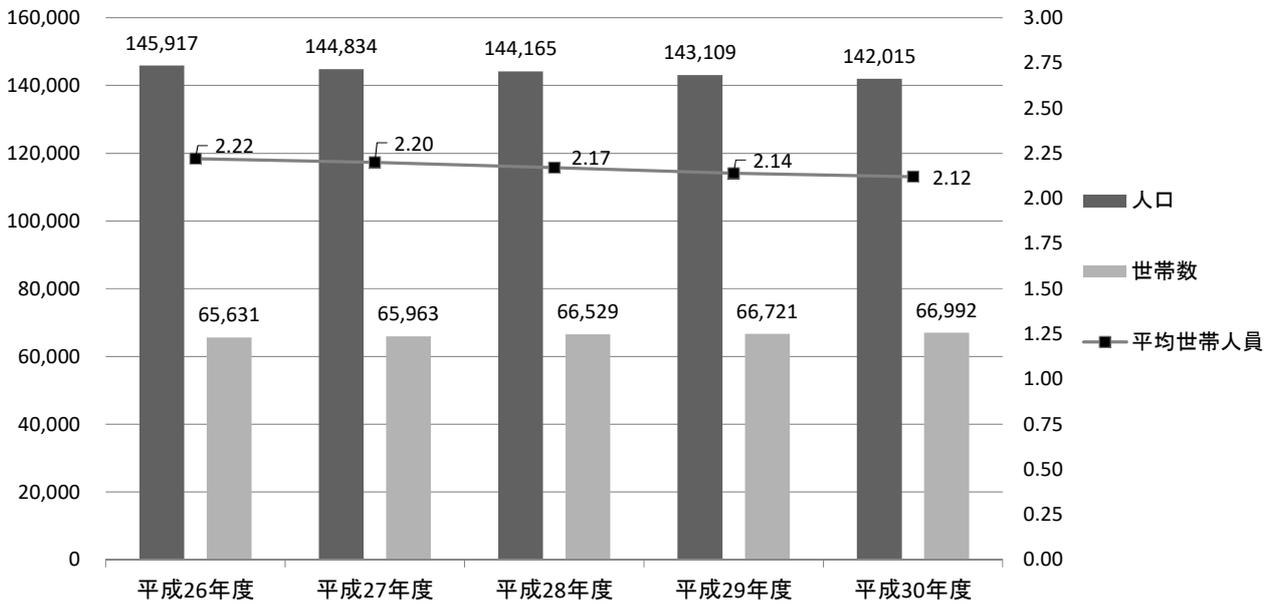


住民基本台帳（各年10月末日現在）

### 【陸地部】

(人、世帯)

(人／世帯)

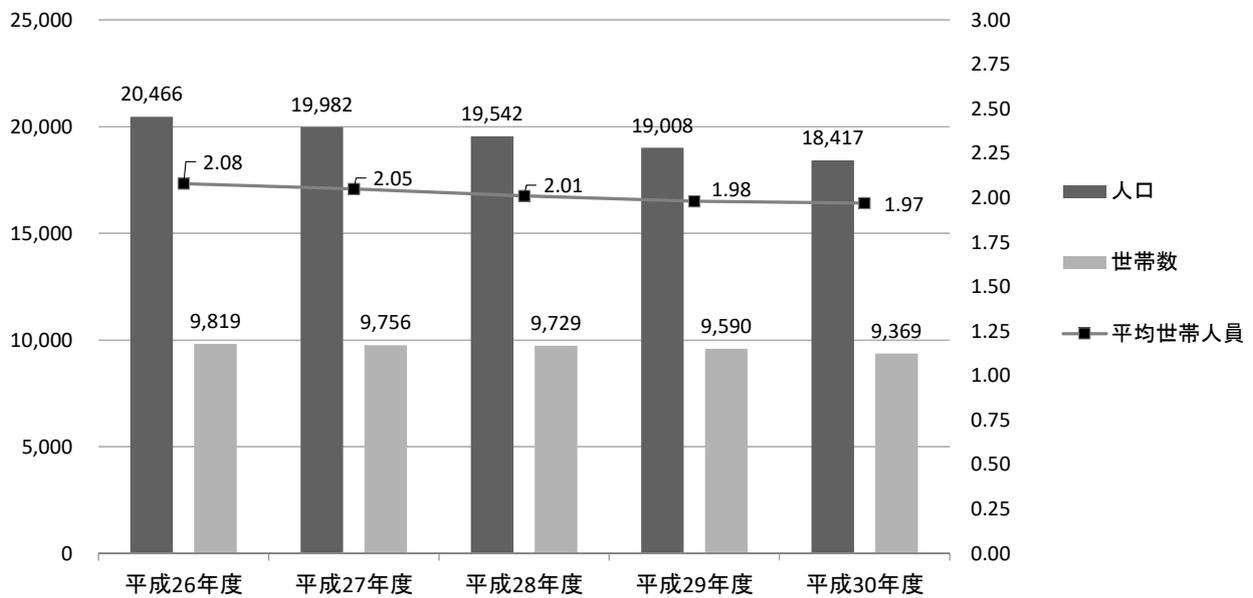


住民基本台帳（各年10月末日現在）

### 【島しょ部】

(人、世帯)

(人／世帯)



住民基本台帳（各年10月末日現在）

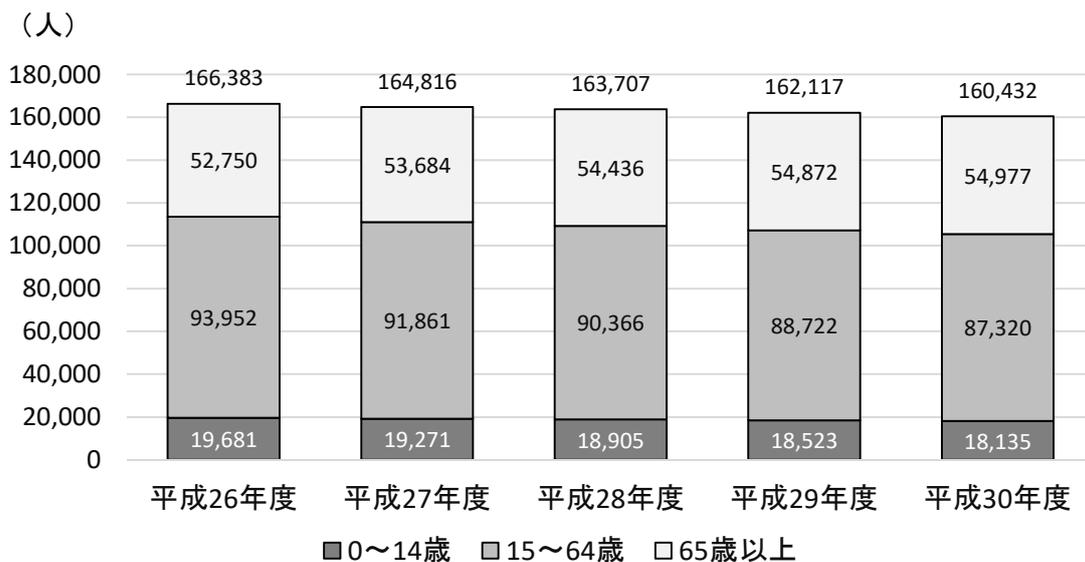
## ■年齢3区分別人口

今治市全体の年齢3区分別人口は、0～14歳（年少人口）と15～64歳（生産年齢人口）は減少の一途であり、65歳以上（高齢人口）は増加傾向になっています。

平成30年の年少人口は、0～5歳が6,500人、6～11歳が7,690人、12～14歳が3,945人となっています。

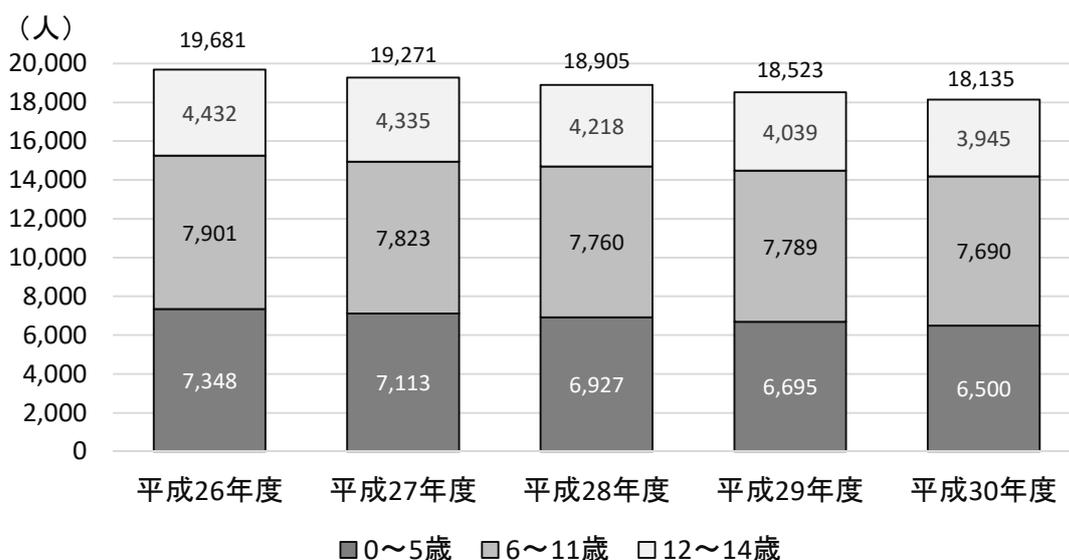
今治市全体の男女別人口は、45歳以上から女性が多くなっています。85歳以上になると女性は男性の約2.5倍多くなっています。

### 【今治市全体・年齢3区分別人口】



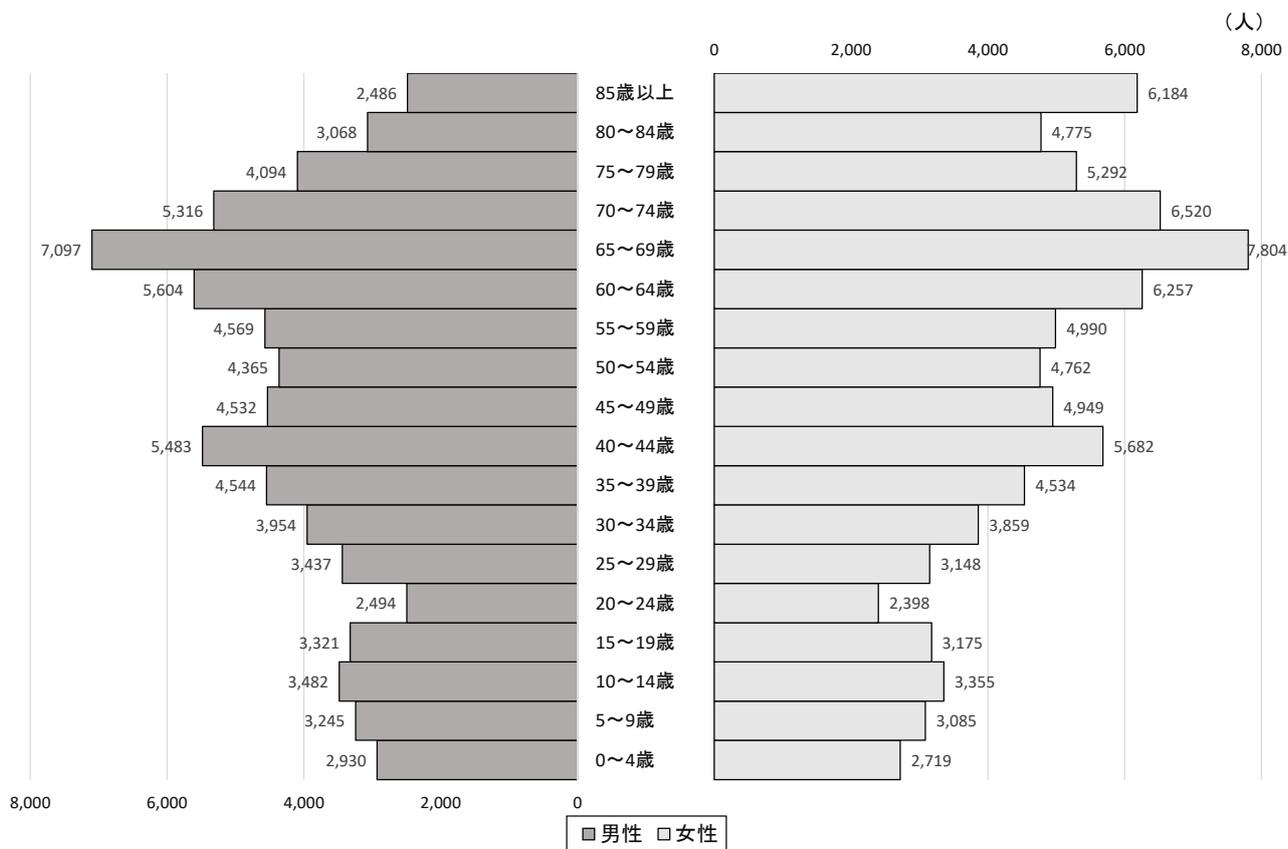
住民基本台帳（各年10月末日現在）

### 【今治市全体・年少人口】



住民基本台帳（各年10月末日現在）

【今治市全体・男女別人口ピラミッド】

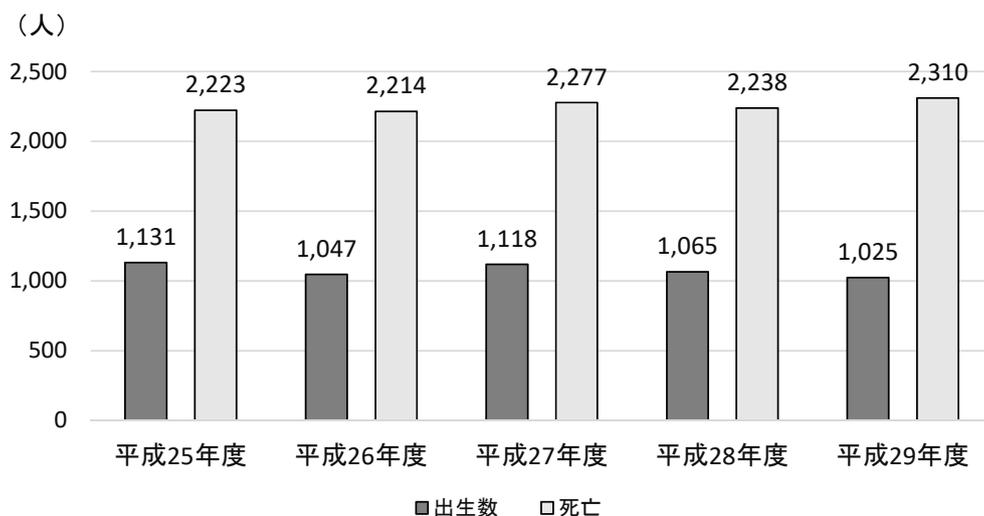


住民基本台帳（平成 30 年 10 月末日現在）

## 2 人口動態の状況

### ■出生数・死亡数の推移

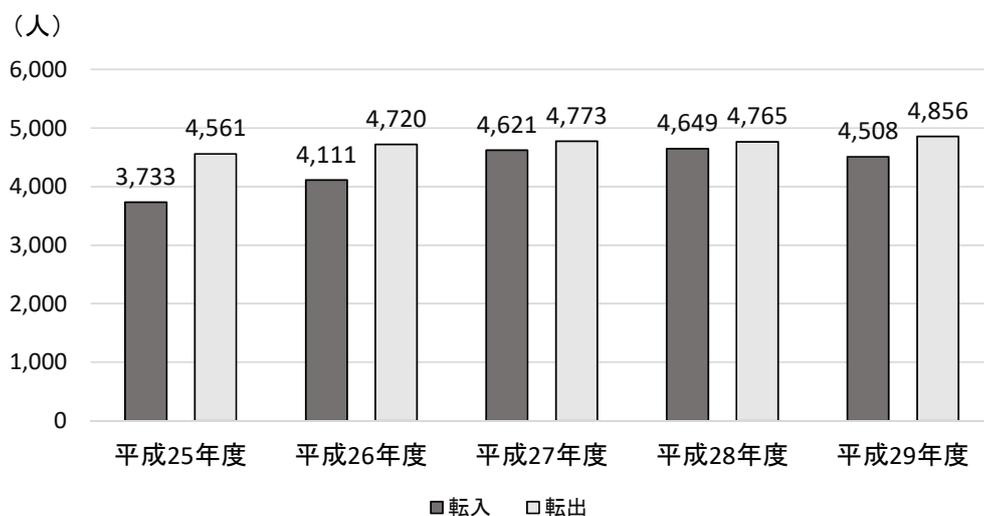
出生数の状況を見ると、平成 27 年度までは増減を繰り返し、同年度に 1,118 人となっています。その後は減少が続き、平成 29 年度では 1,025 人となっています。死亡数は、増減を繰り返していますが、出生数の 2 倍以上となっています。



情報政策課

### ■転入者・転出者の推移

転入・転出の状況を見ると、転入は平成 28 年度まで増加を続けており、同年度に 4,649 人となりましたが、平成 29 年には減少に転じ、4,508 人となっています。転出は増減を繰り返し、平成 29 年度では 4,856 人となっています。

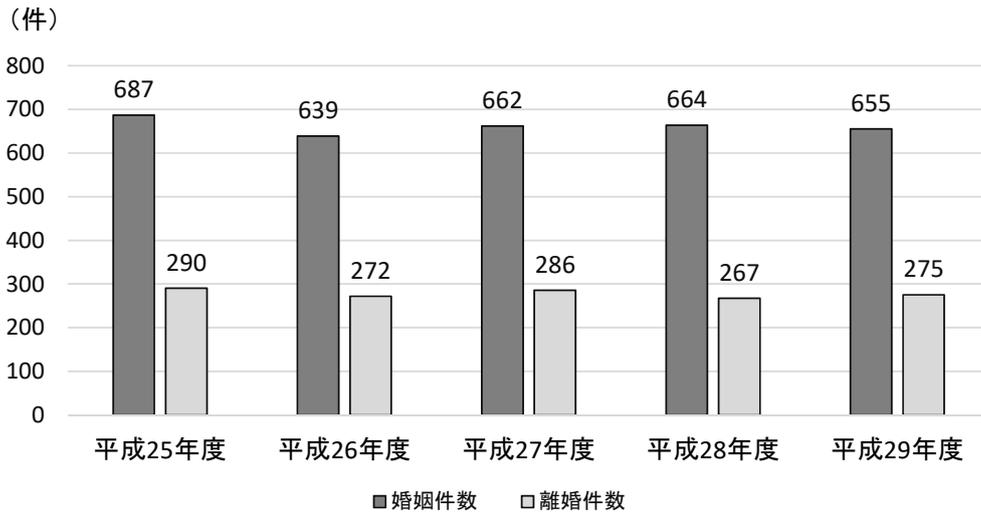


情報政策課

### 3 婚姻・女性の就業率の状況

#### ■ 婚姻・離婚件数の推移

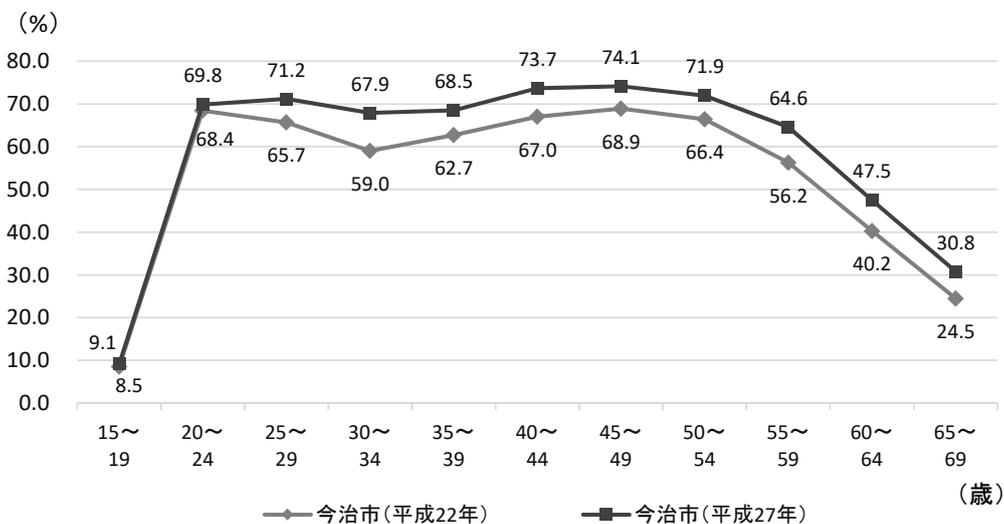
婚姻の状況を見ると、増減を繰り返し、平成29年では655件となっています。離婚も同様に増減を繰り返しており、平成29年では275件となっています。



情報政策課

#### ■ 女性の就業率の推移

女性の就業率の状況を見ると、平成27年ではすべての年代で平成22年を上回っています。とくに、子育て中の女性が多い30～34歳では平成22年から平成27年にかけて8.9ポイント上昇しており、他の年代よりも上昇幅が大きくなっています。

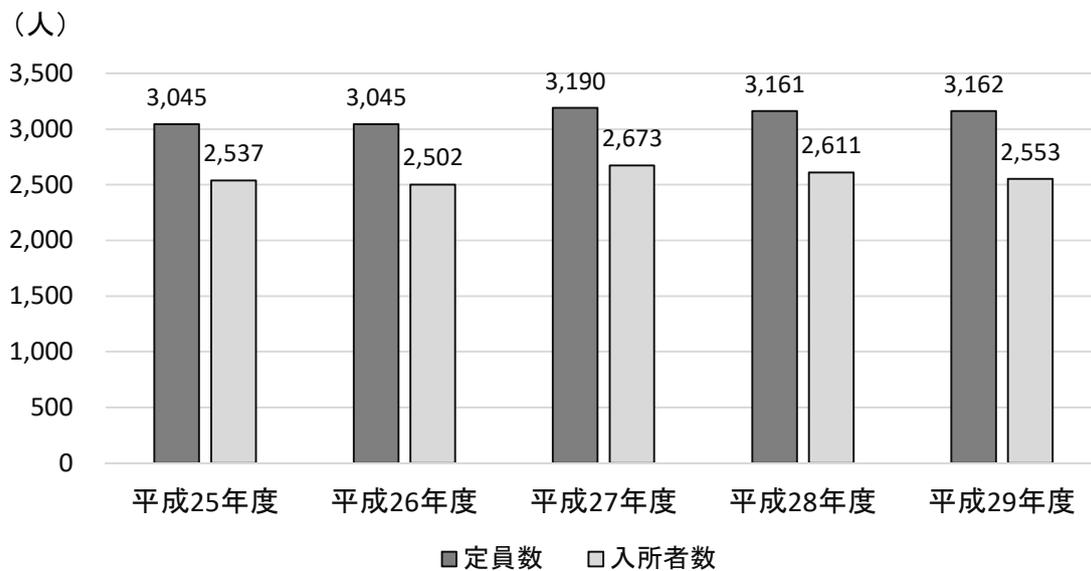


国勢調査

## 4 就学前児童の状況

### ■認可保育所の定員数と入所者の推移（市内児童+広域受託児童）

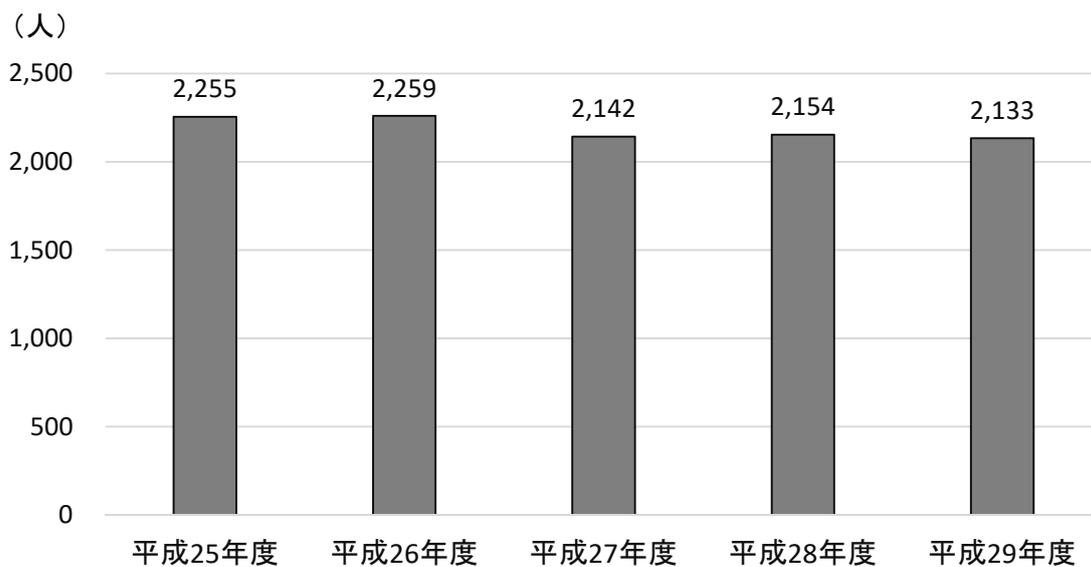
保育所入所者の状況を見ると、平成27年度まで増減を繰り返し、その後は減少を続け、平成29年度では2,553人となっています。



保育幼稚園課（各年5月1日現在）

### ■幼稚園児数の推移（市外からの通園を含む）

幼稚園児数の状況を見ると、増減を繰り返しており、平成29年度では2,133人となっています。

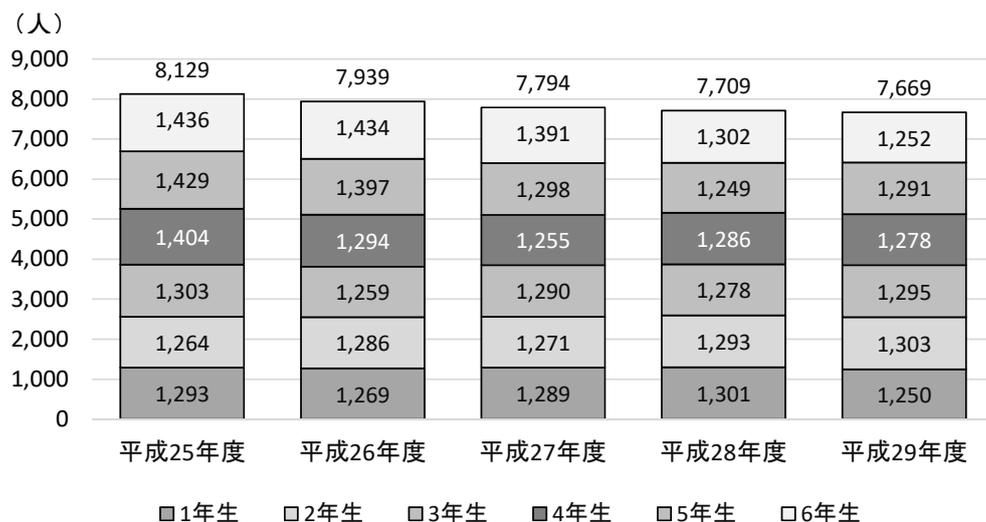


保育幼稚園課（各年5月1日現在）

## 5 市立小中学校の状況

### ■小学生数の推移

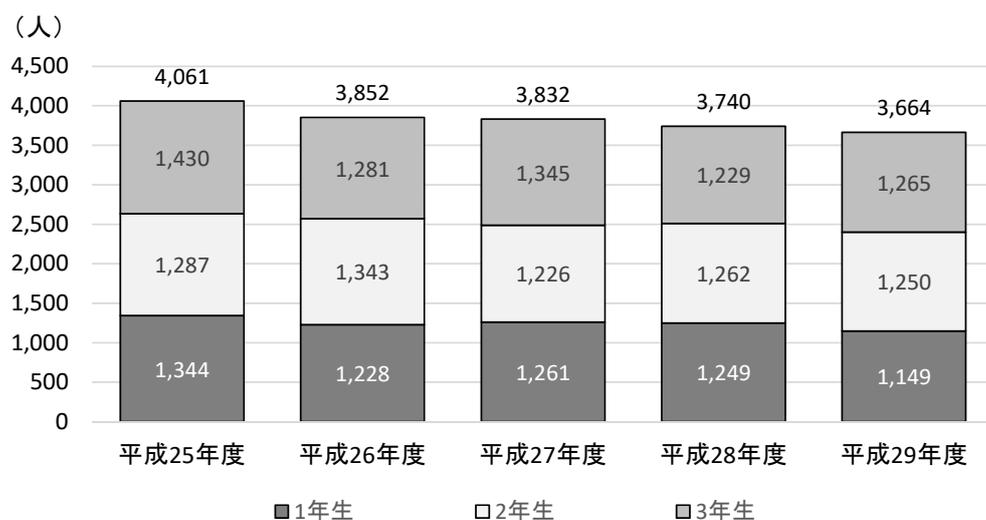
小学生数の状況を見ると、総数では減少が続いており、平成29年度では7,669人となっています。平成25年度から平成29年度の5年間で460人減少しています。



学校基本調査 (各年5月1日現在)

### ■中学生数の推移

中学生数の状況を見ると、総数では減少が続いており、平成29年度では3,664人となっています。平成25年度から平成29年度の5年間で397人減少しています。



学校基本調査 (各年5月1日現在)

## 6 保育事業の状況

### ■延長保育（公立・私立）利用者数

延長保育の利用者数の状況をみると、公立は減少傾向にあり、平成29年度では3,712人となっています。私立は増減を繰り返しており、平成29年度では11,228人となっています。 ※公立は広域受託児童を含む

	公立(人)	私立(人)
平成25年度	4,484	11,142
平成26年度	4,547	10,109
平成27年度	4,306	11,507
平成28年度	4,691	13,653
平成29年度	3,712	11,228

保育幼稚園課

### ■休日保育・一時預かり保育利用者数と施設数

休日保育の状況をみると、平成25年度から利用者の増加が続いており、施設数が1施設から3施設に増えた平成28年度には、利用者数は1,176人まで増加しています。その後、減少に転じ、平成29年度では884人となっています。

一時預かり保育の状況をみると、利用者数は増減を繰り返しており、平成29年度では9,324人となっています。施設数は平成25年度の13施設から増加し、平成29年度では17施設となっています。

	休日保育施設数 (箇所)	休日保育延人数 (人)	一時預かり施設数 (箇所)	一時預かり延人数 (人)
平成25年度	1	313	13	9,374
平成26年度	1	450	13	9,211
平成27年度	1	570	17	8,906
平成28年度	3	1,176	18	10,605
平成29年度	3	884	17	9,324

保育幼稚園課

### ■ショートステイ利用日数

ショートステイの状況をみると、平成26年度には利用がありませんでしたが、その後、増加が続いており、平成29年度では16日となっています。

	利用日数(日)
平成25年度	11
平成26年度	0
平成27年度	10
平成28年度	13
平成29年度	16

子育て支援課

## ■病児保育利用者数と施設数

病児保育施設は、平成 29 年度に 1 施設設置され、利用者数は 475 人となっています。

	病児施設数 (箇所)	年延人数 (人)
平成25年度	—	—
平成26年度	—	—
平成27年度	—	—
平成28年度	—	—
平成29年度	1	475

保育幼稚園課

## ■子育てサロン利用者数と施設数

子育てサロンの施設数は、保育所の認定こども園化に伴い減少しています。

	子ども(人)	保護者(人)	合計(人)	施設数(箇所)
平成25年度	1,527	1,335	2,862	8
平成26年度	1,069	919	1,988	8
平成27年度	566	495	1,061	5
平成28年度	236	219	455	2
平成29年度	260	228	488	2

子育て支援課

## ■地域子育て支援拠点事業利用者数と施設数

地域子育て支援拠点事業の状況を見ると、利用者数は増減を繰り返し、平成 29 年度では 56,507 人となっています。施設数は、平成 25 年度以降 8 施設で増減はありません。

	利用人数(人)	施設数(箇所)
平成25年度	63,152	8
平成26年度	62,323	8
平成27年度	62,112	8
平成28年度	55,204	8
平成29年度	56,507	8

子育て支援課

## ■放課後児童クラブ利用者数

放課後児童クラブの状況を見ると、1～3 年生は利用者数の増加が続いており、4～6 年生では増減を繰り返しています。平成 29 年度では 1～3 年生 1,281 人、4～6 年生 132 人、合計で 1,413 人となっています。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1～3年生(人)	1,050	1,095	1,165	1,256	1,281
4～6年生(人)	110	85	116	104	132
計	1,160	1,180	1,281	1,360	1,413

子育て支援課

## 7 母子保健事業の状況

### ■乳幼児健康診査

乳幼児健康診査の状況をみると、受診数は増減を繰り返しており、平成29年度では、3～6か月児920人、1歳6か月児健康診査1,039人、3歳児健康診査1,045人となっています。

	3～6か月児		1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
	対象者数(人)	受診数(人)	対象者数(人)	受診数(人)	対象者数(人)	受診数(人)
平成25年度	1,111	937	1,271	1,160	1,280	1,151
平成26年度	1,122	971	1,178	1,103	1,302	1,162
平成27年度	1,092	1,000	1,095	1,035	1,253	1,144
平成28年度	1,046	967	1,102	1,022	1,208	1,080
平成29年度	1,031	920	1,092	1,039	1,107	1,045

健康推進課

### ■訪問指導数（延べ人数）

訪問指導数の状況をみると、妊産婦、新生児、未熟児ともに増減を繰り返しており、平成29年度では、妊産婦1,296人、新生児130人、未熟児59人となっています。

	妊産婦(人)	新生児(人)	未熟児(人)
平成25年度	1,275	244	59
平成26年度	1,175	155	57
平成27年度	1,289	136	68
平成28年度	1,251	159	45
平成29年度	1,296	130	59

健康推進課

## Ⅱ 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、2020年度に策定する「第2期今治市子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料として、保育ニーズや今治市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、今治市内の就学前児童のいる世帯及び小学校1～4年生児童のいる世帯にアンケート（ニーズ）調査として実施しました。

## 2 調査概要

- ・調査地域：今治市全域

### ◎就学前児童のいる世帯

- ・調査対象者：今治市内在住の「就学前児童」のいる世帯
- ・抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童のいる2,000世帯を無作為抽出  
(対象世帯数5,188世帯：平成30年10月31日現在)
- ・調査時期：平成30年11月17日～12月3日
- ・調査方法：郵送配布、郵送回収による郵送調査法

調査対象世帯数 (配布数)	有効回収世帯数	有効回収率
2,000世帯	966世帯	48.3%

### ◎小学校1年生～4年生児童のいる世帯

- ・調査対象者：今治市内在住の「小学校1年生～4年生児童」のいる全世帯
- ・調査時期：平成31年1月11日～1月25日
- ・調査方法：小学校を通じて配布回収する調査法
- ・有効回収世帯数：3,560世帯

## 3 報告書の見方

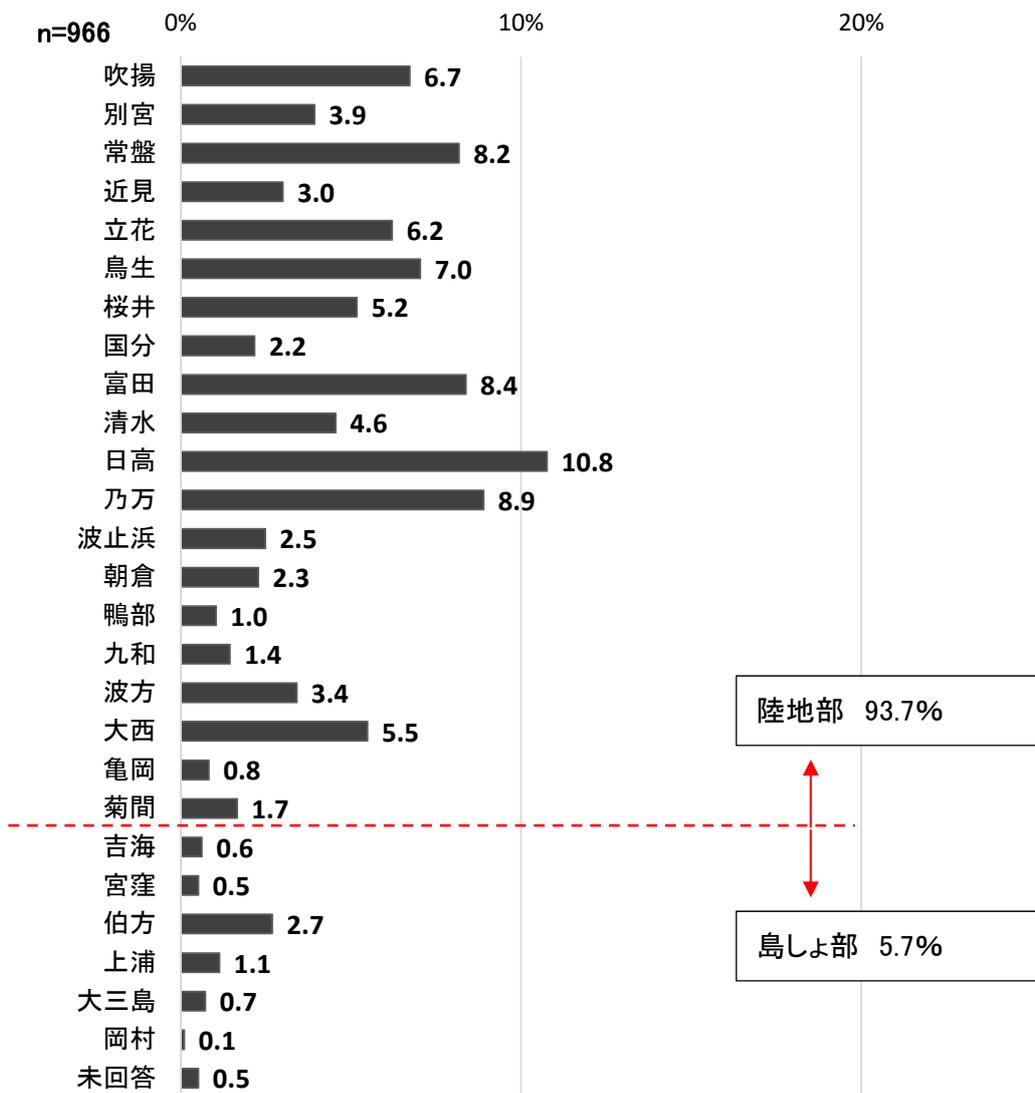
- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書の分析文章、グラフ及び表においても反映しています。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

### Ⅲ 調査結果（就学前児童）

## あて名のお子さんをご家族の状況についてお伺いします

### 問1 お住まいの小学校区はどこですか。(〇は1つ)

小学校区別に世帯の居住状況をみると、上位から「日高」10.8%、「乃万」8.9%、「富田」8.4%となっています。陸地部の合計は93.7%、島しょ部の合計は5.7%となっています。島しょ部では「伯方」2.7%の割合が最も高くなっています。

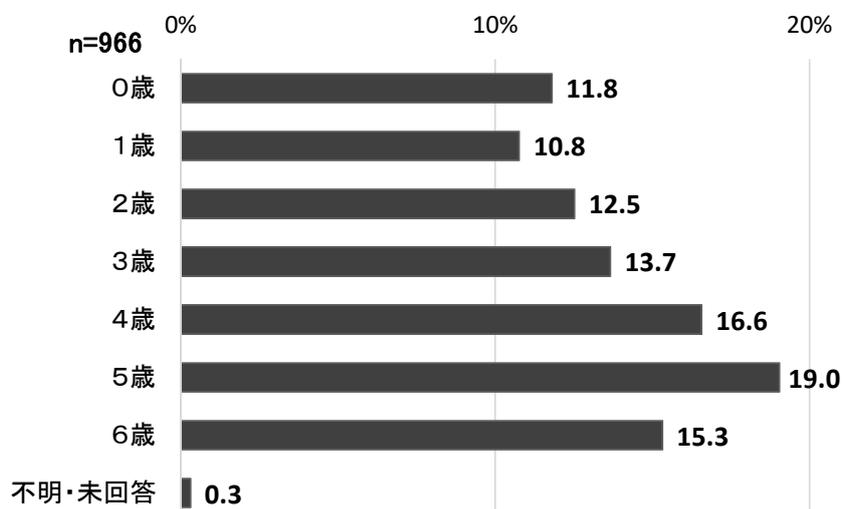


## 問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

---

対象の子どもの年齢は、上位から「5歳」19.0%、「4歳」16.6%、「6歳」15.3%となっています。3歳未満は35.1%、3歳以上は64.6%となっています。

---

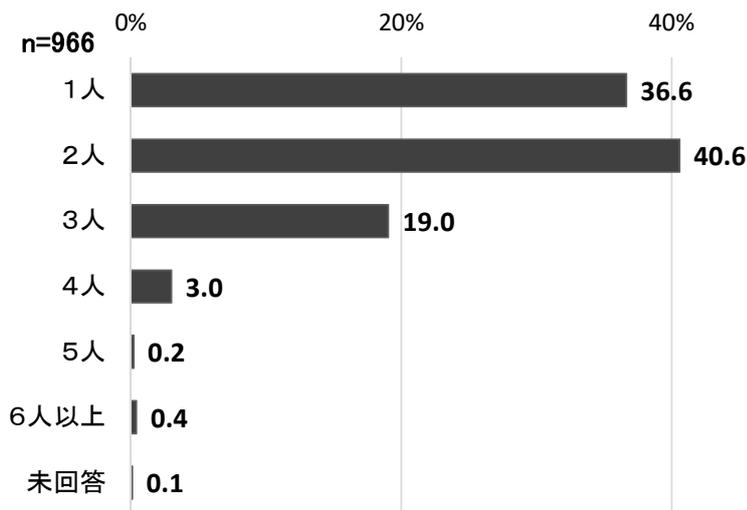


※不明・未回答は、7歳以上の回答と未回答です。

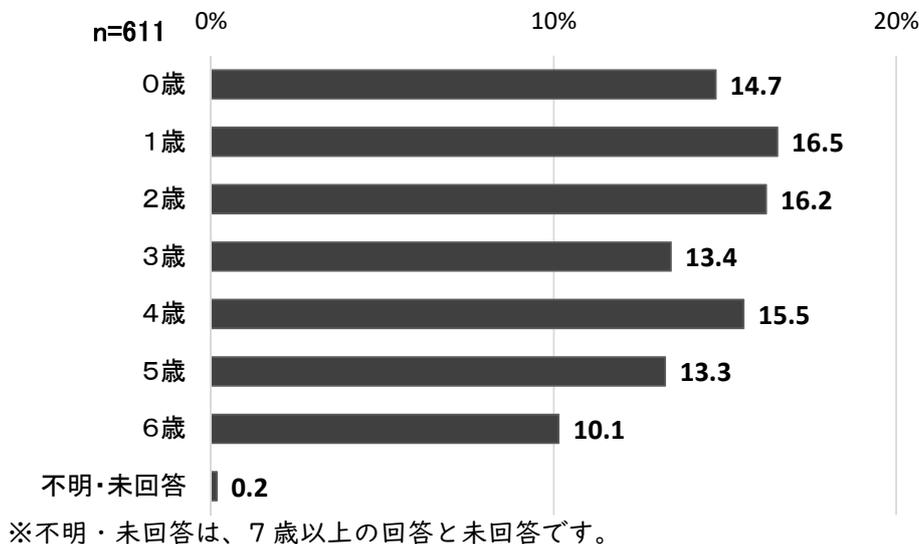
問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの人数は、上位から「2人」40.6%、「1人」36.6%、「3人」19.0%となっています。子どもが二人以上いる場合の末子の年齢は、0歳から6歳まで全て1割台となっています。3歳未満は47.4%、3歳以上は52.3%となっています。

①子どもの人数

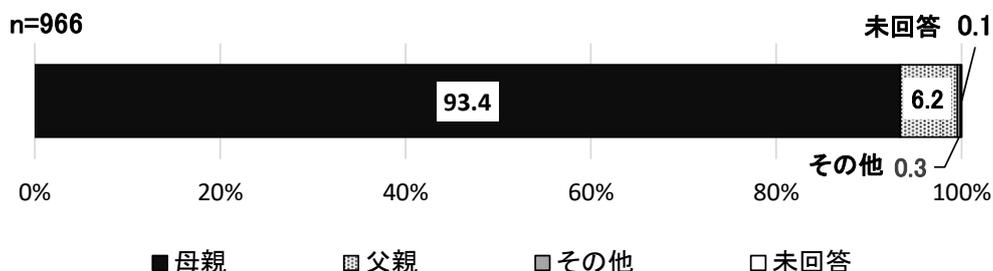


②子どもが二人以上の場合末子の年齢（平成30年11月1日現在）



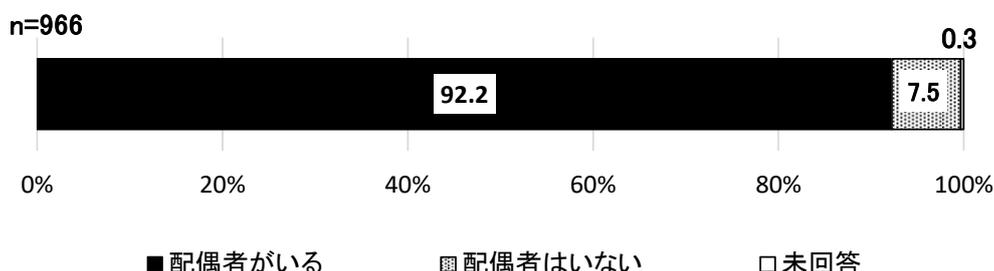
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

回答者は、「母親」93.4%でほとんどを占めています。「父親」は6.2%となっています。



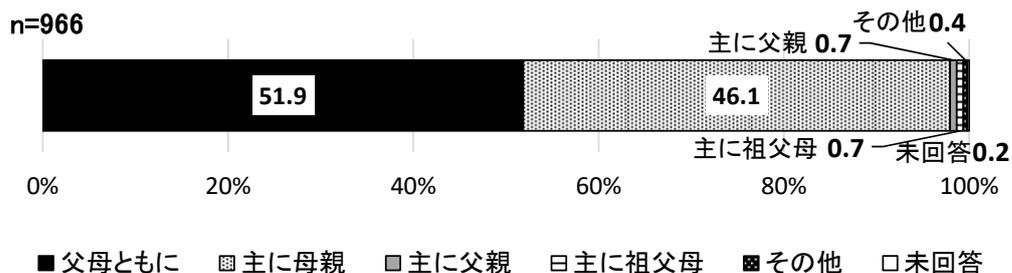
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」92.2%でほとんどを占めています。「配偶者がいない」は7.5%となっています。



問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

子育てを主に行っている方は、「父母ともに」51.9%、次いで「主に母親」46.1%となっています。

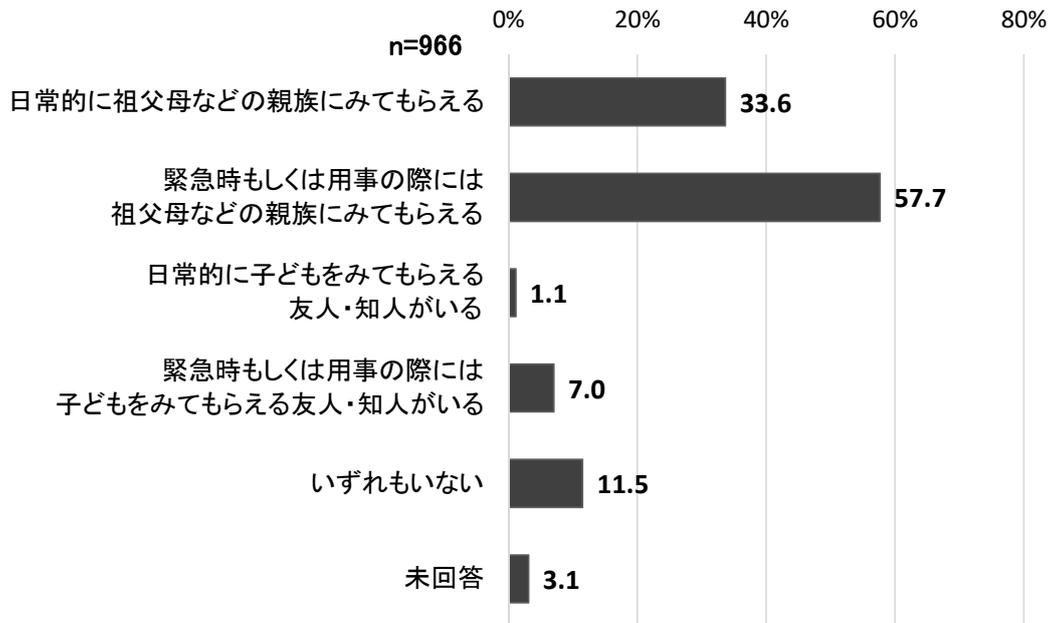


## 子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」57.7%、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」33.6%となっています。

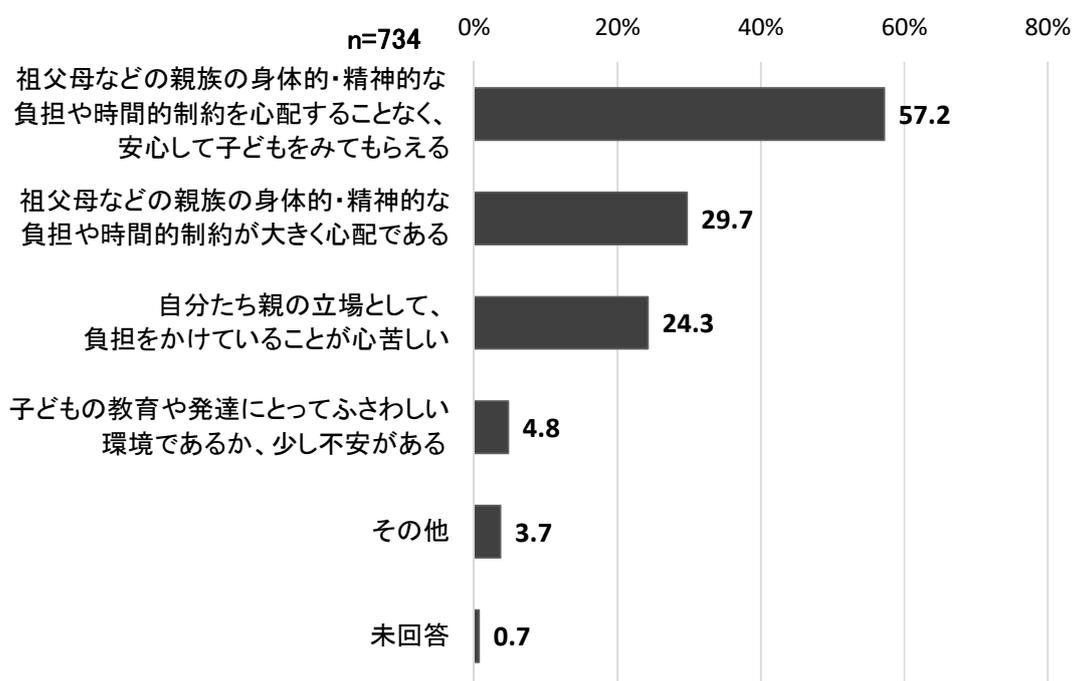
また、「いずれもない」は11.5%となっています。



問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
 (〇はいくつでも)

※問7で「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」と答えた方

祖父母などの親族にみてもらっている状況は、上位から「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」57.2%、「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」29.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」24.3%となっています。

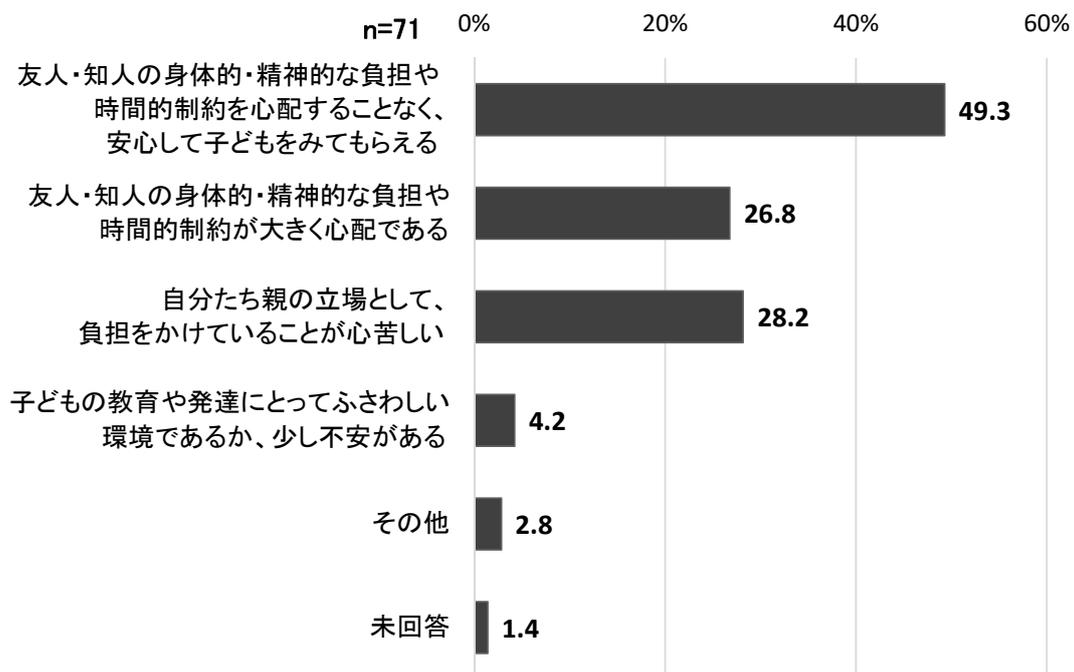


問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(〇はいくつでも)

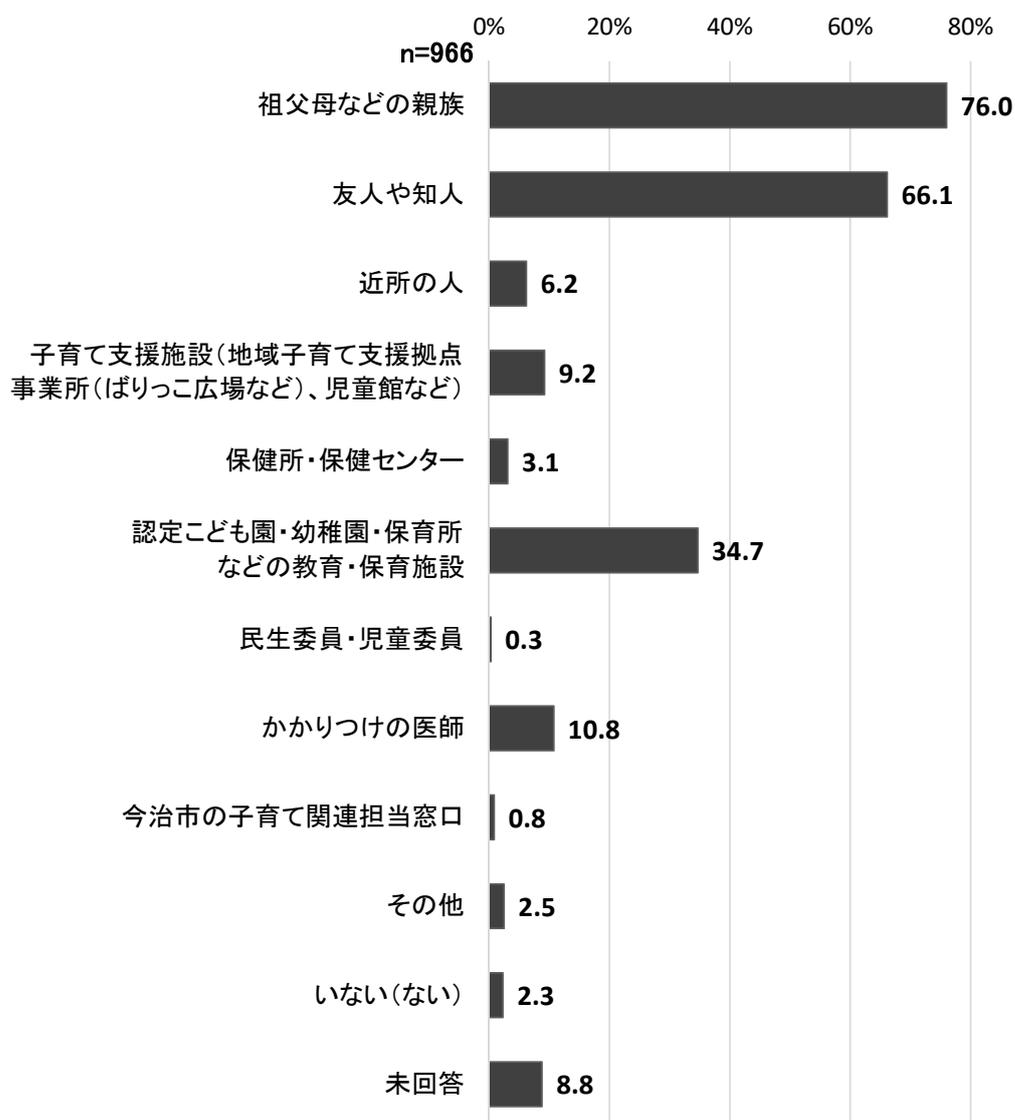
※問7で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と答えた方

友人・知人にみてもらっている状況は、上位から「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」49.3%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」28.2%、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」26.8%となっています。



問8 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

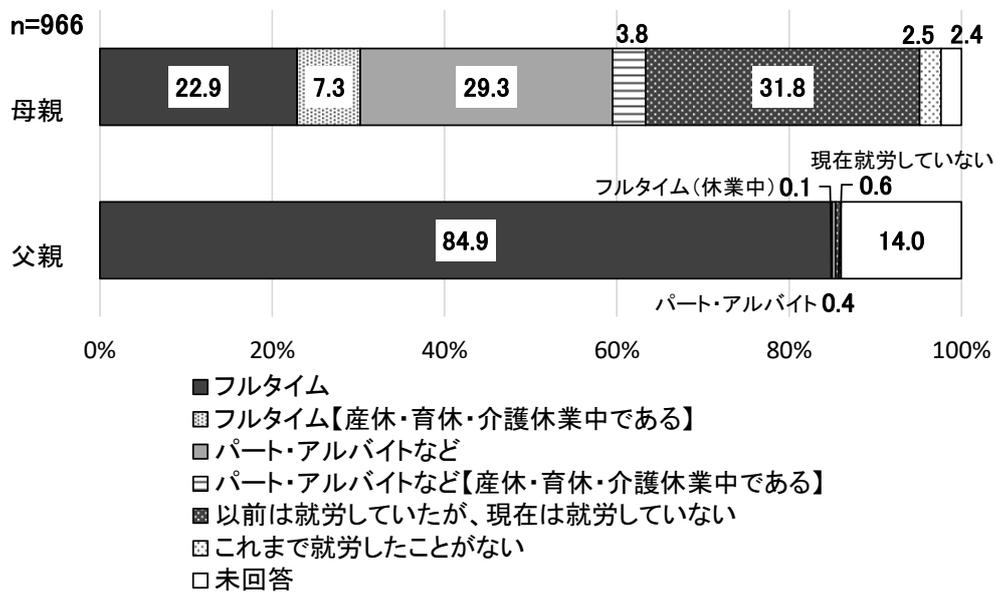
気軽に相談できる先は、上位から「祖父母などの親族」76.0%、「友人や知人」66.1%、「認定こども園・幼稚園・保育所などの教育・保育施設」34.7%となっています。また、「いない（ない）」は2.3%となっています。



## あて名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（〇は1つ）

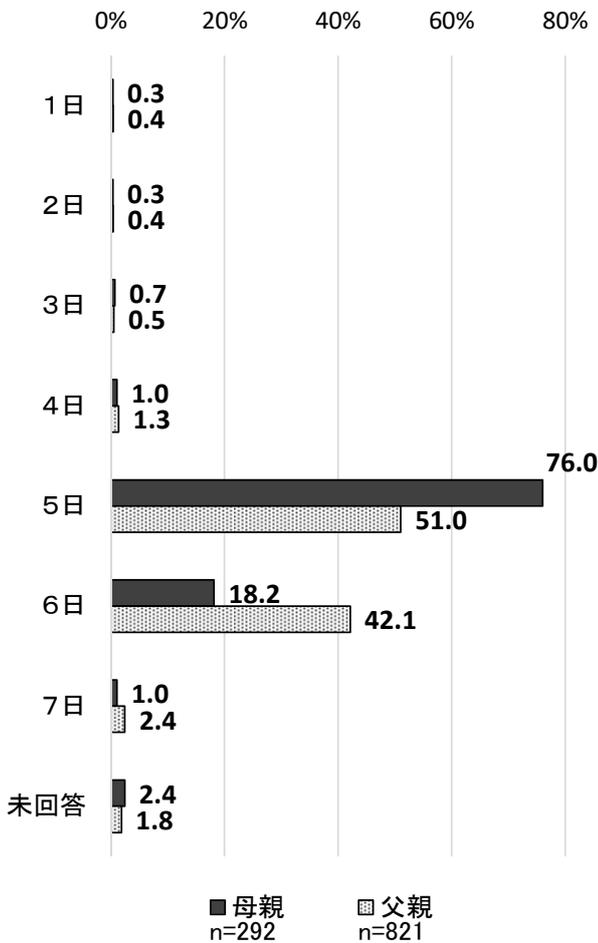
保護者の現在の就労状況は、母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」31.8%の割合が最も高くなっています。産休・育休・介護休業中も含めると、フルタイム30.2%、パート・アルバイト33.1%となっています。父親は「フルタイム」84.9%の割合が最も高くなっています。産休・育休・介護休業中も含めると、「フルタイム」85.0%となっています。



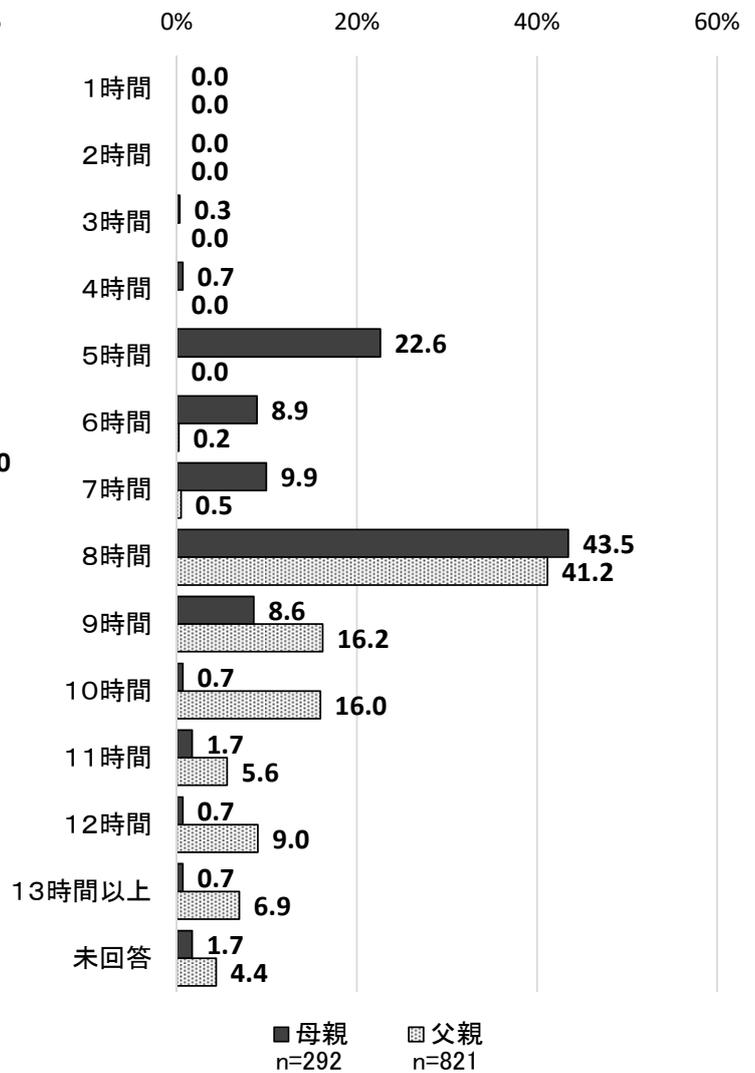
## ● フルタイムで就労している保護者の状況

フルタイムで就労している保護者の状況は、1週当たりの就労日数では、母親・父親ともに「5日」、次いで「6日」となっています。1日当たりの就労時間では、母親・父親ともに「8時間」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

① 1週当たりの就労日数



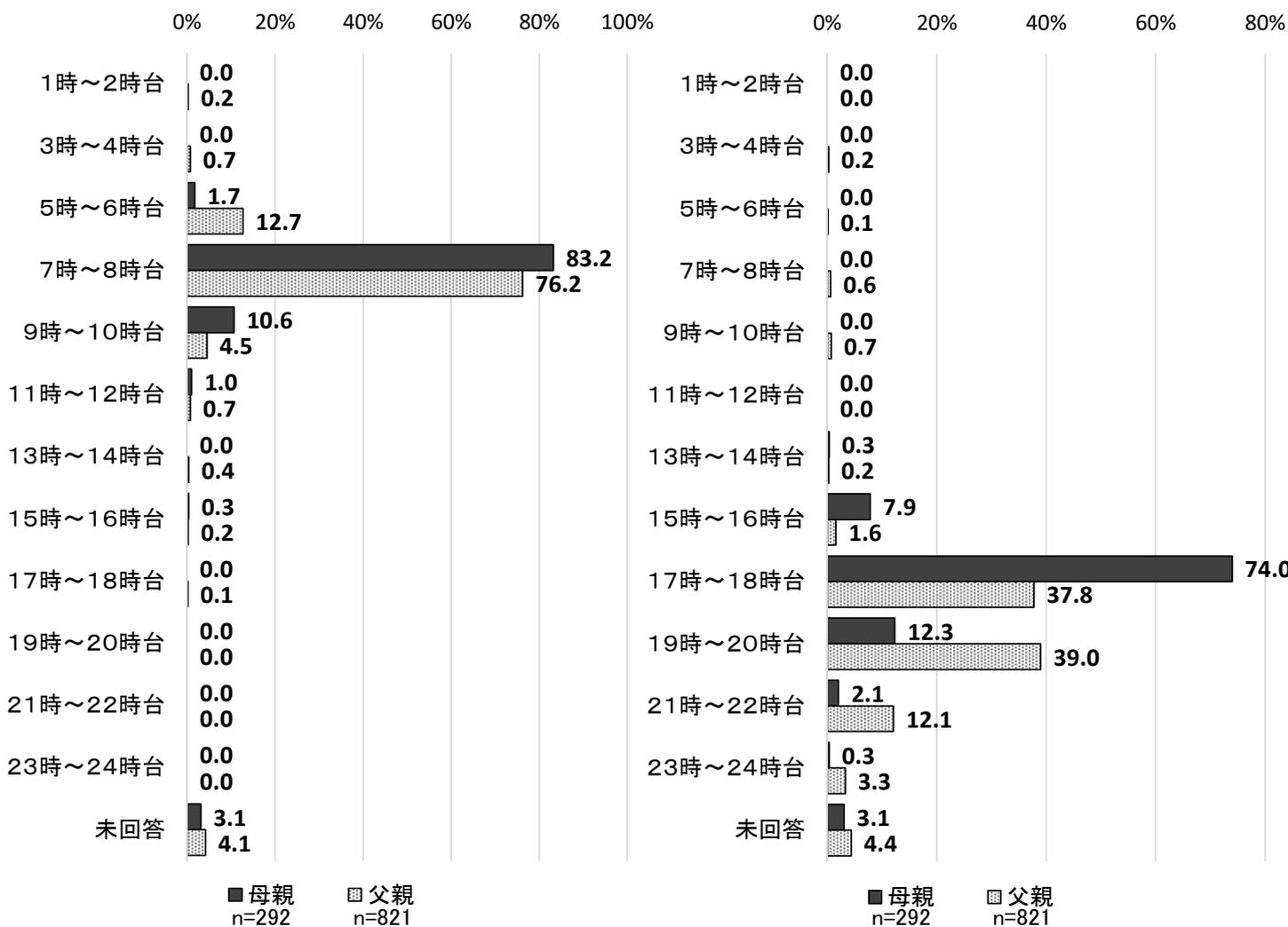
② 1日当たりの就労時間



フルタイムの出発時間と帰宅時間は、出発時間については母親・父親ともに「7時～8時台」の割合が最も高くなっています。帰宅時間については、母親「17時から18時台」の割合が最も高く、父親「19時から20時台」、次いで「17時から18時台」となっています。

③ 出発時間

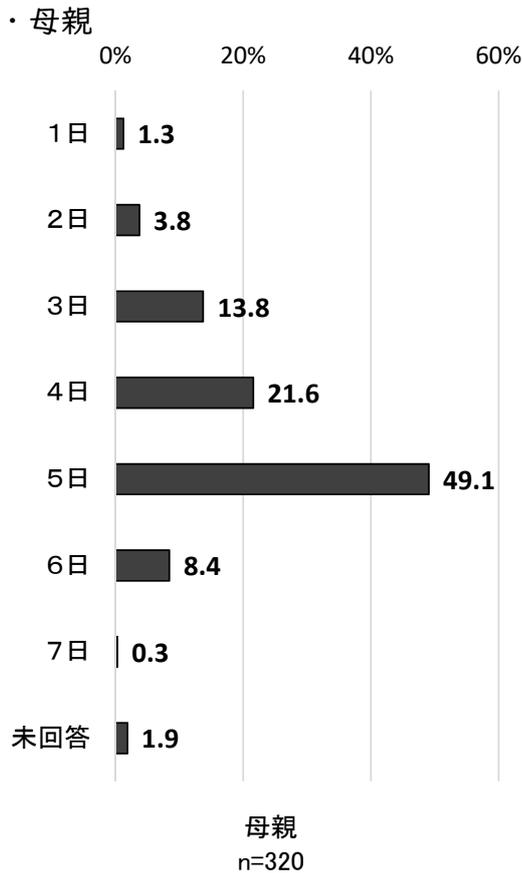
④ 帰宅時間



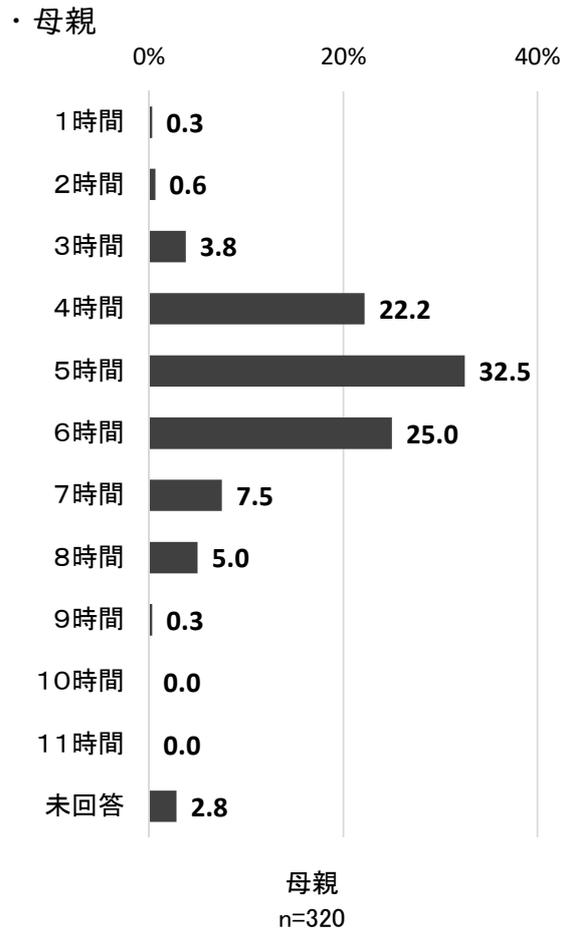
● パート・アルバイト等で就労している保護者の状況

パート・アルバイト等で就労している保護者の状況は、1週当たりの就労日数では、母親・父親ともに「5日」の割合がそれぞれ最も高くなっています。1日当たりの就労時間では、母親「5時間」、次いで「6時間」、父親「5時間」「8時間」「9時間」「11時間」にそれぞれ1件ずつ回答がありました。

① 1週当たりの就労日数



② 1日当たりの就労時間



・父親

就労日数	父親	
	件数	割合 (%)
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	1	25.0
5日	2	50.0
6日	1	25.0
7日	0	0.0
未回答	0	0.0
合計	4	

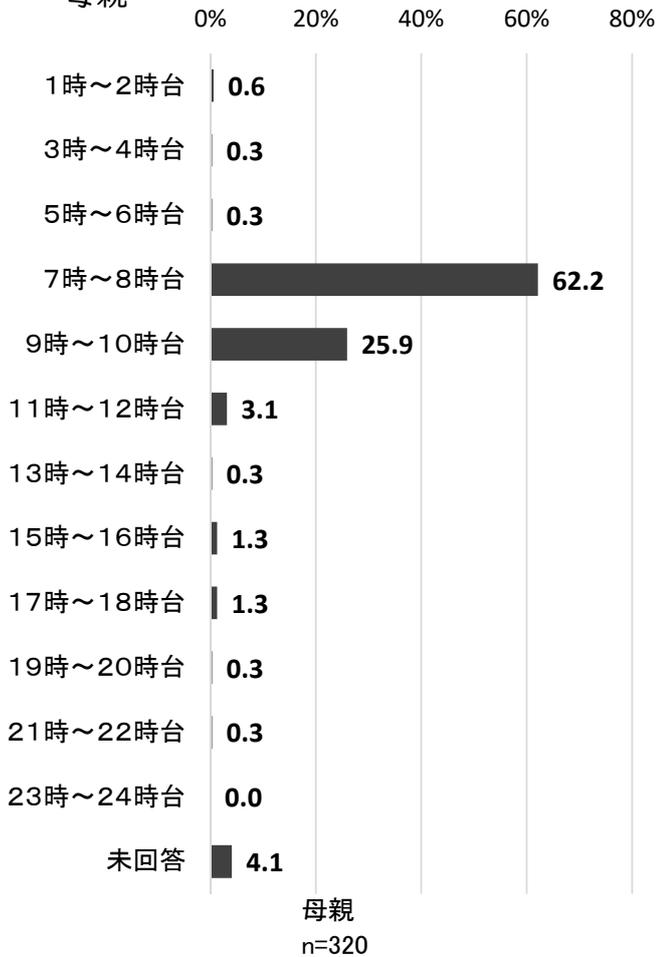
・父親

就労時間	父親	
	件数	割合 (%)
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	0	0.0
4時間	0	0.0
5時間	1	25.0
6時間	0	0.0
7時間	0	0.0
8時間	1	25.0
9時間	1	25.0
10時間	0	0.0
11時間	1	25.0
未回答	0	0.0
合計	4	

パート・アルバイト等の出発時間と帰宅時間は、出発時間については、母親「7時～8時台」、次いで「9時～10時台」、父親「5時～6時台」の割合が最も高くなっています。帰宅時間については、母親「15時から16時台」、次いで「17時から18時台」、父親「17時から18時台」の割合が最も高くなっています。

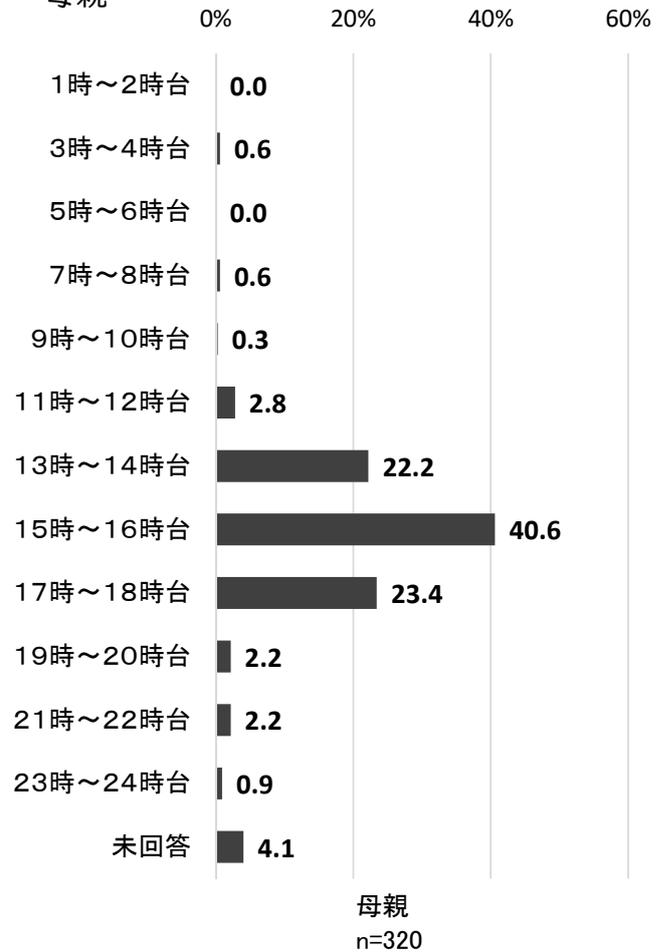
③ 出発時間

・母親



④ 帰宅時間

・母親



・父親

出発時間	父親	
	件数	割合 (%)
1時～2時台	0	0.0
3時～4時台	0	0.0
5時～6時台	2	50.0
7時～8時台	1	25.0
9時～10時台	1	25.0
11時～12時台	0	0.0
13時～14時台	0	0.0
15時～16時台	0	0.0
17時～18時台	0	0.0
19時～20時台	0	0.0
21時～22時台	0	0.0
23時～24時台	0	0.0
未回答	0	0.0
合計	4	

・父親

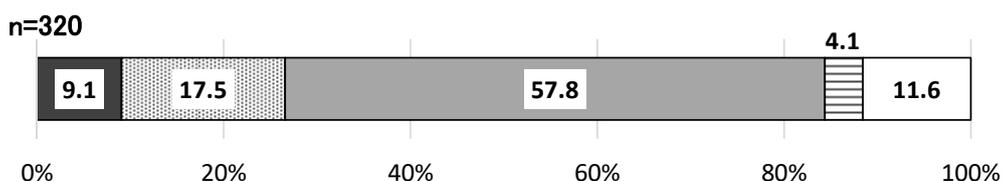
帰宅時間	父親	
	件数	割合 (%)
1時～2時台	0	0.0
3時～4時台	0	0.0
5時～6時台	0	0.0
7時～8時台	0	0.0
9時～10時台	0	0.0
11時～12時台	0	0.0
13時～14時台	1	25.0
15時～16時台	0	0.0
17時～18時台	2	50.0
19時～20時台	0	0.0
21時～22時台	0	0.0
23時～24時台	1	25.0
未回答	0	0.0
合計	4	

問 10 フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

※問9で(1) 母親(2) 父親で「パート・アルバイトなど」「パート・アルバイトなど【産休・育休・介護休業中である】」と答えた方

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望は、母親・父親ともに「パート・アルバイトなど(フルタイム以外)の就労を続けることを希望」の割合が最も高くなっています。母親のフルタイムへの転換希望は26.6%となっています。

・ 母親



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなど(フルタイム以外)の就労を続けることを希望
- ▨ パート・アルバイトなど(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 未回答

・ 父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	25.0
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0
パート・アルバイトなど(フルタイム以外)の就労を続けることを希望	3	75.0
パート・アルバイトなど(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0
未回答	0	0.0
合計	4	

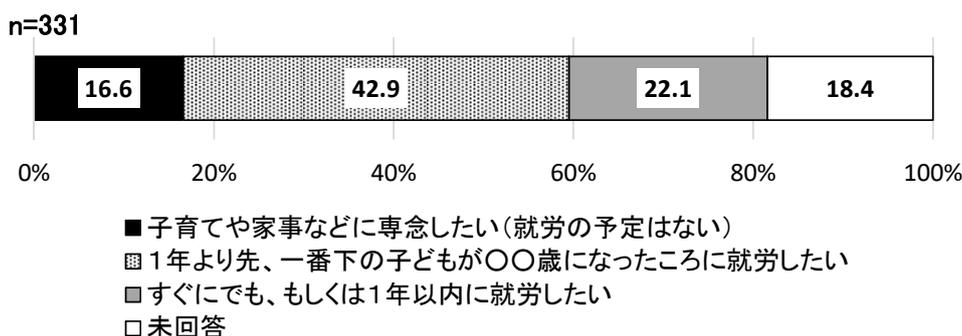
問 11 就労したいという希望はありますか。(〇は1つ)

※問9で(1) 母親(2) 父親で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と答えた方

現在就労していない方の就労希望は、母親「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころ就労したい」42.9%の割合が最も高く、父親「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」83.3%の割合が最も高くなっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかは、母親「3歳」38.0%、次いで「5歳以上」35.2%となっています。

・ 母親

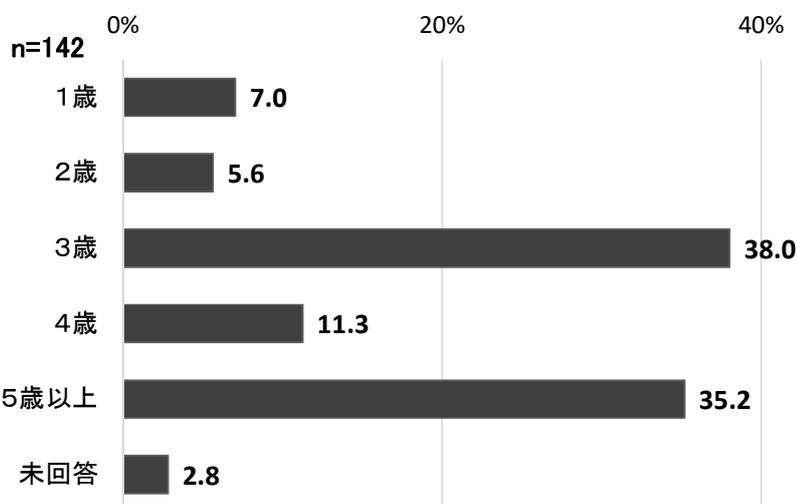


・ 父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0
1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい	0	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	5	83.3
未回答	1	16.7
合計	6	

①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか

・ 母親



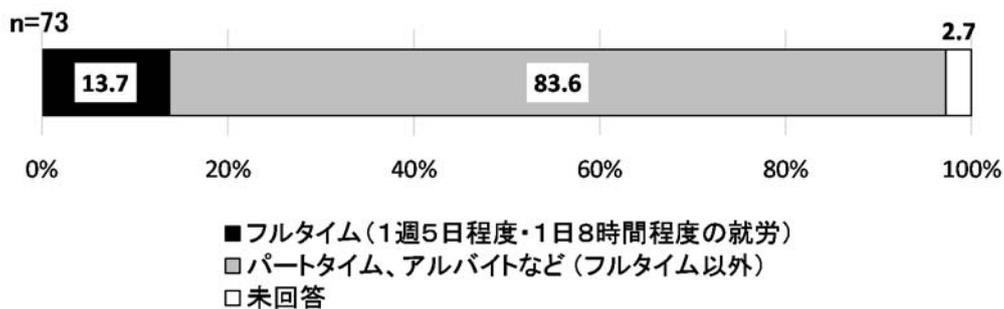
※父親の回答はありませんでした。

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労形態は、母親「パートタイム・アルバイト等（フルタイム以外）」83.6%の割合が最も高く、父親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」60.0%の割合が最も高くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）を選んだ方の希望する1週当たりの就労日数については、母親「3日」34.2%、次いで「5日」31.5%となっています。希望する1日当たりの就労時間では、母親「5時間」43.8%、次いで「4時間」27.4%となっています。

## ②希望する就労形態

・母親

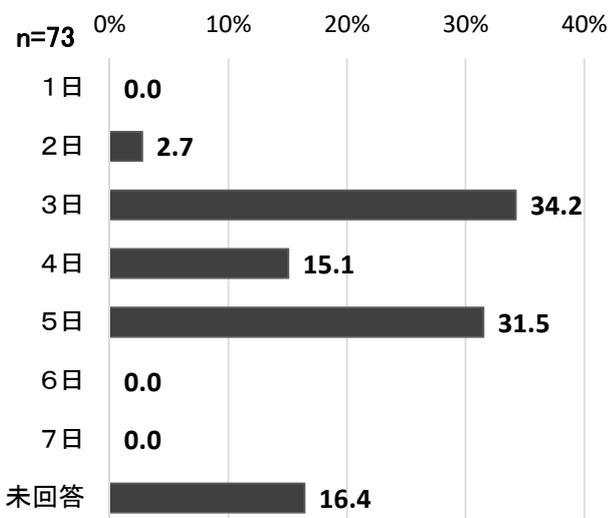


・父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	3	60.0
パートタイム、アルバイトなど(フルタイム以外)	1	20.0
未回答	1	20.0
合計	5	

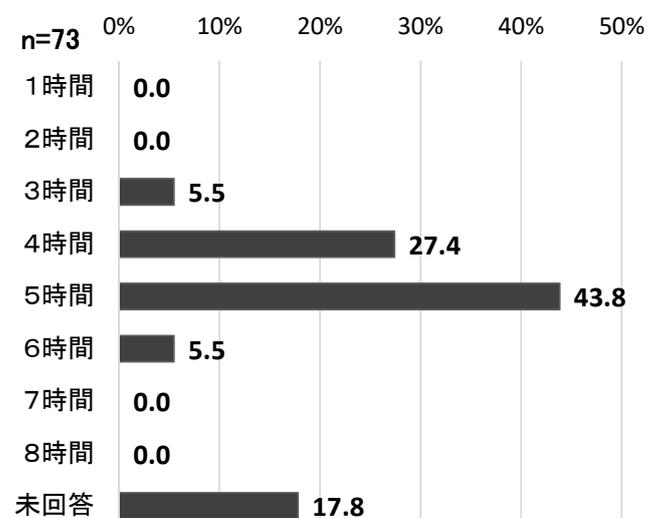
## ③パートタイム・アルバイト等で希望する1週当たりの就労日数

・母親



## ④パートタイム・アルバイト等で希望する1日当たりの就労時間

・母親

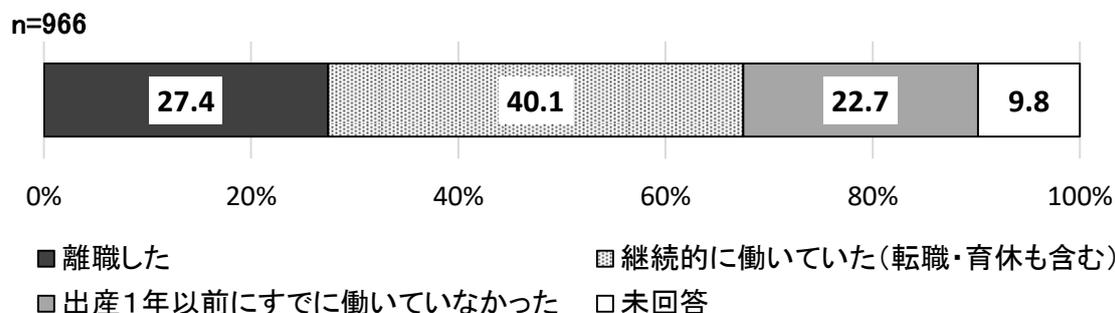


※父親の回答はありませんでした。

問 12 あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。  
（〇は1つ）

※すべての母親

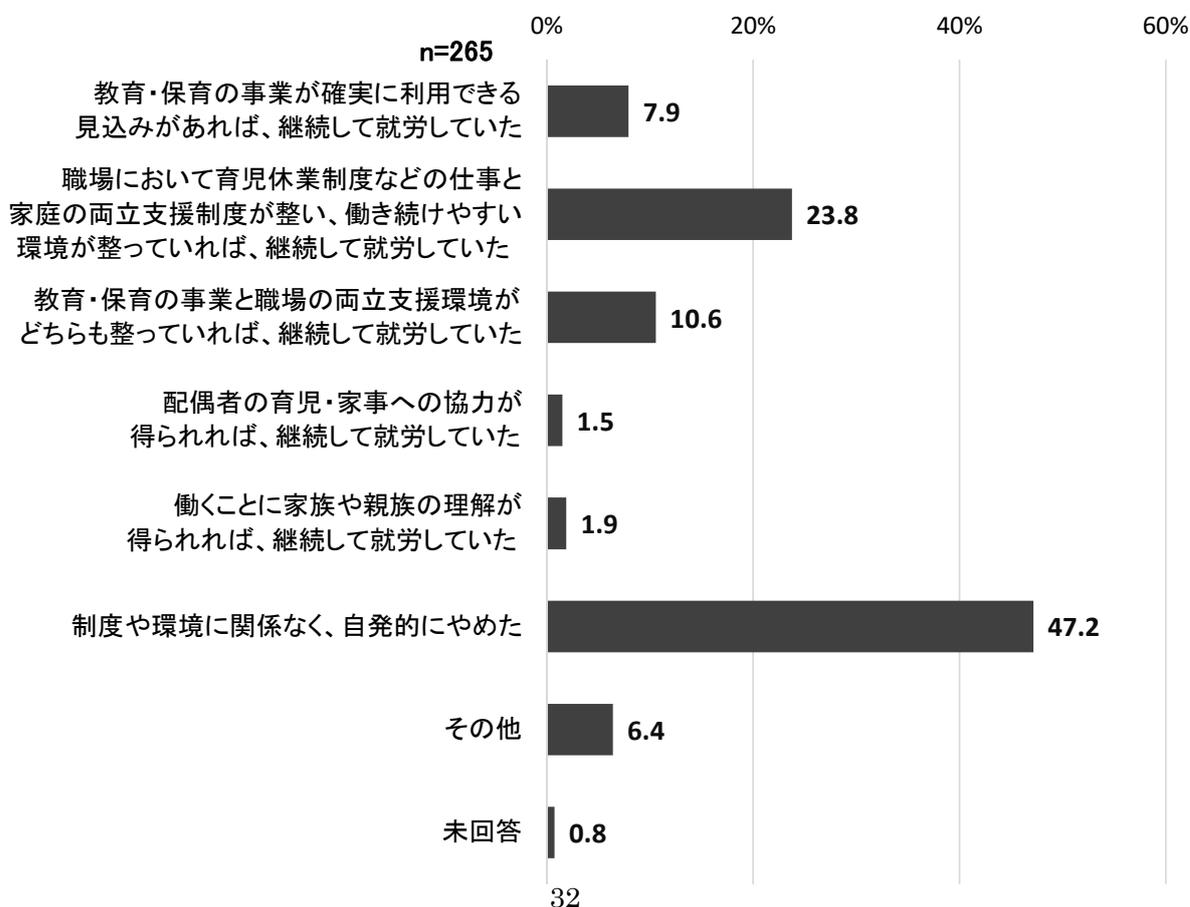
出産前後に離職をしたかについては、「継続的に働いていた（転職・育休も含む）」40.1%の割合が最も高くなっています。



問 12-1 仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（〇は1つ）

※問 12 で「離職した」と答えた方

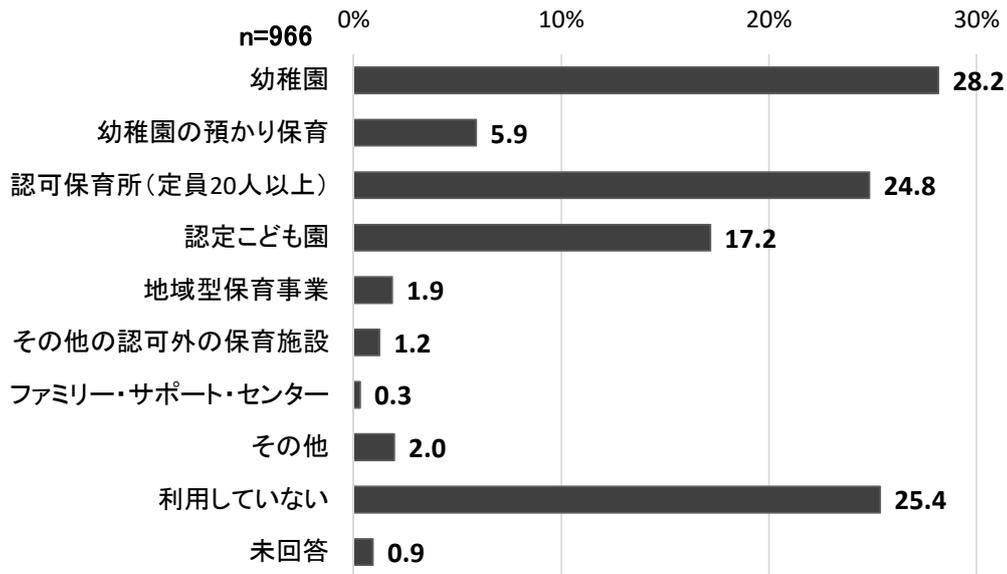
仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続したかについては、「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」47.2%、次いで「職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」23.8%となっています。



**あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用についてお伺いします**

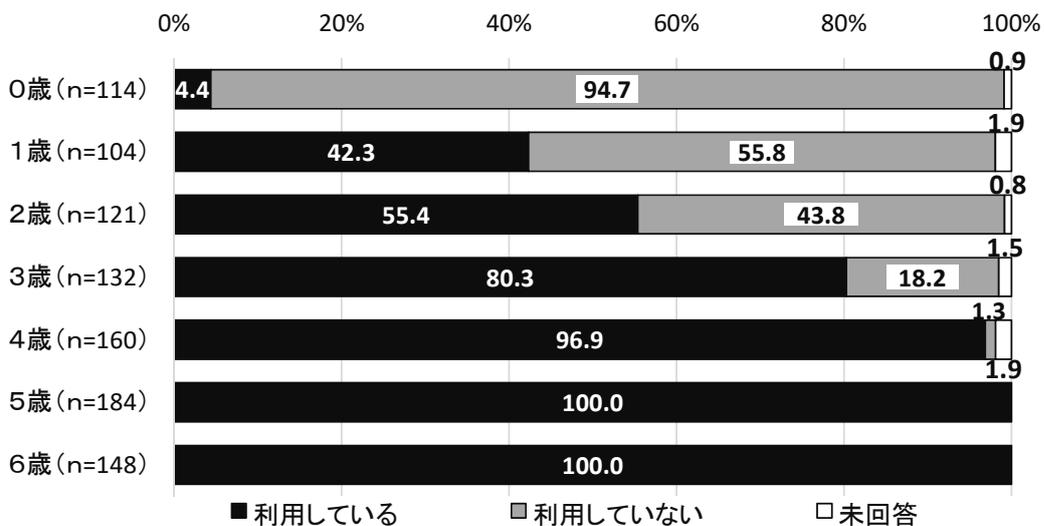
問13 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（〇はいくつでも）

平日の定期的な教育・保育事業の利用は、上位から「幼稚園」28.2%、「認可保育所(定員20人以上)」24.8%、「認定こども園」17.2%となっています。  
また、「利用していない」25.4%となっています。



◎年齢別×平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

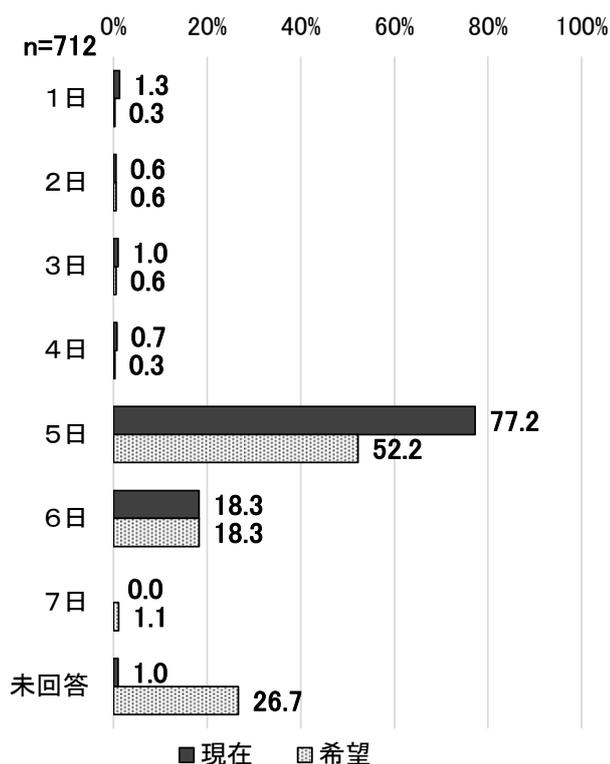
年齢別にみると、年齢が上がるとうり割合が高くなり、特に「3歳」以上で「利用している」割合が8割を超えています。



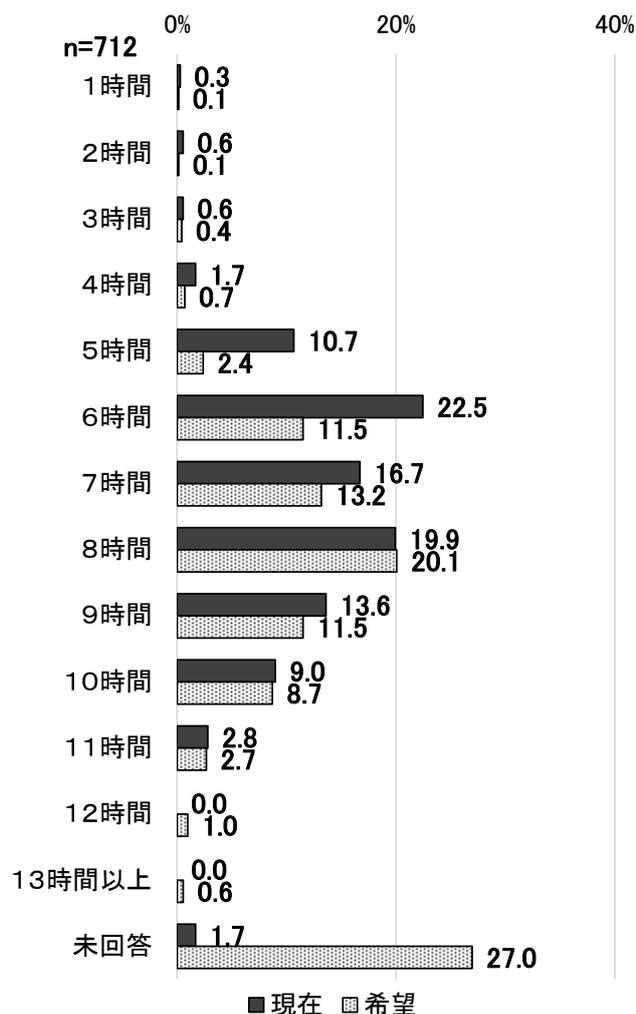
問13-1 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と今後の利用希望は、1週当たりの利用日数では、現在・希望ともに「5日」の割合が最も高く、それぞれ77.2%、52.2%となっています。1日当たりの利用時間は、現在は「6時間」22.5%、次いで「8時間」19.9%、希望は「8時間」20.1%、次いで「7時間」13.2%となっています。

① 1週当たりの利用日数

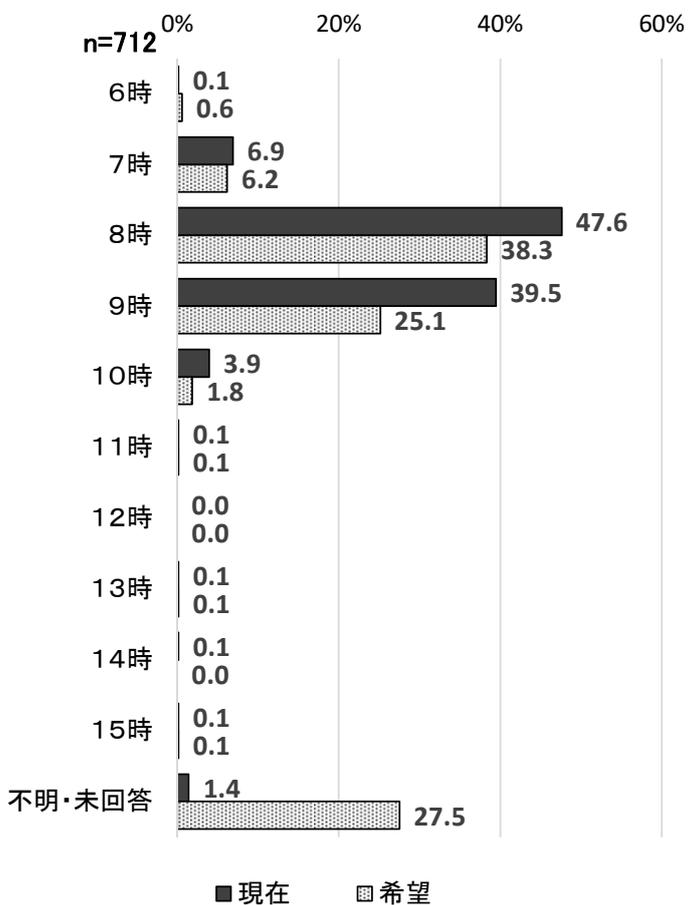


② 1日当たりの利用時間

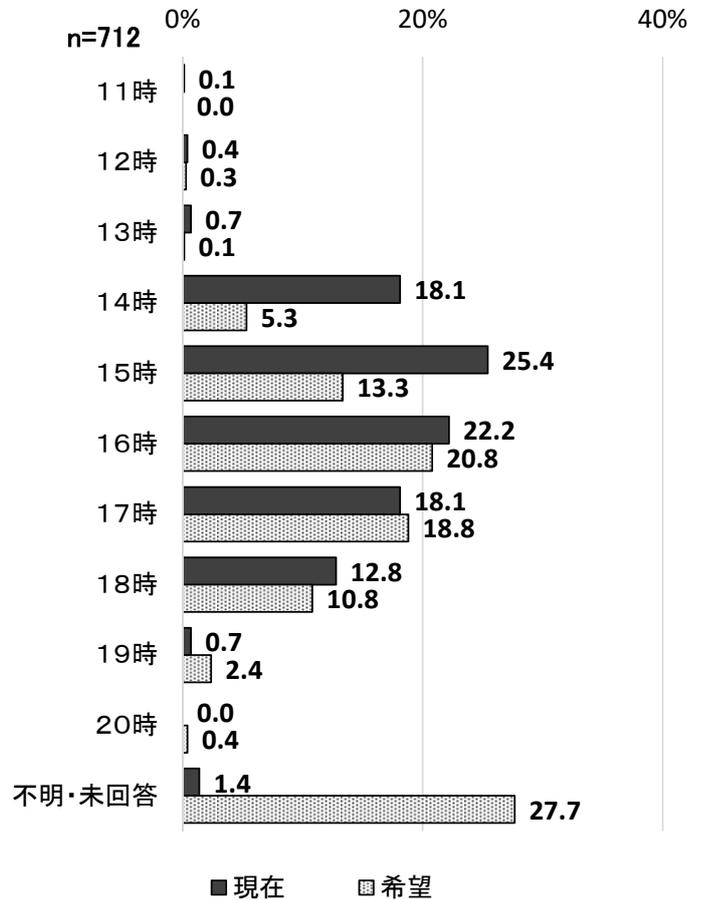


利用開始時間は、現在・希望ともに「8時」の割合が最も高く、それぞれ47.6%、38.3%となっています。終了時間は、現在は「15時」25.4%、次いで「16時」22.2%、希望は「16時」20.8%、次いで「17時」18.8%となっています。

③利用開始時間

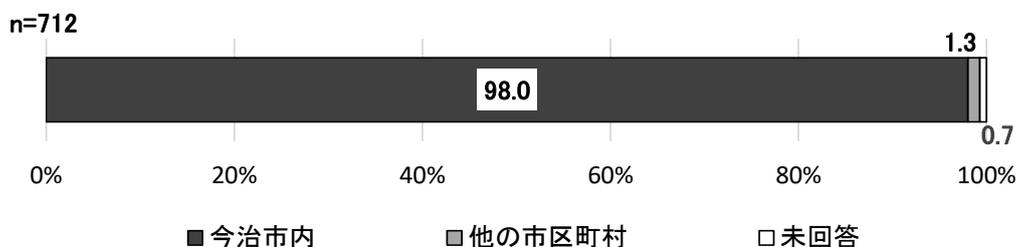


④利用終了時間



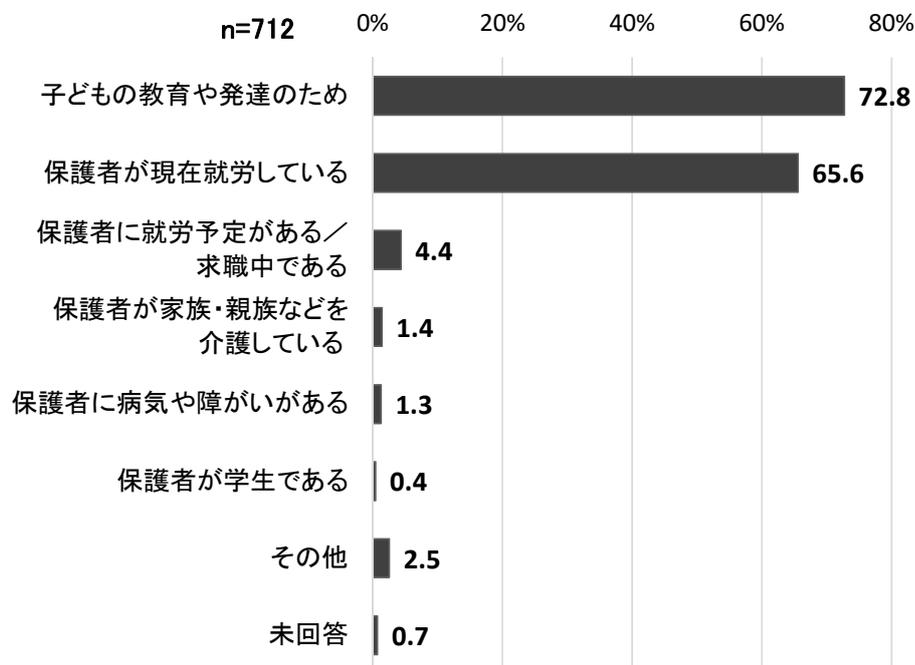
問13-2 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお伺いします。  
(○は1つ)

平日に利用している教育・保育事業の実施場所は、「今治市内」98.0%の割合が最も高くなっています。



問13-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてお伺いします。(○はいくつでも)

平日に教育・保育事業を利用している主な理由は、「子どもの教育や発達のため」72.8%、次いで「保護者が現在就労している」65.6%となっています。

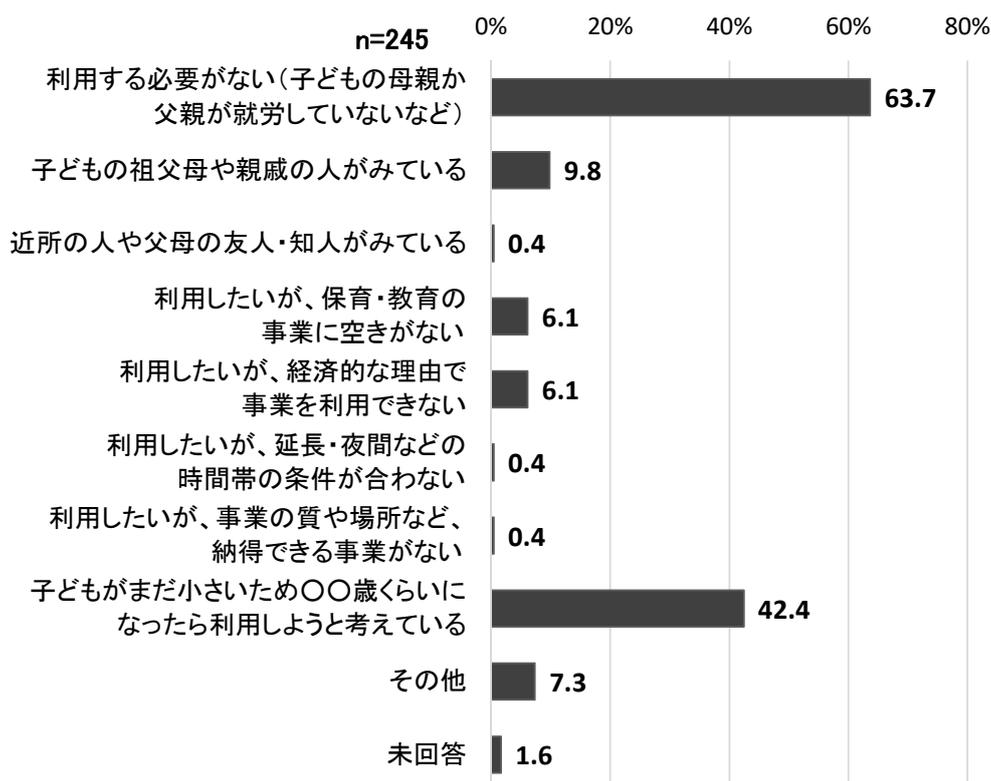


### 問13-4 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

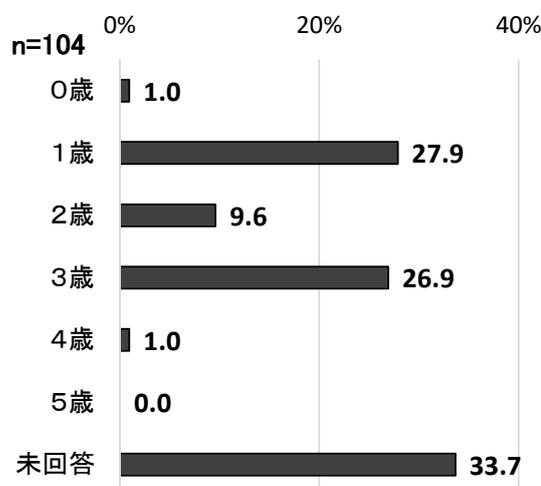
※問13で「利用していない」と答えた方

平日に教育・保育事業を利用していない主な理由は、「利用する必要がない(子どもの母親か父親が就労していないなど)」63.7%、次いで「子どもがまだ小さいため〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている」42.4%となっています。

また、子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようと考えるときの子どもの年齢については、「1歳」27.9%、次いで「3歳」26.9%となっています。

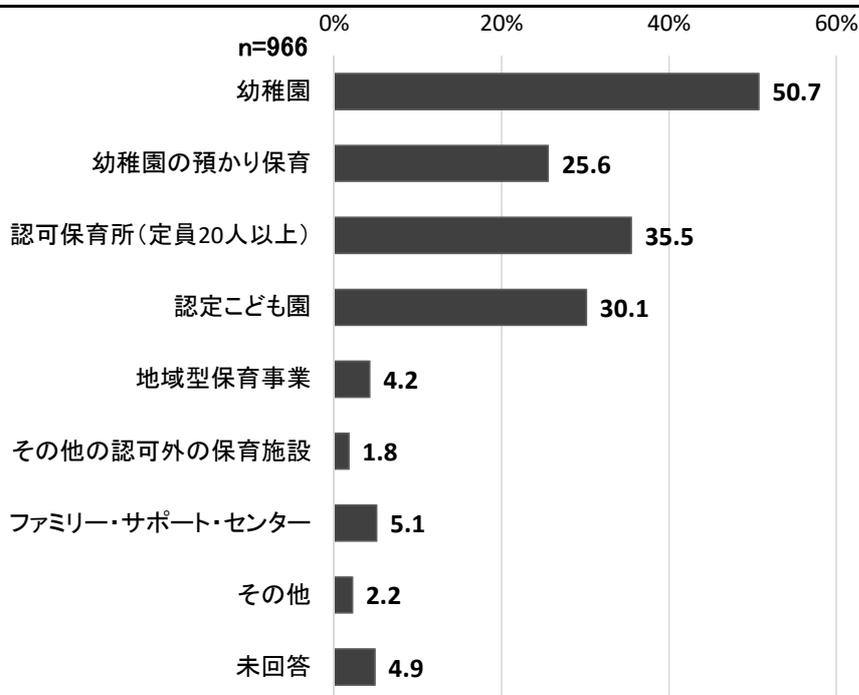


### ◎利用したい子どもの年齢



問14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。  
(〇はいくつでも)

今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業は、上位から「幼稚園」50.7%、「認可保育所（定員20人以上）」35.5%、「認定子ども園」30.1%となっています。



◎年齢別×今後利用したい教育・保育事業の利用の有無

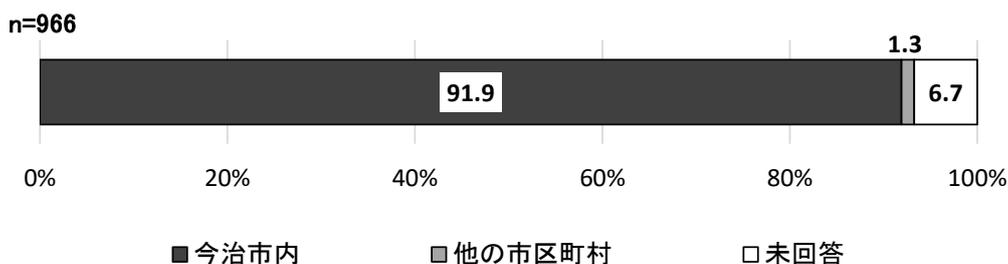
年齢別にみると、「2歳」以上で「幼稚園」の割合が高く、「0歳」と「1歳」は「認可保育所（定員20人以上）」の割合が高くなっています。

年齢	合計		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所(定員20人以上)	認定こども園	地域型保育事業	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他
	件数	割合								
全体	1495	100.0%	489	246	343	289	41	17	49	21
			32.7%	16.5%	22.9%	19.3%	2.7%	1.1%	3.3%	1.4%
0歳	206	100.0%	50	25	62	46	12	2	8	1
			24.3%	12.1%	30.1%	22.3%	5.8%	1.0%	3.9%	0.5%
1歳	172	100.0%	44	25	51	40	4	2	6	0
			25.6%	14.5%	29.7%	23.3%	2.3%	1.2%	3.5%	0.0%
2歳	202	100.0%	66	25	53	36	10	5	6	1
			32.7%	12.4%	26.2%	17.8%	5.0%	2.5%	3.0%	0.5%
3歳	188	100.0%	68	26	37	40	5	1	5	6
			36.2%	13.8%	19.7%	21.3%	2.7%	0.5%	2.7%	3.2%
4歳	235	100.0%	86	44	46	42	2	2	10	3
			36.6%	18.7%	19.6%	17.9%	0.9%	0.9%	4.3%	1.3%
5歳	285	100.0%	97	61	55	46	6	4	11	5
			34.0%	21.4%	19.3%	16.1%	2.1%	1.4%	3.9%	1.8%
6歳	207	100.0%	78	40	39	39	2	1	3	5
			37.7%	19.3%	18.8%	18.8%	1.0%	0.5%	1.4%	2.4%

問14-1 教育・保育の事業を利用したい場所についてお伺いします。

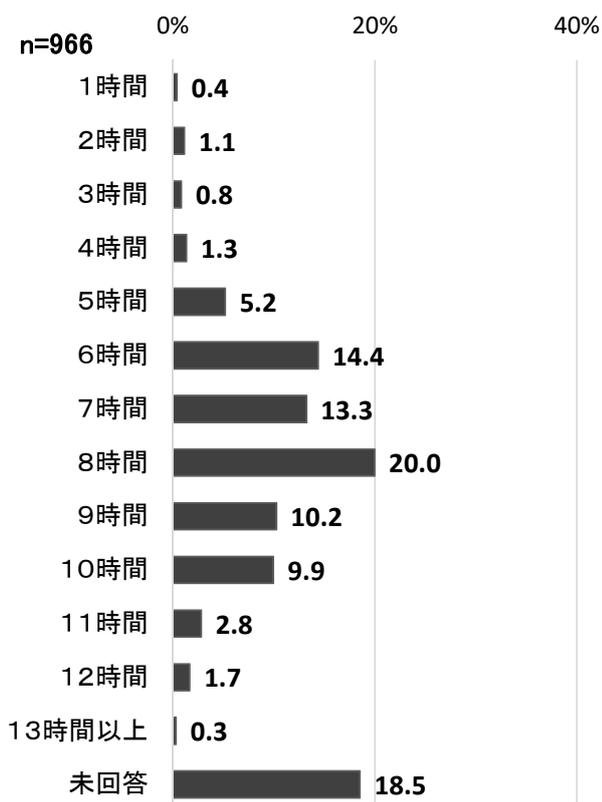
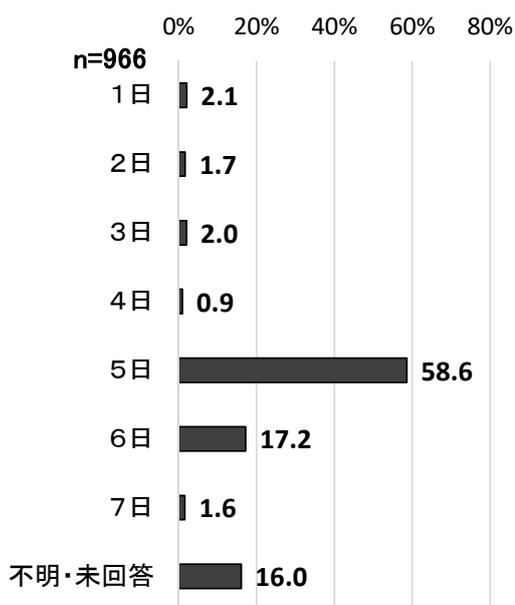
(○は1つ)

教育・保育事業を利用したい場所は、「今治市内」91.9%とほとんどを占めています。希望する1週当たりの利用日数は、「5日」58.6%の割合が最も高くなっています。希望する1日当たりの利用時間は、「8時間」20.0%、次いで「6時間」14.4%となっています。



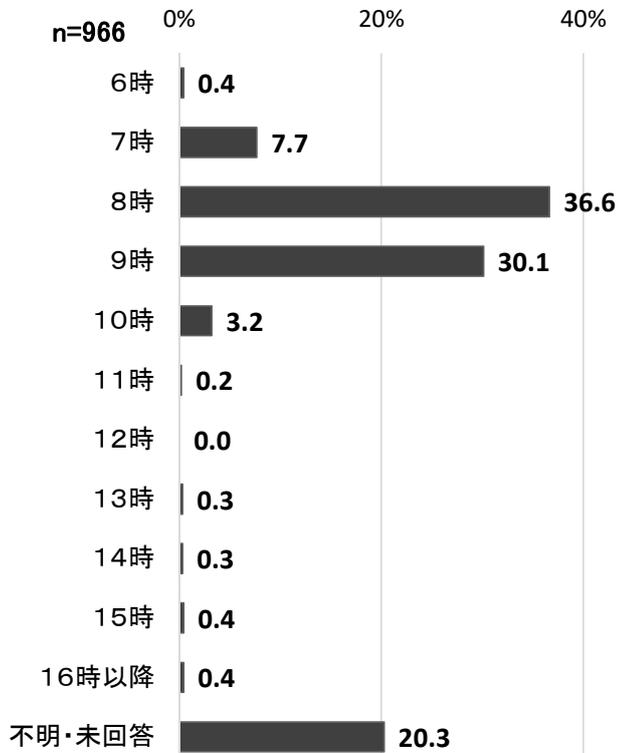
① 1週当たりの利用希望日数

② 1日当たりの利用希望時間

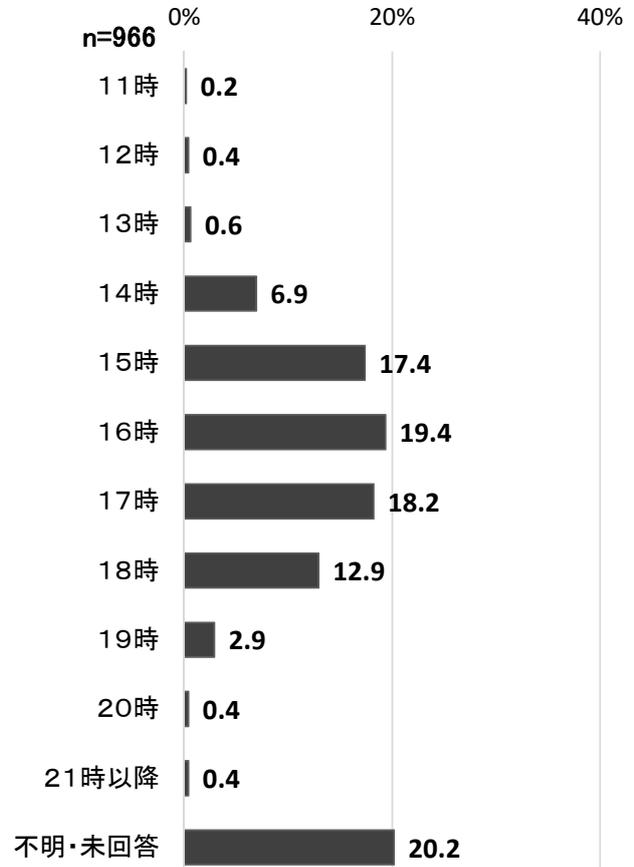


希望する利用開始時間は、「8時」36.6%、次いで「9時」30.1%となっています。希望する終了時間は、「16時」19.4%、次いで「17時」18.2%となっています。

③希望する利用開始時間



④希望する利用終了時間

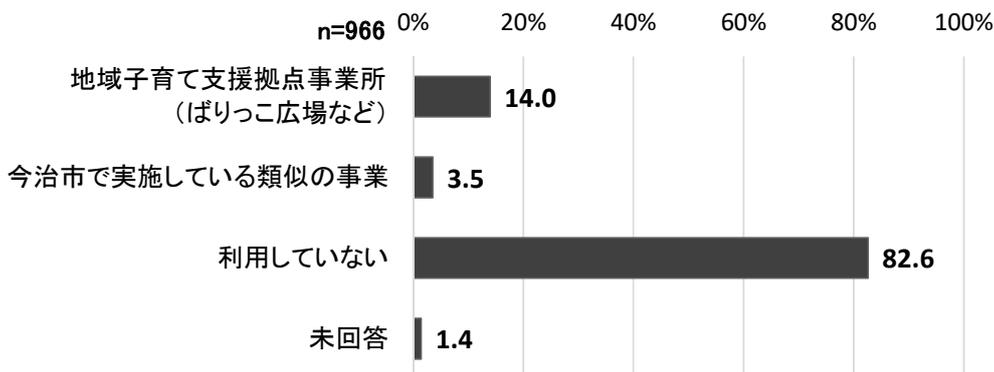


**あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお伺いします**

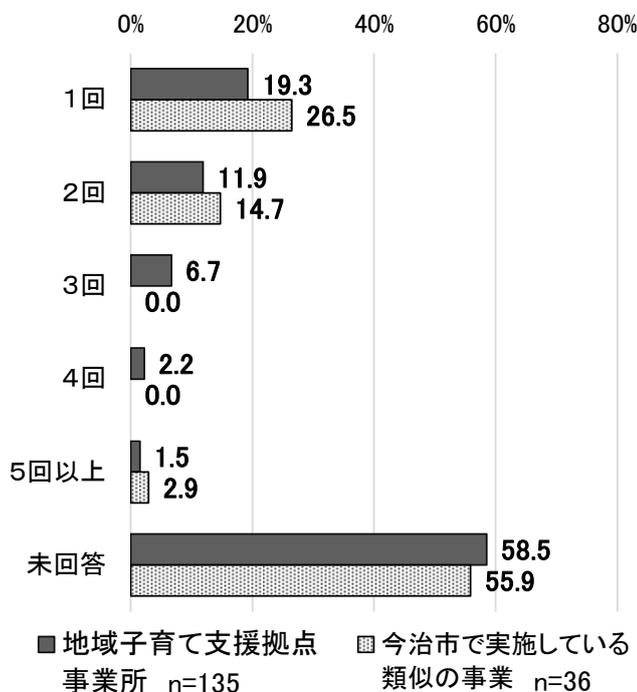
問15 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業所（ぱりっこ広場など）を利用していますか。（〇はいくつでも）

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業所」14.0%、次いで「今治市で実施している類似の事業」3.5%となっています。「利用していない」は82.6%となっています。

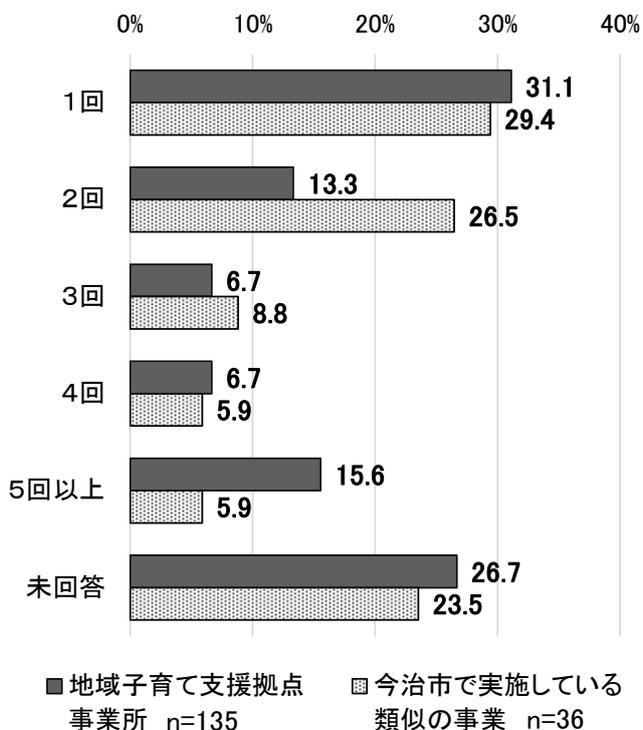
1週当たりの利用回数は、「地域子育て支援拠点事業所」、「今治市で実施している類似の事業」とともに1回の割合が高くなっています。1月当たりの利用回数でも、ともに1回の割合が高くなっています。



①地域子育て支援拠点事業の1週当たりの利用回数



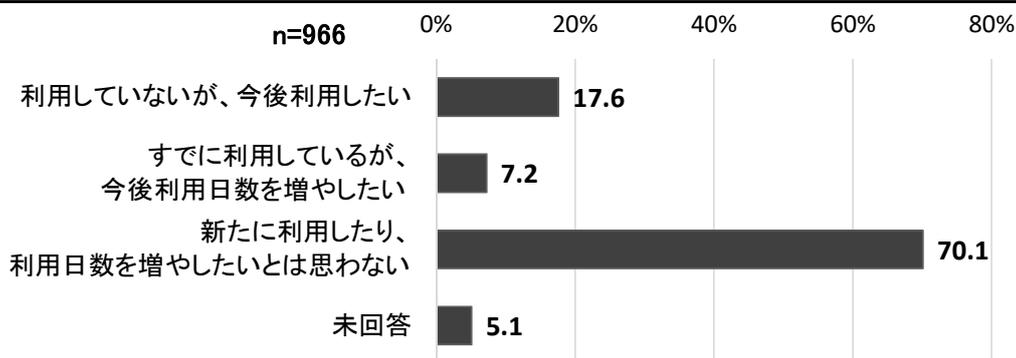
②地域子育て支援拠点事業の1月当たりの利用回数



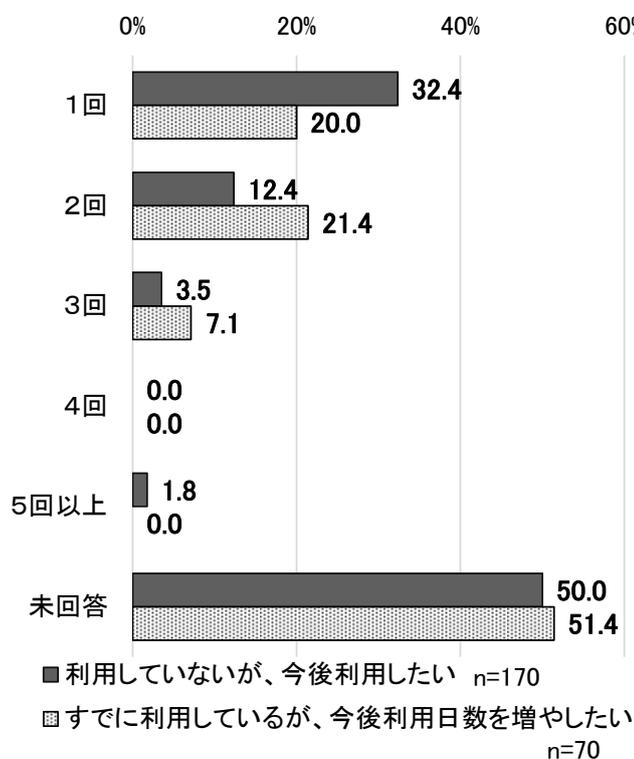
問16 問15のような地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など）について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）

地域子育て支援拠点事業所の今後の利用動向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」70.1%の割合が最も高くなっています。

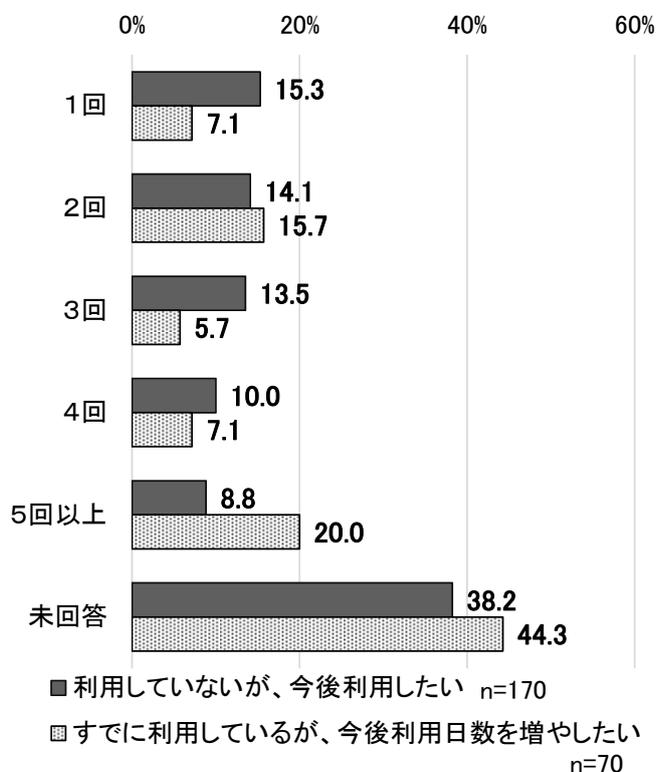
1週当たりの利用希望回数では、「利用していないが、今後利用したい」は「1回」の割合が最も高く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は「2回」の割合が最も高くなっています。1月当たりの利用希望回数では、「利用していないが、今後利用したい」は「1回」の割合が最も高く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は「5回以上」の割合が最も高くなっています。



①地域子育て支援拠点事業所の1週当たりの利用希望回数



②地域子育て支援拠点事業所の1月当たりの利用希望回数

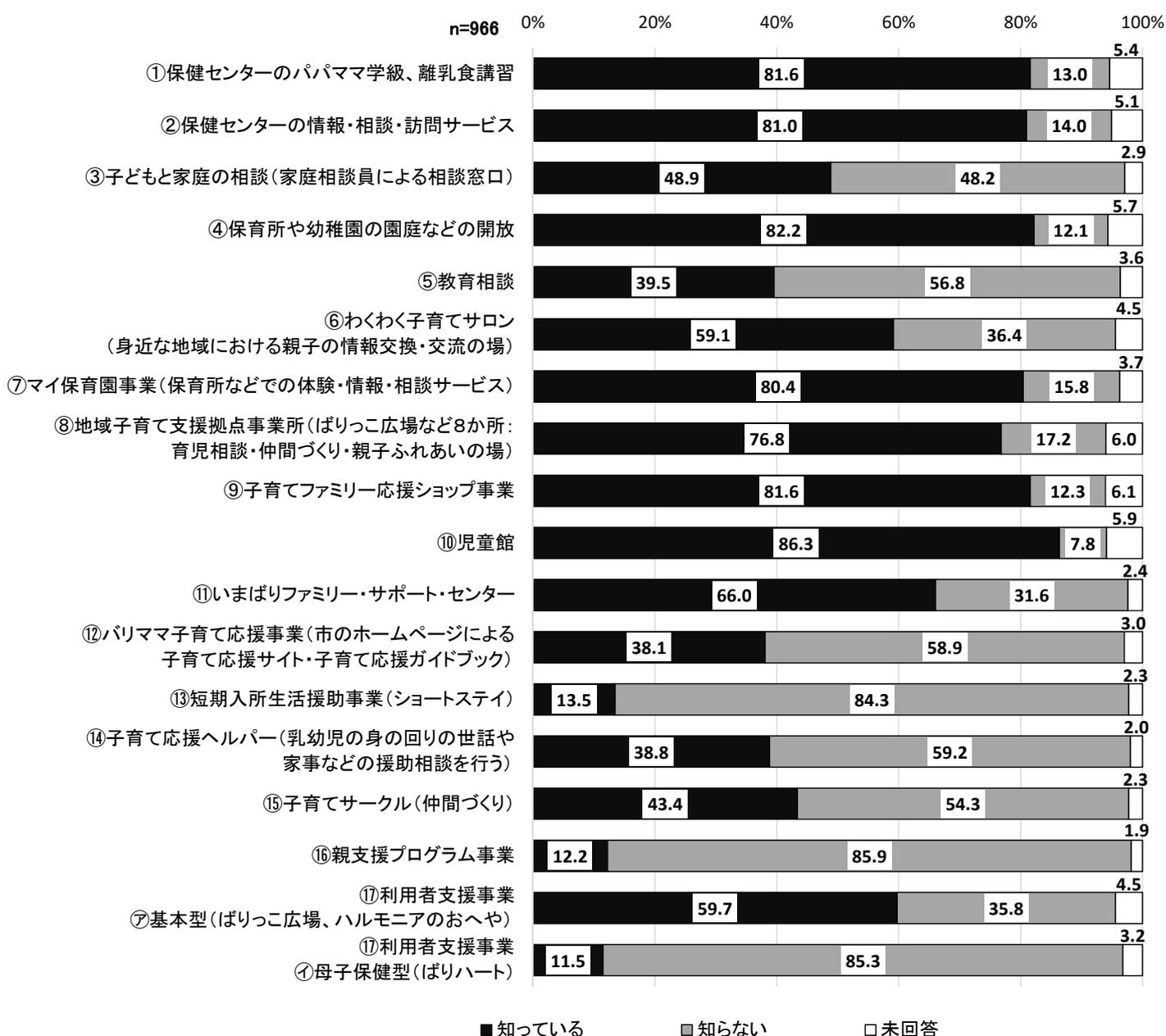


問17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（それぞれに○は1つ）

今治市で実施している子育て支援事業の認知度は、上位から「⑩児童館」86.3%、「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」82.2%、「①保健センターのパパママ学級、離乳食講習」と「⑨子育てファミリー応援ショップ事業」81.6%となっています。

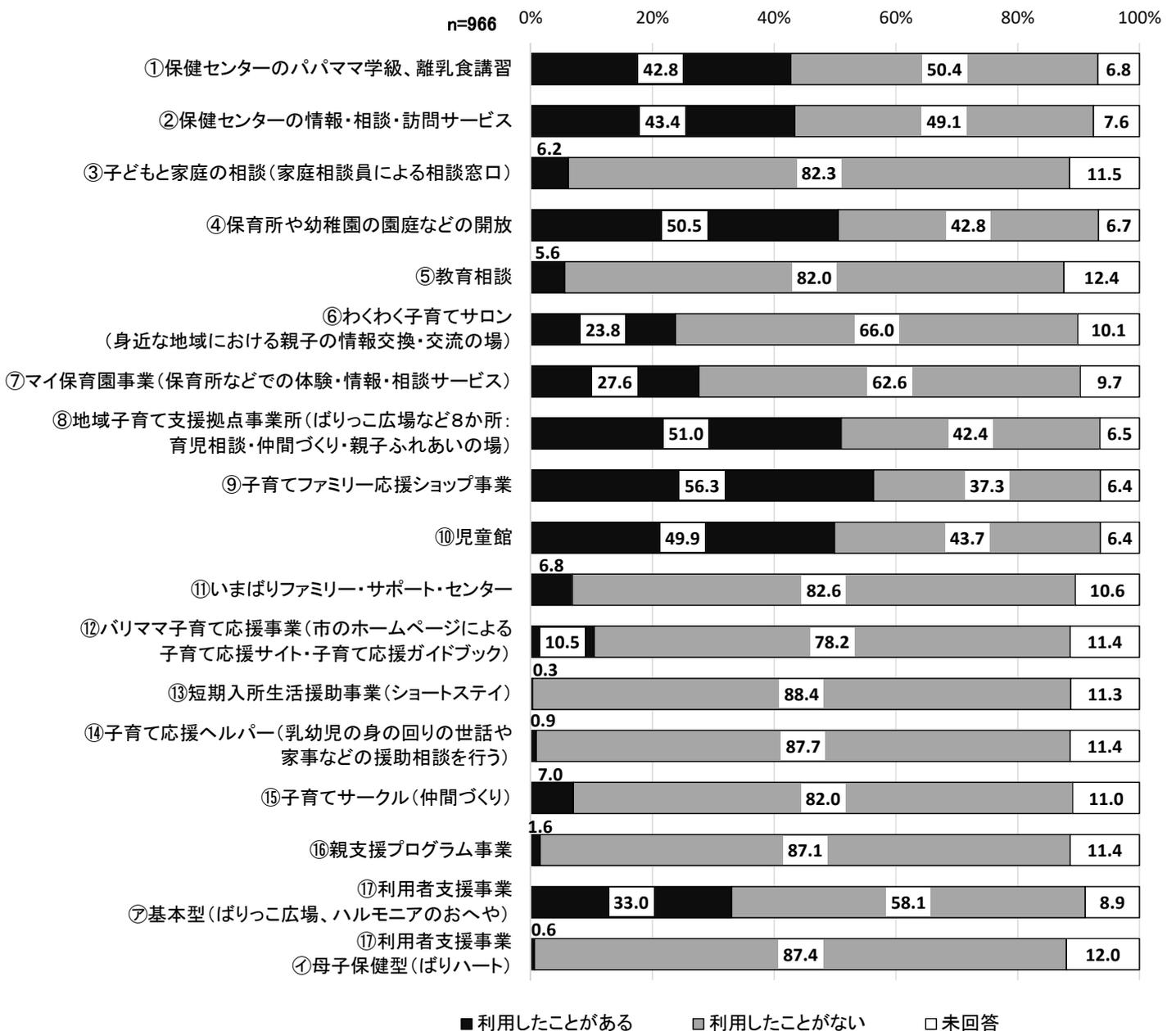
一方で、「⑰利用者支援事業 ①母子保健型（ばりハート）」が11.5%の割合で最も低くなっています。

①今治市で実施している子育て支援事業の認知度



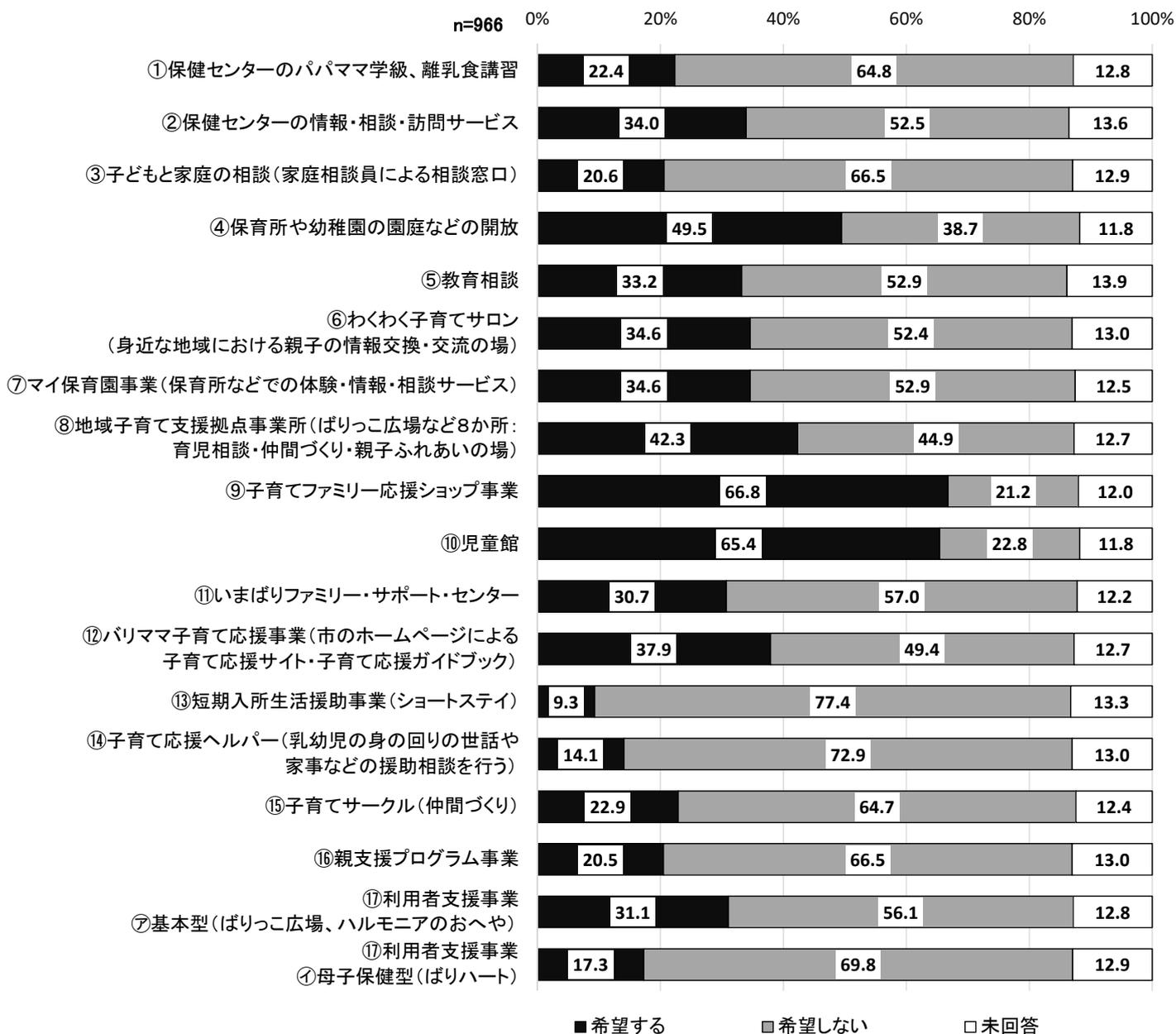
今治市で実施している子育て支援事業のこれまでの利用経験の有無は、上位から「⑨子育てファミリー応援ショップ事業」56.3%、「⑧地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など8か所：育児相談・仲間づくり・親子ふれあいの場）」51.0%、「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」50.5%となっています。

②今治市で実施している子育て支援事業の利用経験の有無



今治市で実施している子育て支援事業の今後の利用希望は、上位から「⑨子育てファミリー応援ショップ事業」66.8%、「⑩児童館」65.4%、「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」49.5%となっています。

### ③今治市で実施している子育て支援事業の今後の利用希望

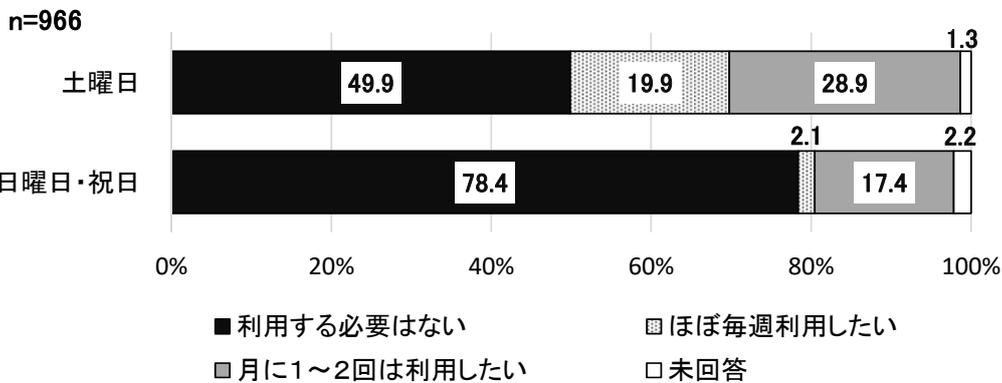


あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてお伺いします

問 18 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）（○は1つ）

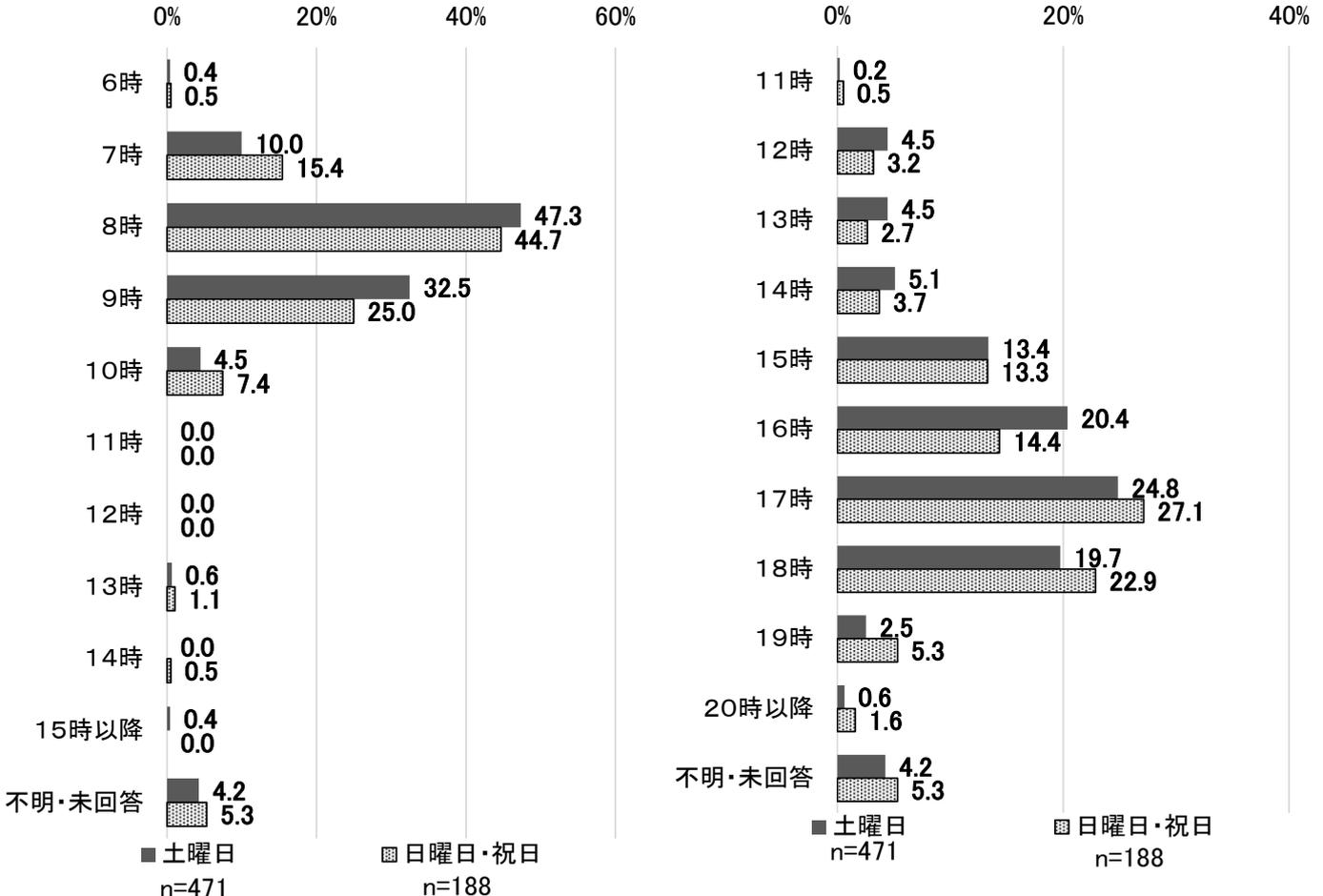
土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」の割合が最も高く、それぞれ49.9%、78.4%となっています。

希望する利用時間帯については、開始時間は土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」の割合が最も高く、それぞれ47.3%、44.7%となっています。終了時間は、土曜日、日曜日・祝日ともに「17時」の割合が最も高く、それぞれ24.8%、27.1%となっています。



①希望する利用開始時間

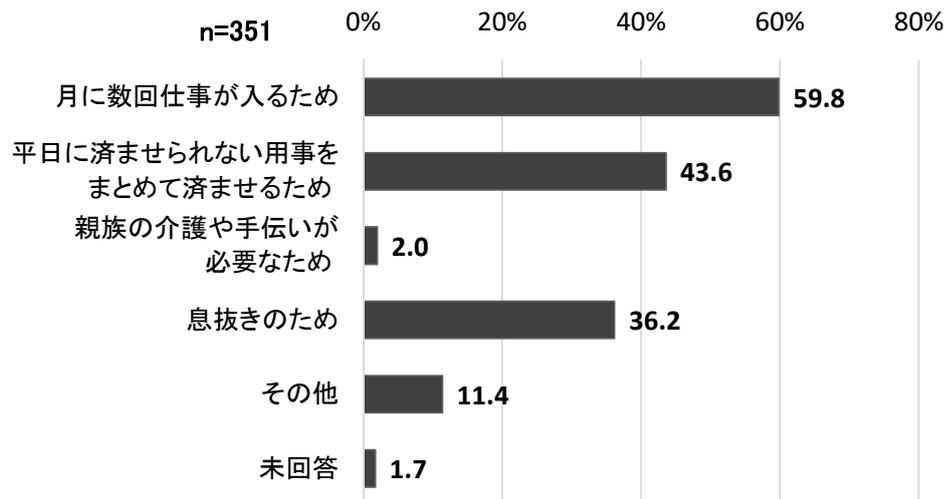
②希望する利用終了時間



問18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※問18の(1)土曜日(2)日曜日・祝日のどちらかで「月に1~2回は利用したい」と答えた方

毎週ではなくたまに利用したい方の理由は、上位から「月に数回仕事が入るため」が59.8%、「平日で済ませられない用事をまとめて済ませるため」43.6%、「息抜きのため」36.2%となっています。

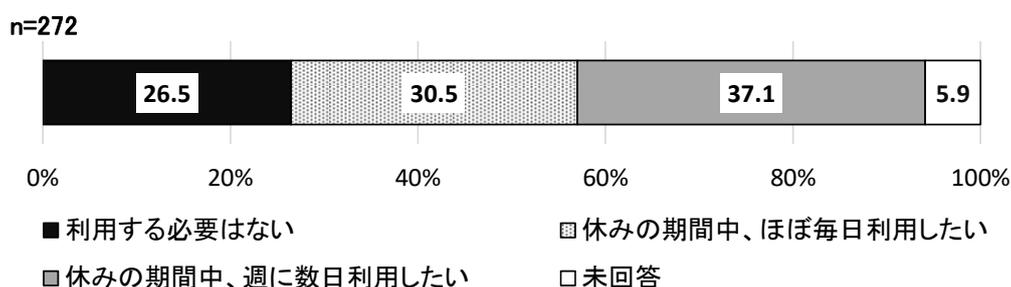


問19 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(〇は1つ)

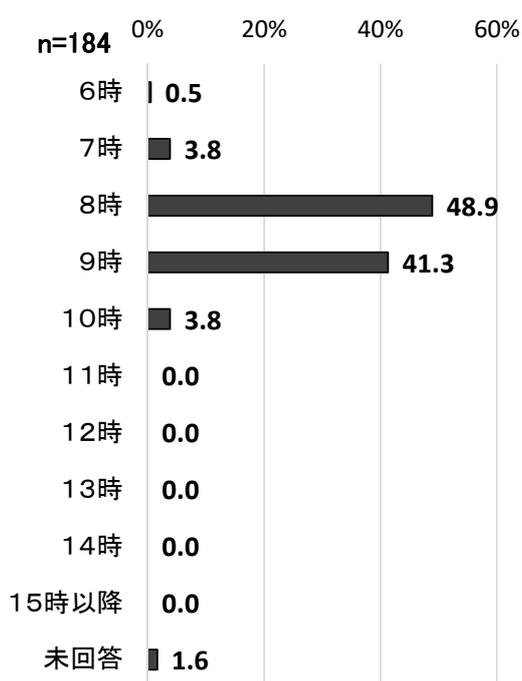
※幼稚園を利用されている方

幼稚園を利用されている方の、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」37.1%、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」30.5%となっています。

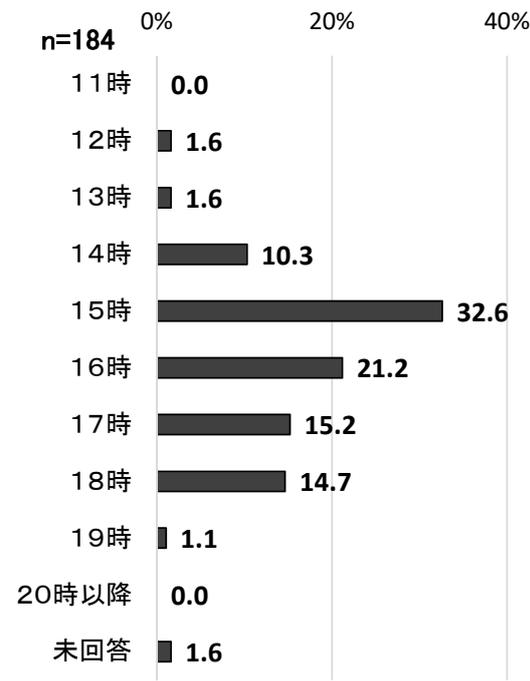
希望する利用時間帯は、開始時間が「8時」48.9%、次いで「9時」41.3%、終了時間は「15時」32.6%、「16時」21.2%、「17時」15.2%となっています。



①希望する利用開始時間



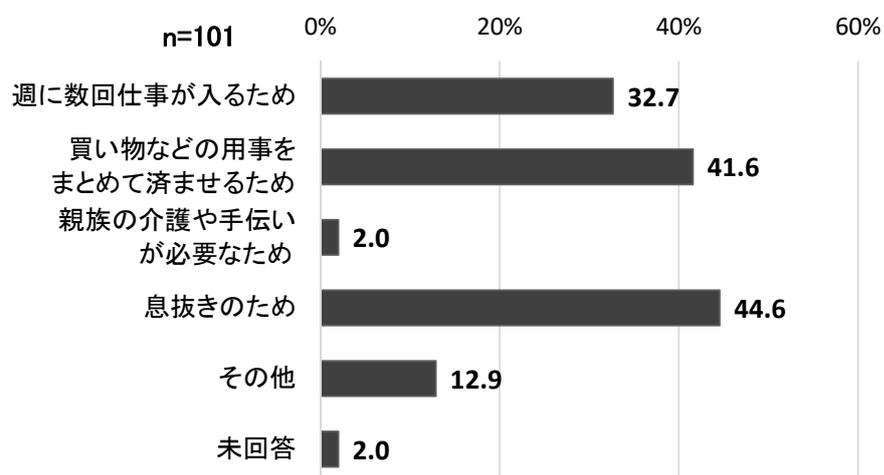
②希望する利用終了時間



問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※問19で「休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた方

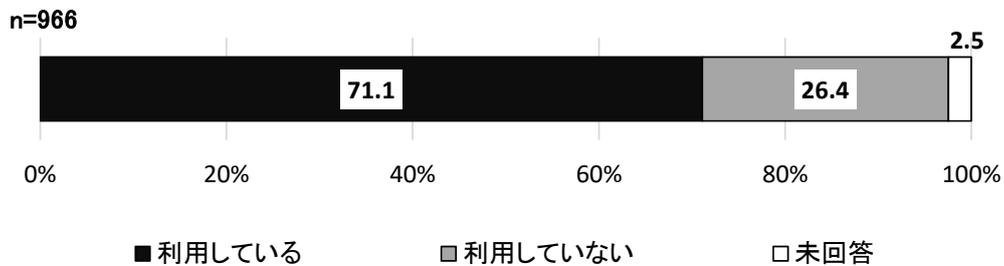
幼稚園を利用されている方の長期の休暇期間中の教育・保育事業をたまに利用したい理由は、上位から「息抜きのため」44.6%、「買い物などの用事をまとめて済ませるため」41.6%、「週に数回仕事が入るため」32.7%、となっています。



## 「幼児教育・保育無償化」についてお伺いします

現在、「教育・保育施設」を利用しているか。(〇は1つ)

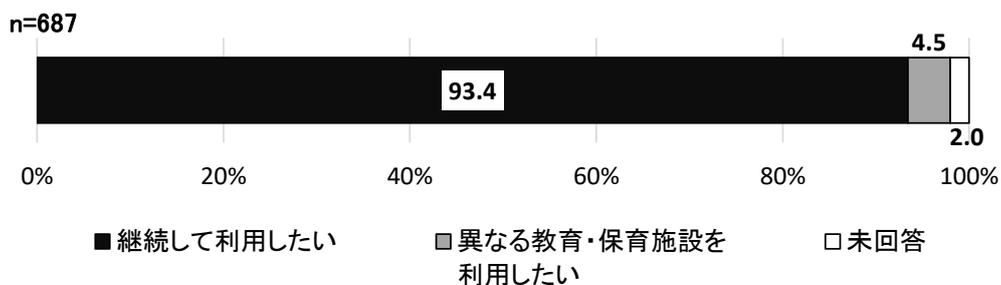
現在、教育・保育施設を利用しているかどうかは、「利用している」71.1%、「利用していない」26.4%となっています。



問20 幼児教育・保育無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設を継続して利用したいですか。それとも、異なる教育・保育施設を利用したいですか。(〇は1つ)

※現在、教育・保育施設を利用している方

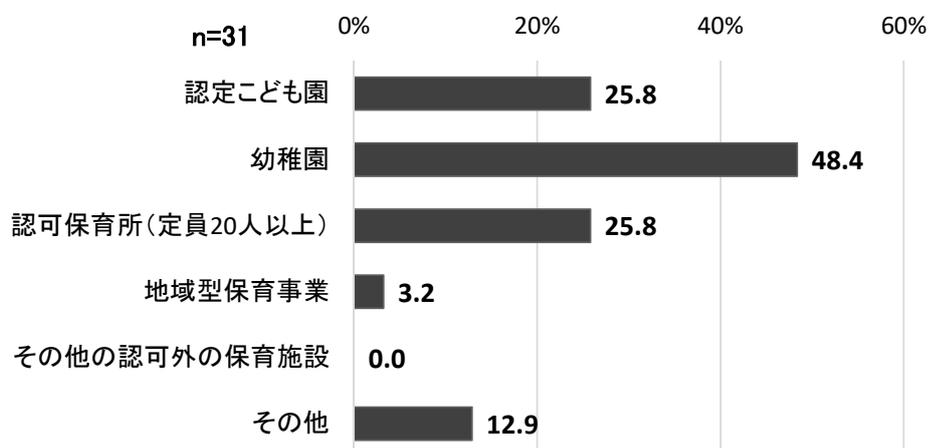
幼児教育・保育無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設の継続利用の意向は、「継続して利用したい」93.4%となりほとんどを占めています。「異なる教育・保育施設を利用したい」4.5%となっています。



問20-1 どの教育・保育施設を利用されたいですか。(申し込みの希望が叶う前提でお答えください) (〇はいくつでも)

※問20で「異なる教育・保育施設を利用したい」と答えた方

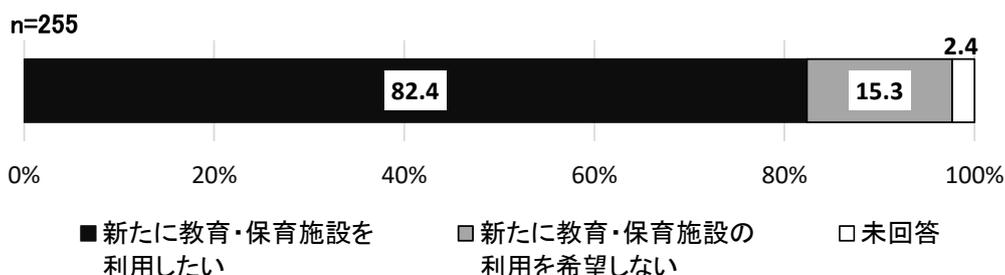
異なる教育・保育施設を利用したい方の利用場所は、「幼稚園」48.4%、次いで「認定こども園」と「認可保育所(定員20人以上)」25.8%となっています。



問21 幼児教育・保育無償化が実施された場合、新たに教育・保育施設の利用を希望しますか。（○は1つだけ）

※現在、教育・保育施設を利用していない方

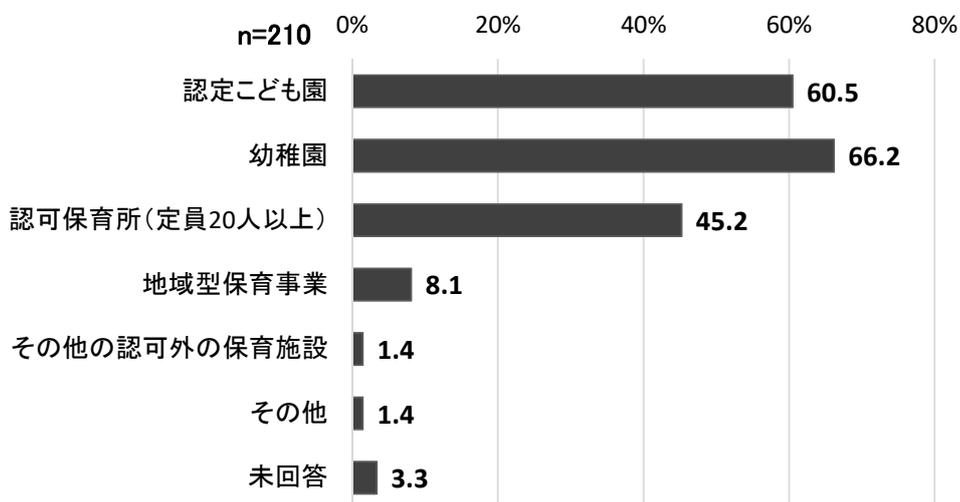
幼児教育・保育無償化が実施された場合、新たな教育・保育施設の利用希望は、「新たに教育・保育施設を利用したい」82.4%となりほとんどを占めています。



問21-1 どの教育・保育施設を利用されたいですか。（申し込みの希望が叶う前提でお答えください）（○はいくつでも）

※問21で「新たに教育・保育施設を利用したい」と答えた方

新たに教育・保育施設を利用する場合の施設は、上位から「幼稚園」66.2%、「認定こども園」60.5%、「認可保育所（定員20人以上）」45.2%となっています。



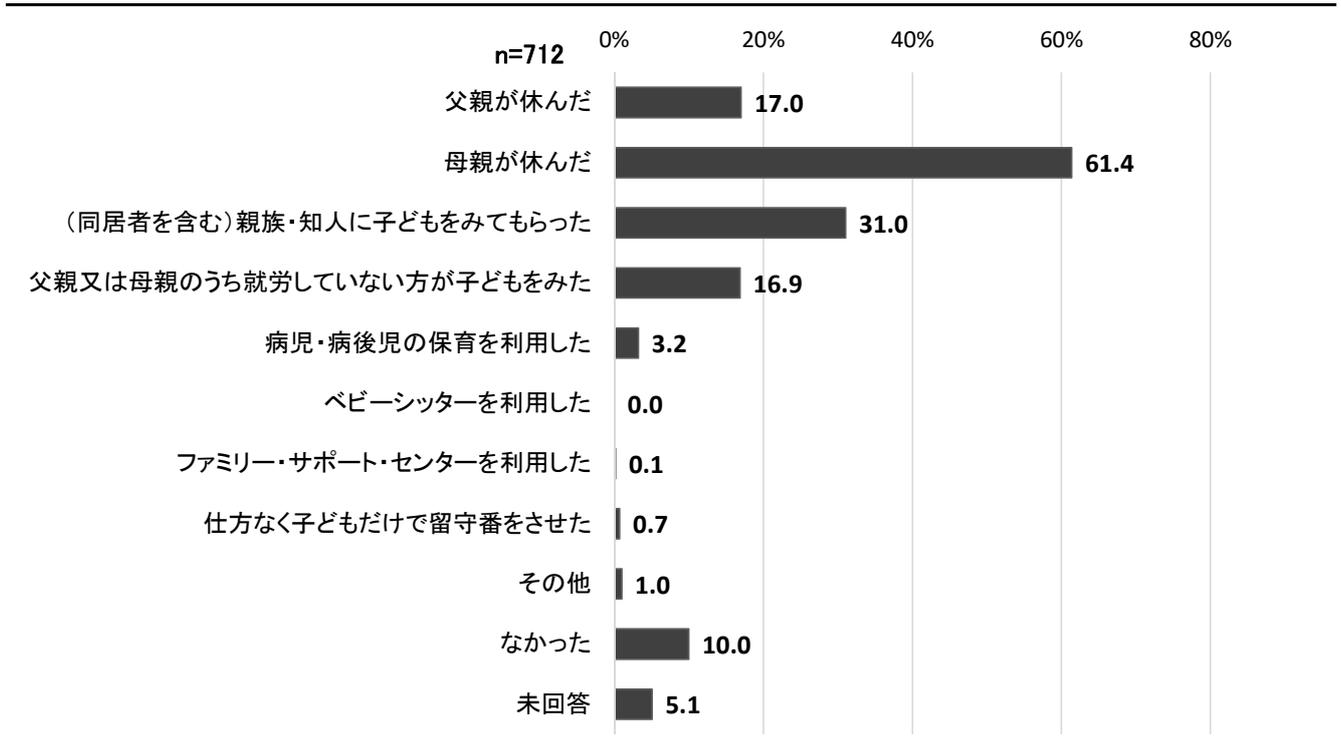
**あて名のお子さんの病気の際の対応についてお伺いします  
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問22 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。

(〇はいくつでも)

※問13で平日に利用している教育・保育事業を選択した方

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処法についてみると、「母親が休んだ」61.4%、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」31.0%となっています。



子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数については、「母親が休んだ」では「1～5日」48.7%の割合が最も高くなっています。「ファミリー・サポート・センターを利用した」以外の他の対処方法でも同様に、「1～5日」の割合が最も高くなっています。

◎子どもが病気やケガの際の各対処日数

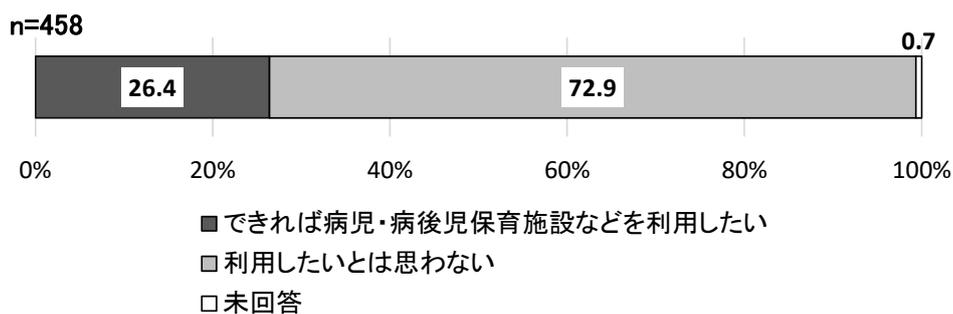
回答	父親が休んだ		母親が休んだ		(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった		父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		病児・病後児の保育を利用した		ファミリー・サポート・センターを利用した		仕方なく子どもだけで留守番をさせた		その他	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1～5日	99	81.8	213	48.7	131	59.3	52	43.3	17	73.9	0	0.0	5	100.0	3	42.9
6～10日	14	11.6	98	22.4	52	23.5	40	33.3	2	8.7	1	100.0	0	0.0	0	0.0
11～15日	1	0.8	32	7.3	3	1.4	9	7.5	1	4.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
16～20日	1	0.8	26	5.9	12	5.4	5	4.2	1	4.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21～25日	0	0.0	2	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
26～30日	0	0.0	12	2.7	3	1.4	2	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31～35日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
36～40日	0	0.0	1	0.2	0	0.0	2	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
41～45日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
46～50日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
51日以上	0	0.0	2	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
未回答	6	5.0	51	11.7	20	9.0	9	7.5	2	8.7	0	0.0	0	0.0	4	57.1
合計	121		437		221		120		23		1		5		7	

※「ベビーシッターを利用した」に回答はありませんでした。

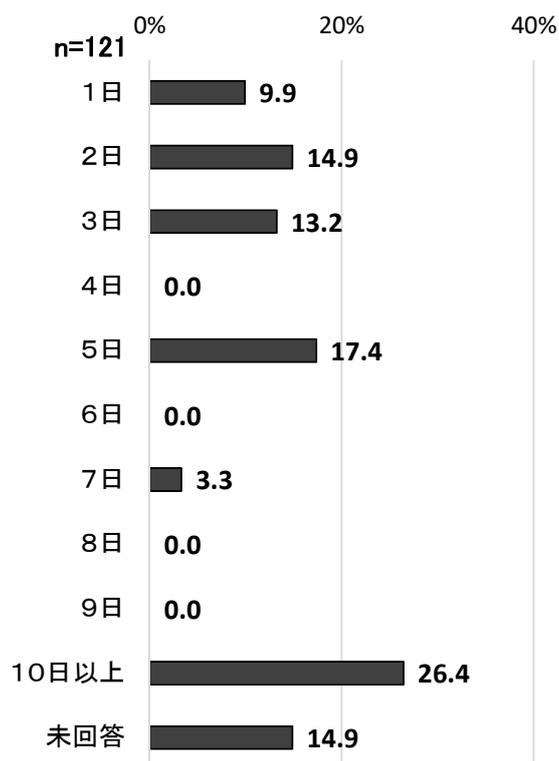
問22-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。(〇は1つ)

※問22で「父親が休んだ」か「母親が休んだ」と答えた方

父親または母親が休んだ方のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方は 26.4%、「利用したいとは思わない」を選択した方は 72.9%となっています。



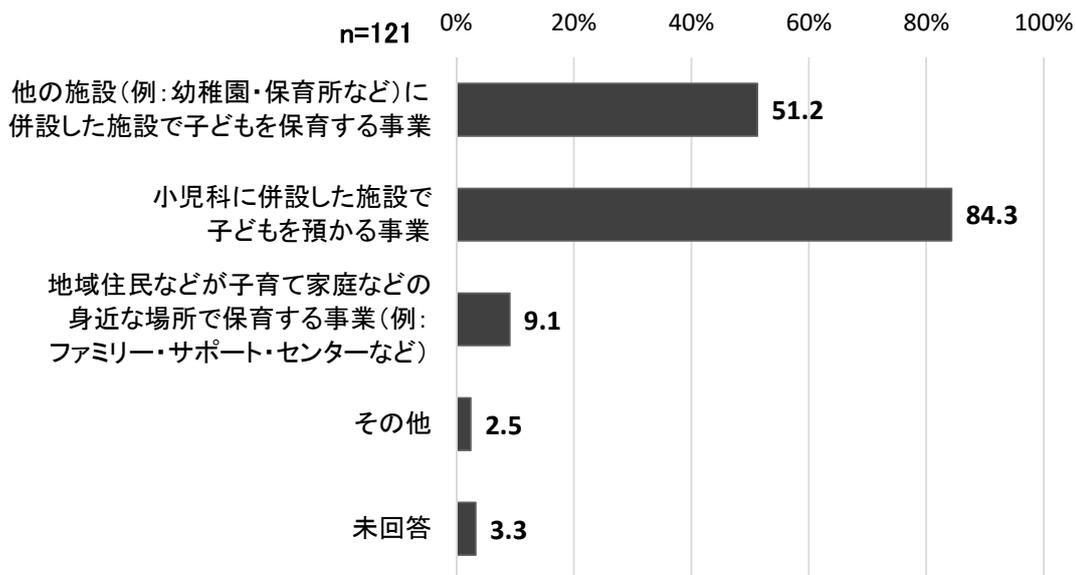
◎病児・病後児保育施設を利用したい方の日数



問22-2 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(〇はいくつでも)

※問22-1で「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方

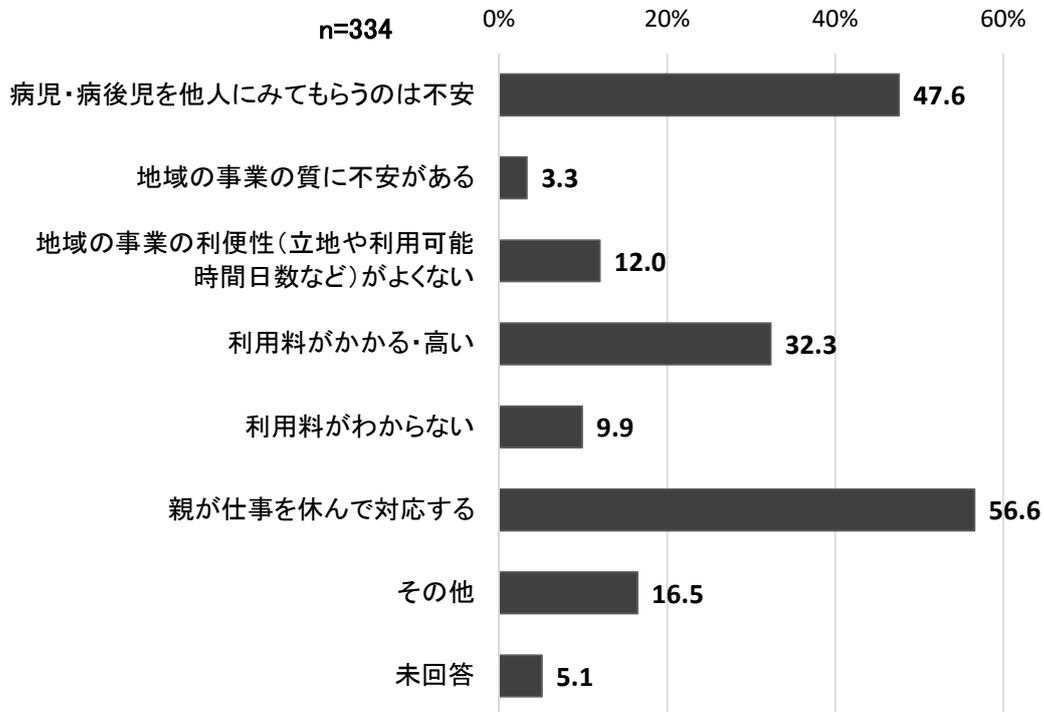
病児・病後児保育施設等を利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」84.3%、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所など)に併設した施設で子どもを保育する事業」51.2%となっています。



問22-3 そう思われる理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

※問22-1で「利用したいとは思わない」と答えた方

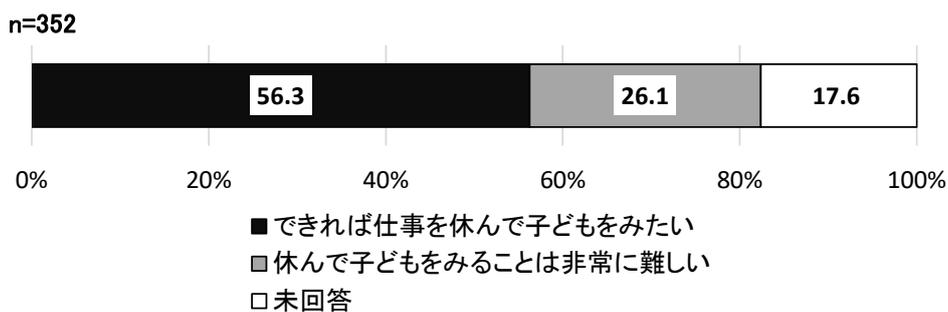
「親が仕事を休んで対応する」56.6%、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」47.6%となっています。



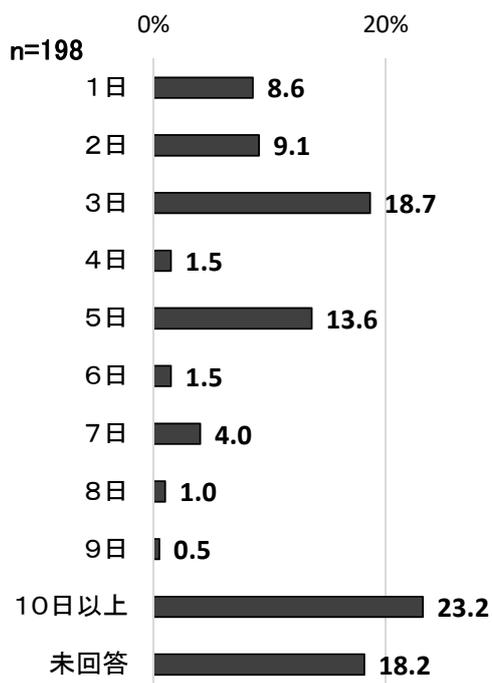
問22-4 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んでお子さんをみたいと思われましたか。(〇は1つ)

※問22で母親・父親が休んだ以外を選択した方で「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」～「その他」と答えた方

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」56.3%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」26.1%となっています。

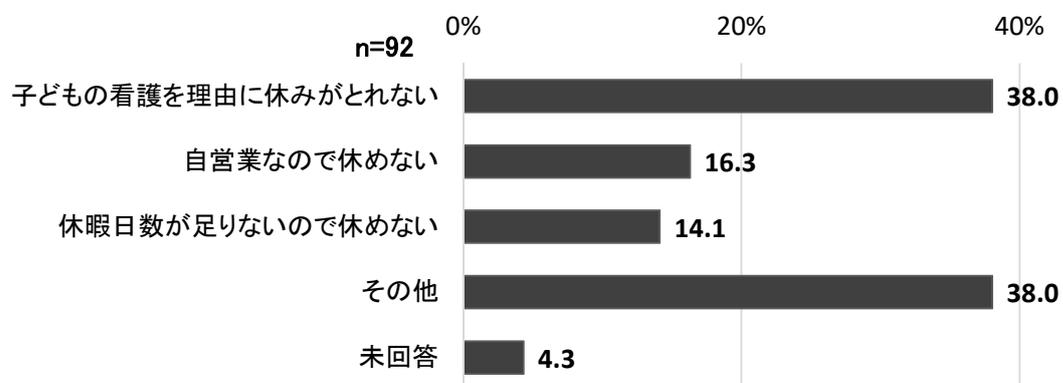


◎仕事を休んで子どもをみたい日数



問22-5 そう思われる理由についてお答えください。(〇はいくつでも)  
※問22-4で「休んで子どもをみることは非常に難しい」と答えた方

「子どもの看護を理由に休みがとれない」38.0%の割合が最も高くなっています。



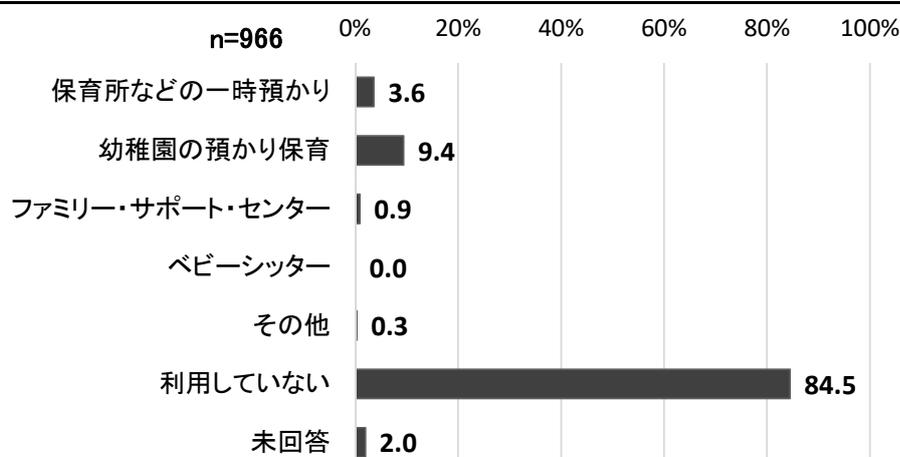
あて名のお子さんの不特定の教育・保育の事業や宿泊を  
 伴う一時預かりなどの利用についてお伺いします

問23 あて名のお子さんについて、日中の保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。

(〇はいくつでも)

私用や不特定の就労などの理由で、不定期に利用している事業は、「利用していない」84.5%の割合でほとんどを占めています。利用している事業は全て1割以下になっています。

利用している事業の1年間の利用日数は、「保育所などの一時預かり」「幼稚園の預かり保育」「ファミリー・サポート・センター」の「1～5日」が最も高くなっています。



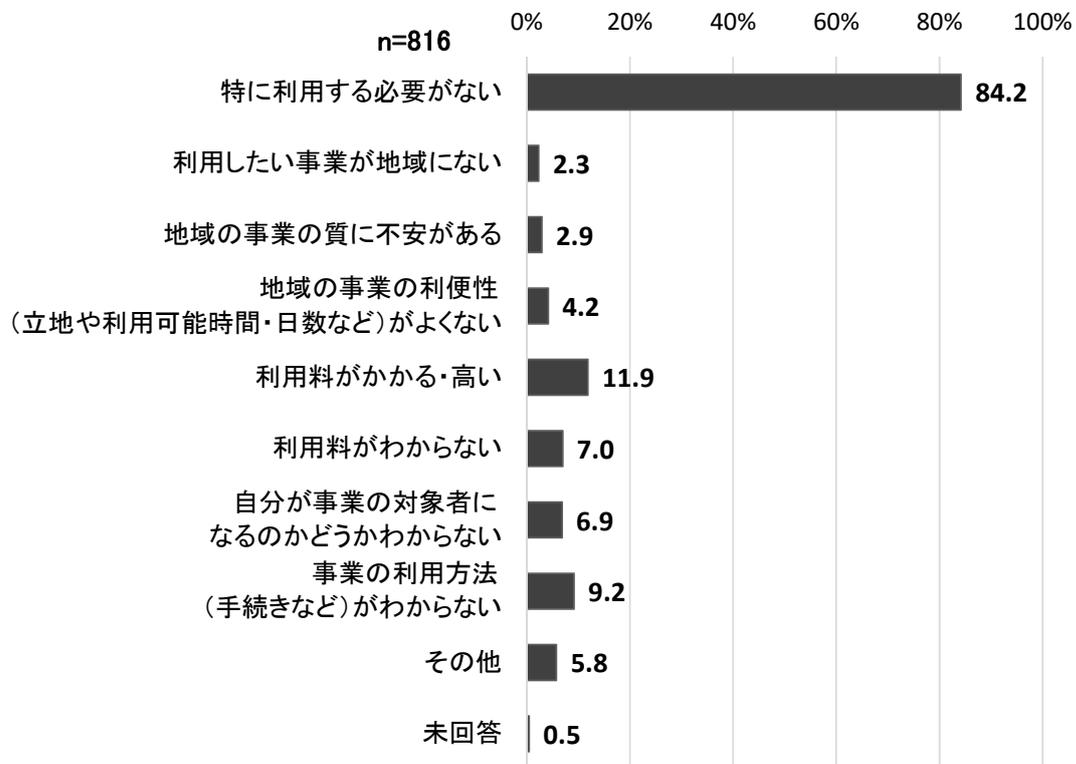
◎1年間の利用日数

回答	保育所などの一時預かり		幼稚園の預かり保育		ファミリー・サポート・センター		ベビーシッター		その他	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1～5日	15	42.9	39	42.9	5	55.6	0	0.0	1	33.3
6～10日	9	25.7	14	15.4	2	22.2	0	0.0	0	0.0
11～15日	0	0.0	5	5.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
16～20日	1	2.9	4	4.4	0	0.0	0	0.0	1	33.3
21～25日	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
26～30日	2	5.7	5	5.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31～35日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
36～40日	0	0.0	5	5.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
41～45日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
46～50日	0	0.0	2	2.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
51日以上	4	11.4	6	6.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
未回答	4	11.4	10	11.0	2	22.2	0	0.0	1	33.3
合計	35		91		9		0		3	

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

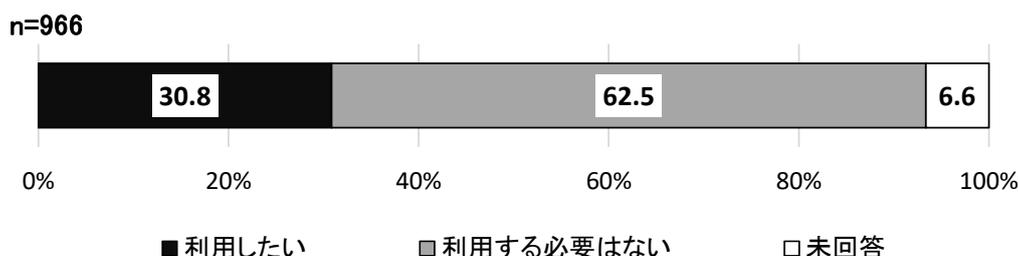
※問23で「利用していない」と答えた方

「特に利用する必要がない」84.2%の割合が最も高くなっています。



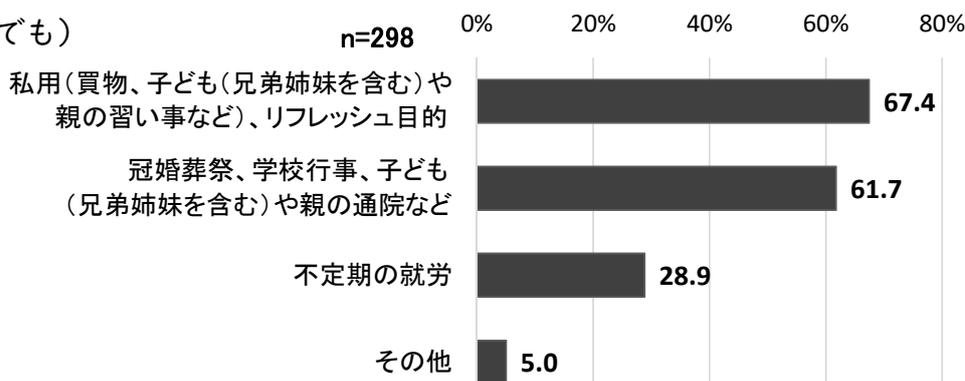
問24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(〇は1つ)

「利用する必要は無い」62.5%、「利用したい」30.8%となっています  
 利用したい目的は、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的」67.4%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など」61.7%となっています。利用したい年間日数は、「6~10日」の割合が最も高くなっています。利用したい目的別では、全て「1~5日」の割合が最も高くなっています。



①利用したい目的

(〇はいくつでも)



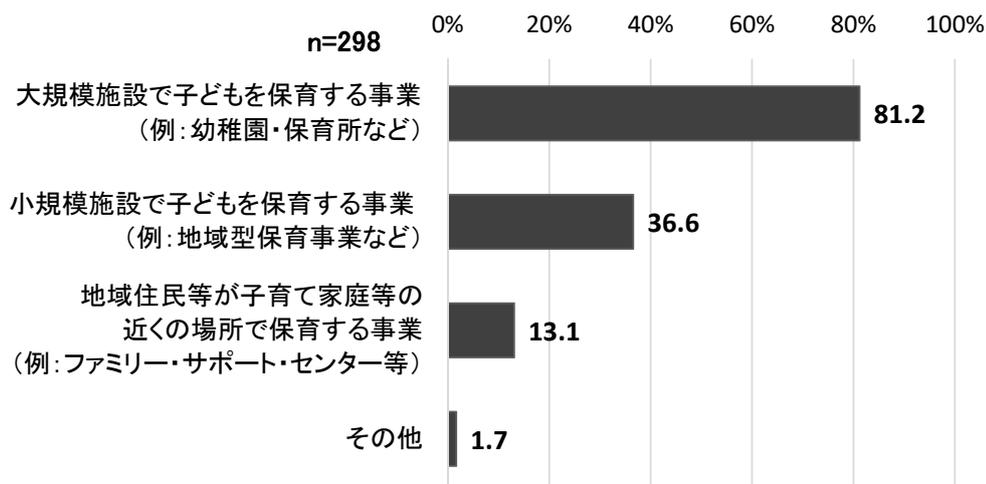
②利用したい年間日数

利用したい日数	利用したい年間日数		利用したい日数	私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的		冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など		不定期の就労		その他	
	件数	割合 (%)		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1~5日	52	17.4	1~5日	74	36.8	85	46.2	20	23.3	6	40.0
6~10日	70	23.5	6~10日	52	25.9	56	30.4	19	22.1	2	13.3
11~15日	43	14.4	11~15日	31	15.4	17	9.2	9	10.5	0	0.0
16~20日	31	10.4	16~20日	9	4.5	7	3.8	5	5.8	1	6.7
21~25日	11	3.7	21~25日	8	4.0	2	1.1	2	2.3	0	0.0
26~30日	23	7.7	26~30日	3	1.5	2	1.1	5	5.8	1	6.7
31~35日	1	0.3	31~35日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
36~40日	5	1.7	36~40日	2	1.0	1	0.5	2	2.3	0	0.0
41~45日	2	0.7	41~45日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
46~50日	18	6.0	46~50日	9	4.5	2	1.1	5	5.8	1	6.7
51日以上	19	6.4	51日以上	3	1.5	0	0.0	8	9.3	0	0.0
未回答	23	7.7	未回答	10	5.0	12	6.5	11	12.8	4	26.7
合計	298		合計	201		184		86		15	

問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(〇はいくつでも)

※問24で「利用したい」と答えた方

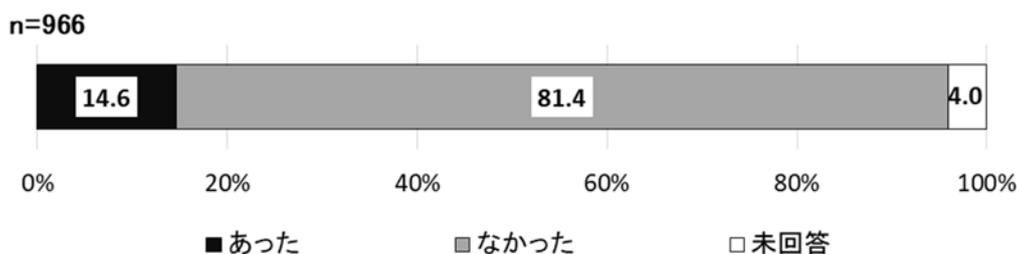
不定期に利用する事業の望ましい事業形態は、上位から「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所など)」81.2%、「小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域型保育事業など)」36.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」13.1%となっています。



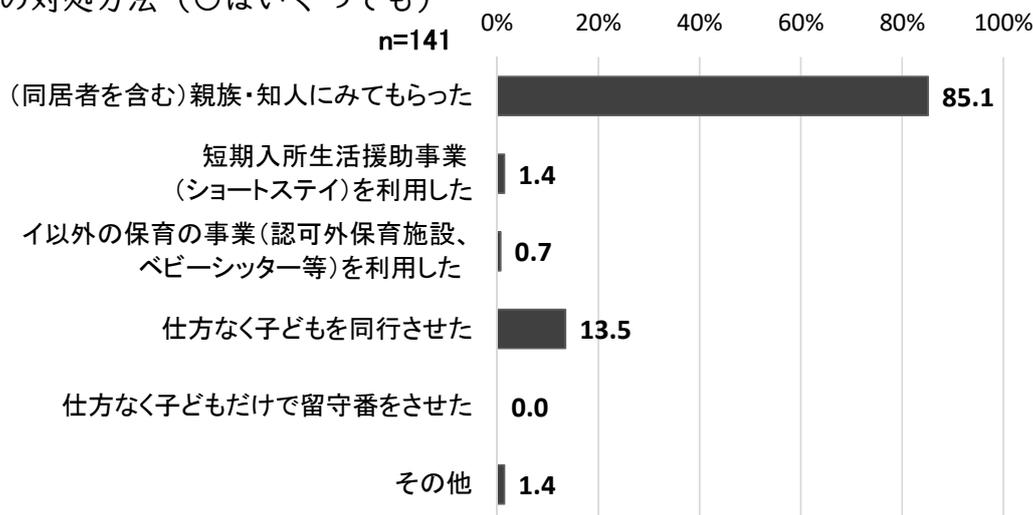
問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含まれます）（○は1つ）

「なかった」81.4%、「あった」14.6%となっています。

対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」85.1%となっています。預けた泊数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と「仕方なく子どもを同行させた」では「1泊」の割合が高くなっています。



①1年間の対処方法（○はいくつでも）



②それぞれの日数

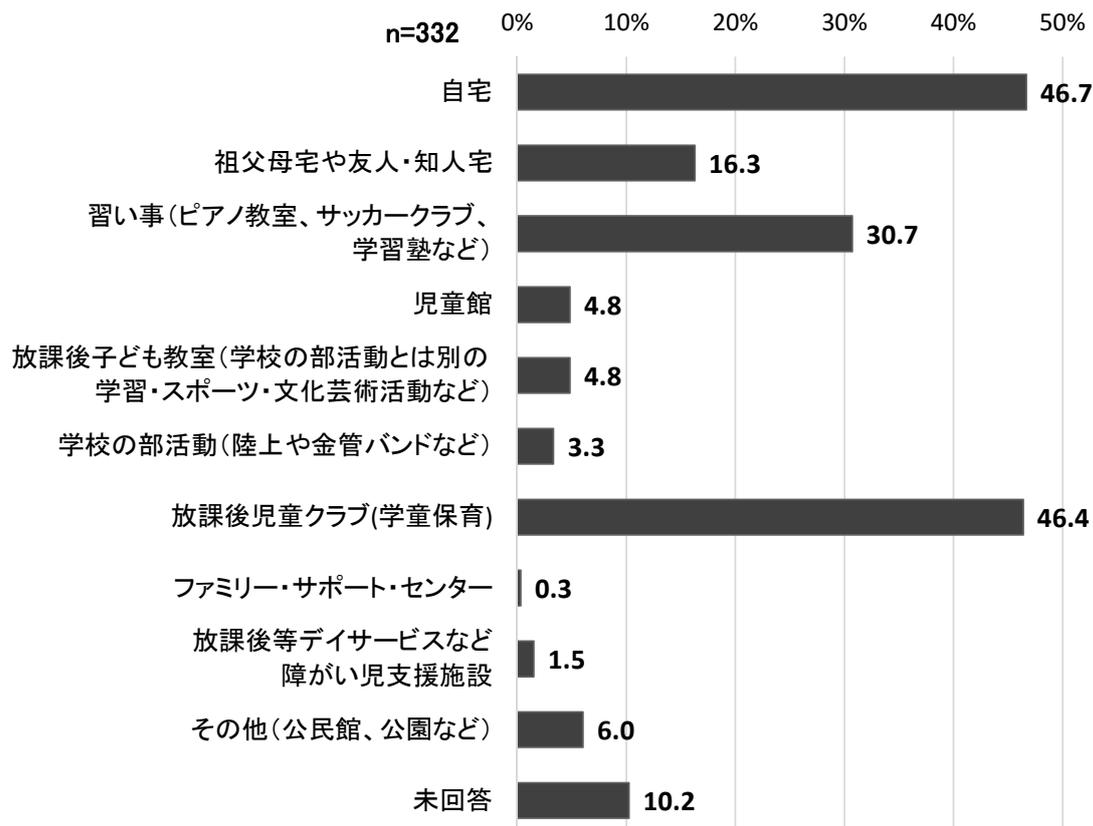
回答	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった		短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した		イ以外の保育の事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した		仕方なく子どもを同行させた		その他	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1泊	36	30.0	0	0.0	0	0.0	7	36.8	1	50.0
2泊	18	15.0	0	0.0	0	0.0	5	26.3	0	0.0
3泊	12	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4泊	7	5.8	0	0.0	0	0.0	1	5.3	0	0.0
5泊	17	14.2	0	0.0	1	100.0	1	5.3	1	50.0
6泊	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊	4	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8泊	3	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	14	11.7	0	0.0	0	0.0	3	15.8	0	0.0
未回答	8	6.7	2	100.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0
合計	120		2		1		19		2	

※「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答はありませんでした。

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就業後の  
放課後の過ごし方についてお伺いします

問26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。  
(〇はいくつでも)

上位から「自宅」46.7%、「放課後児童クラブ（学童保育）」46.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」30.7%となっています。

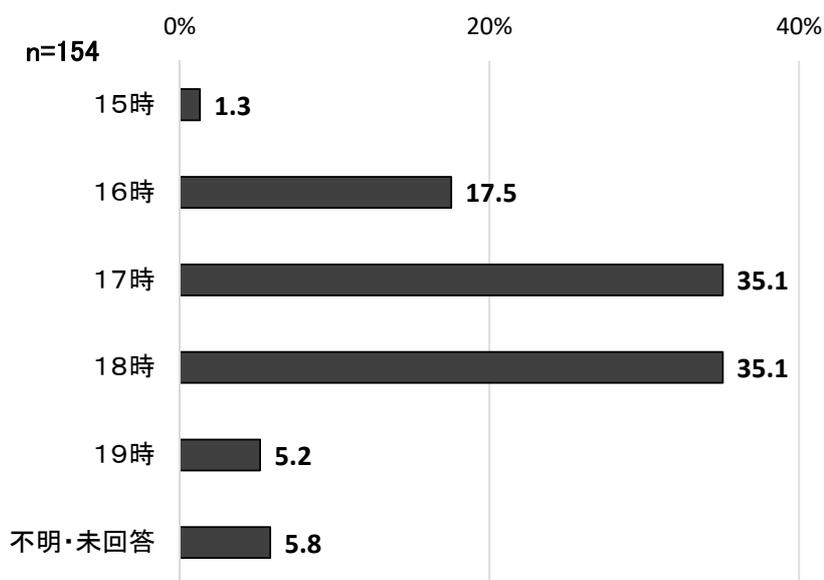


① 1週当たりの利用希望日数

回答	自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)		児童館		放課後子ども教室(学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1日	11	7.1	13	24.1	31	30.4	3	18.8	7	43.8
2日	19	12.3	21	38.9	42	41.2	2	12.5	4	25.0
3日	25	16.1	5	9.3	19	18.6	3	18.8	1	6.3
4日	13	8.4	0	0.0	6	5.9	1	6.3	0	0.0
5日	63	40.6	11	20.4	0	0.0	5	31.3	2	12.5
6日	0	0.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0
7日	6	3.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
未回答	18	11.6	4	7.4	3	2.9	2	12.5	2	12.5
合計	155		54		102		16		16	

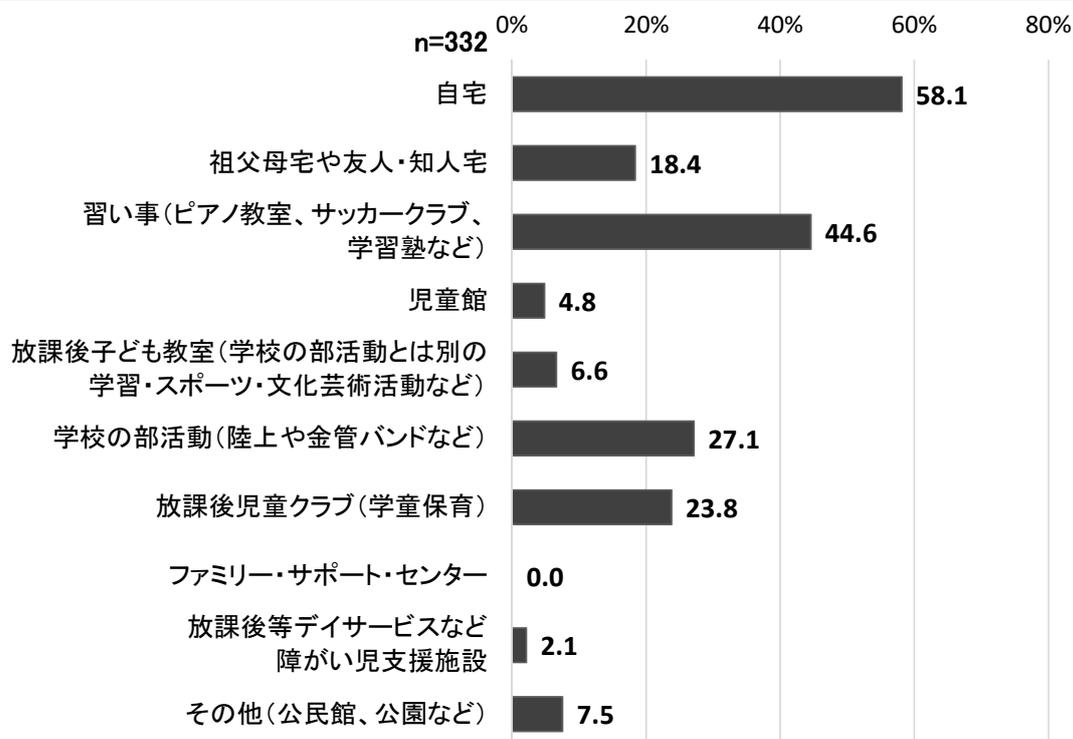
回答	学校の部活動(陸上や金管バンドなど)		放課後児童クラブ(学童保育)		ファミリー・サポート・センター		放課後等デイサービスなど障がい児支援施設		その他(公民館、公園など)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1日	0	0.0	2	1.3	0	0.0	0	0.0	6	30.0
2日	5	45.5	8	5.2	1	100.0	1	20.0	6	30.0
3日	5	45.5	18	11.7	0	0.0	1	20.0	3	15.0
4日	0	0.0	10	6.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	100	64.9	0	0.0	3	60.0	3	15.0
6日	0	0.0	11	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
未回答	1	9.1	4	2.6	0	0.0	0	0.0	2	10.0
合計	11		154		1		5		20	

② 「放課後児童クラブ」の利用希望時間(下校時から何時まで)



問27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。  
（〇はいくつでも）

上位から「自宅」58.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」44.6%、「学校の部活動（陸上や金管バンドなど）」27.1%となっています。

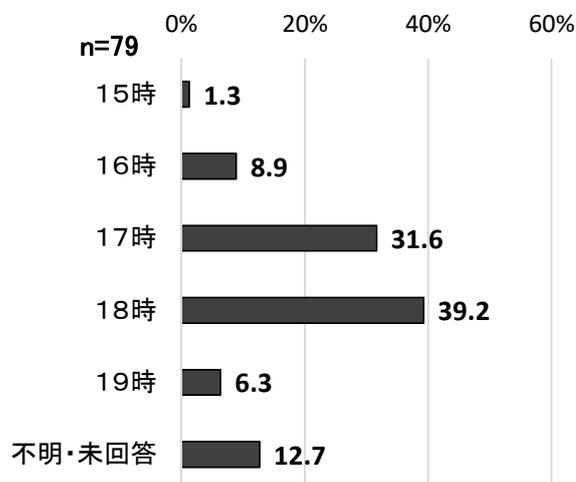


①1週当たりの利用希望日数

回答	自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)		児童館		放課後子ども教室(学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1日	20	10.4	15	24.6	33	22.3	3	18.8	4	18.2
2日	28	14.5	18	29.5	57	38.5	7	43.8	10	45.5
3日	26	13.5	8	13.1	35	23.6	2	12.5	2	9.1
4日	11	5.7	1	1.6	10	6.8	0	0.0	0	0.0
5日	69	35.8	9	14.8	1	0.7	1	6.3	2	9.1
6日	4	2.1	1	1.6	1	0.7	0	0.0	0	0.0
7日	6	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
未回答	29	15.0	9	14.8	11	7.4	3	18.8	4	18.2
合計	193		61		148		16		22	

回答	学校の部活動(陸上や金管バンドなど)		放課後児童クラブ(学童保育)		ファミリー・サポート・センター		放課後等デイサービスなど障がい児支援施設		その他(公民館、公園など)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1日	4	4.4	5	6.3	0	0.0	0	0.0	5	20.0
2日	24	26.7	13	16.5	0	0.0	1	14.3	5	20.0
3日	28	31.1	8	10.1	0	0.0	2	28.6	2	8.0
4日	8	8.9	1	1.3	0	0.0	0	0.0	1	4.0
5日	15	16.7	40	50.6	0	0.0	3	42.9	2	8.0
6日	1	1.1	7	8.9	0	0.0	0	0.0	1	4.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.0
未回答	10	11.1	5	6.3	0	0.0	1	14.3	8	32.0
合計	90		79		0		7		25	

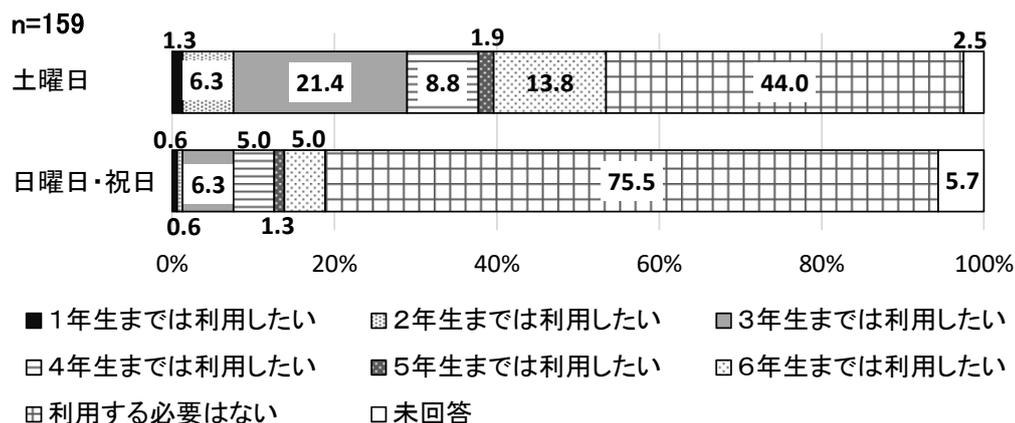
②「放課後児童クラブ」の利用希望時間(下校時から何時まで)



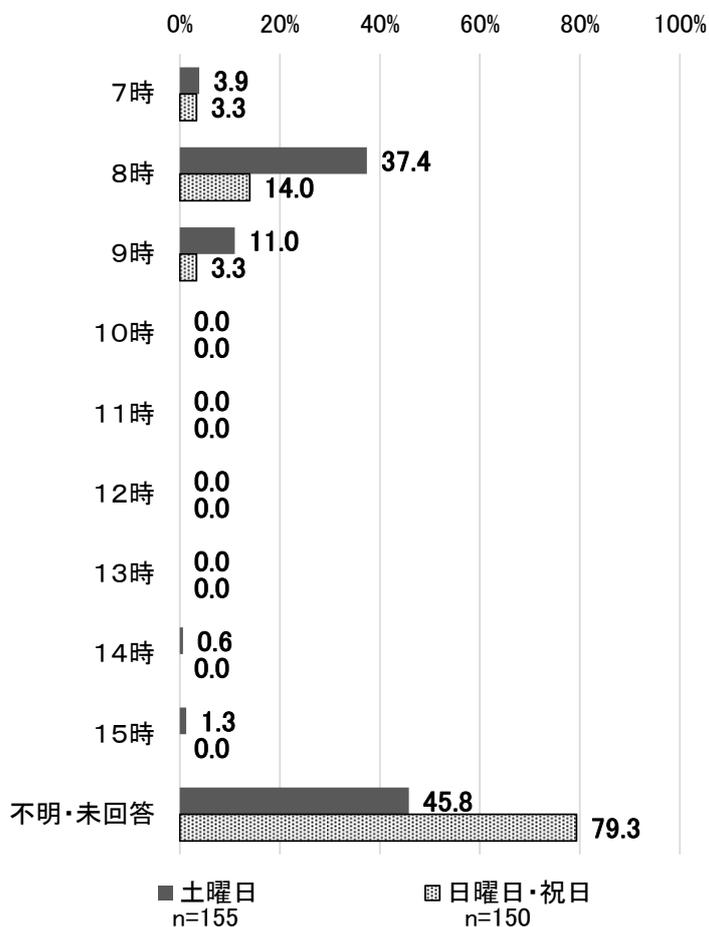
問28 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（〇は1つ）

※問26か問27で「放課後児童クラブ（学童保育）」と答えた方

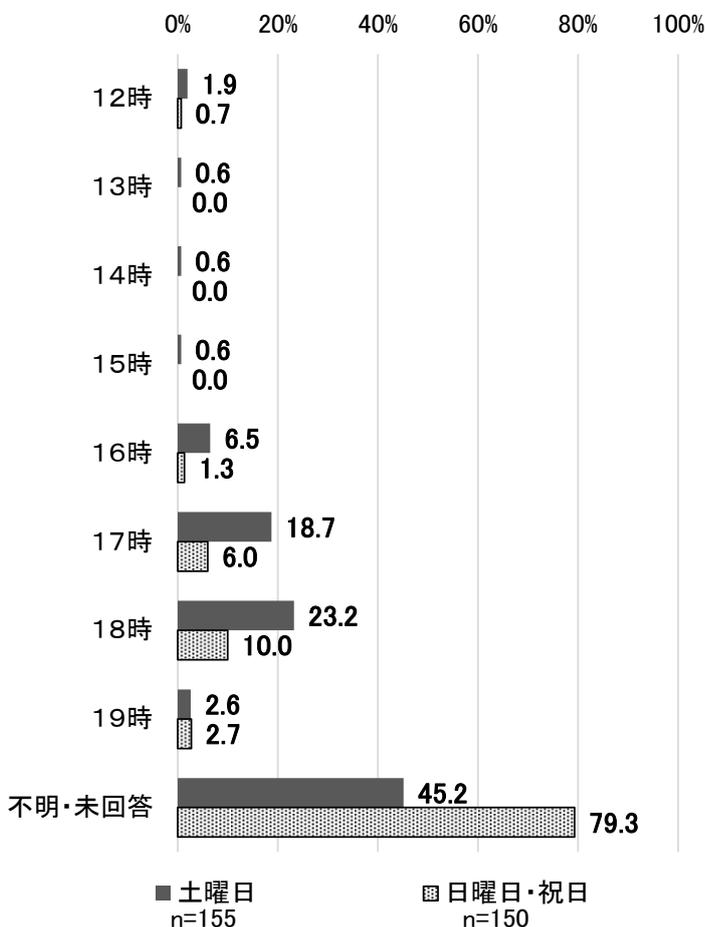
放課後児童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望は、土曜日と日曜日・祝日ともに「利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。利用する時間帯は、開始が「8時」、終了が「18時」の割合が高くなっています。



◎希望する利用時間帯  
・利用開始時間



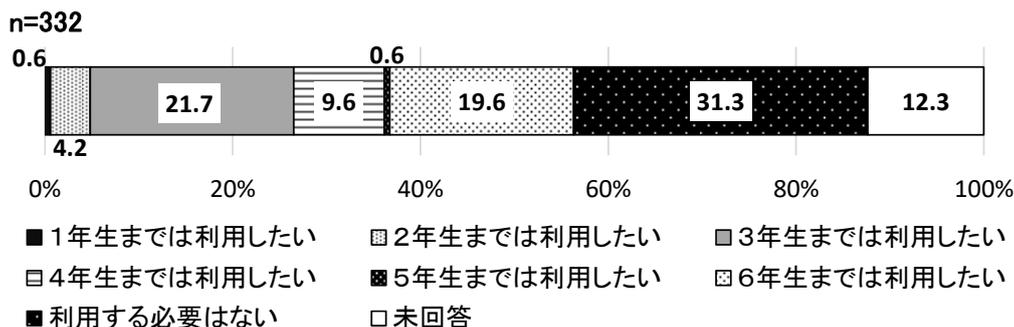
・利用終了時間



問29 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(〇は1つ)

「利用する必要がない」31.3%、次いで「3年生までは利用したい」21.7%となっています。

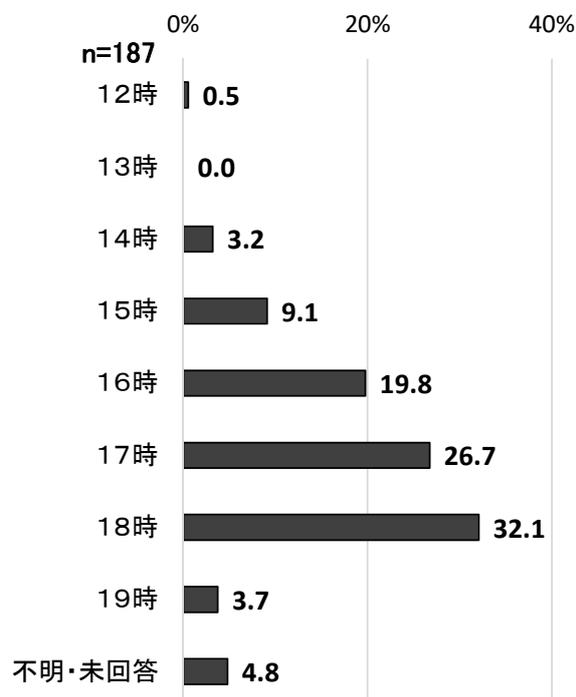
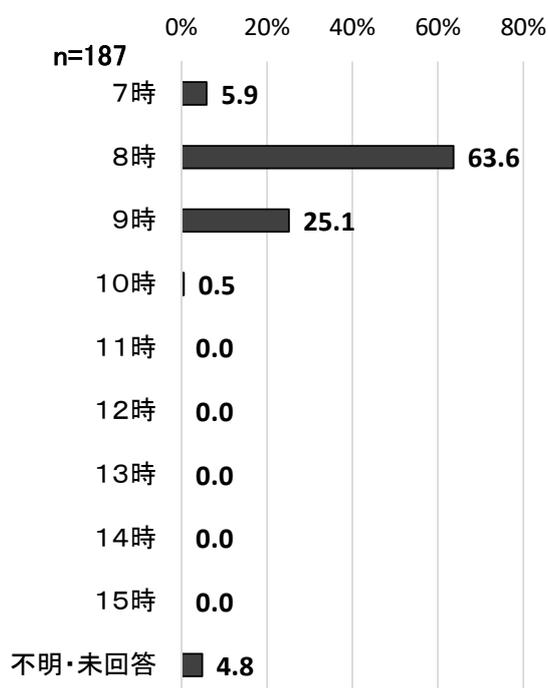
利用する時間帯は、開始時間が「8時」、終了時間が「18時」の割合が最も高くなっています。



◎希望する利用時間帯

・利用開始時間

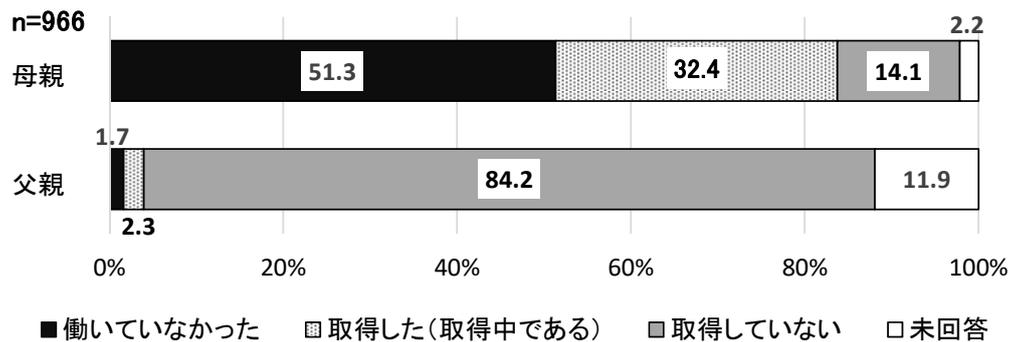
・利用終了時間



すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など  
職場の両立支援制度についてお伺いします。

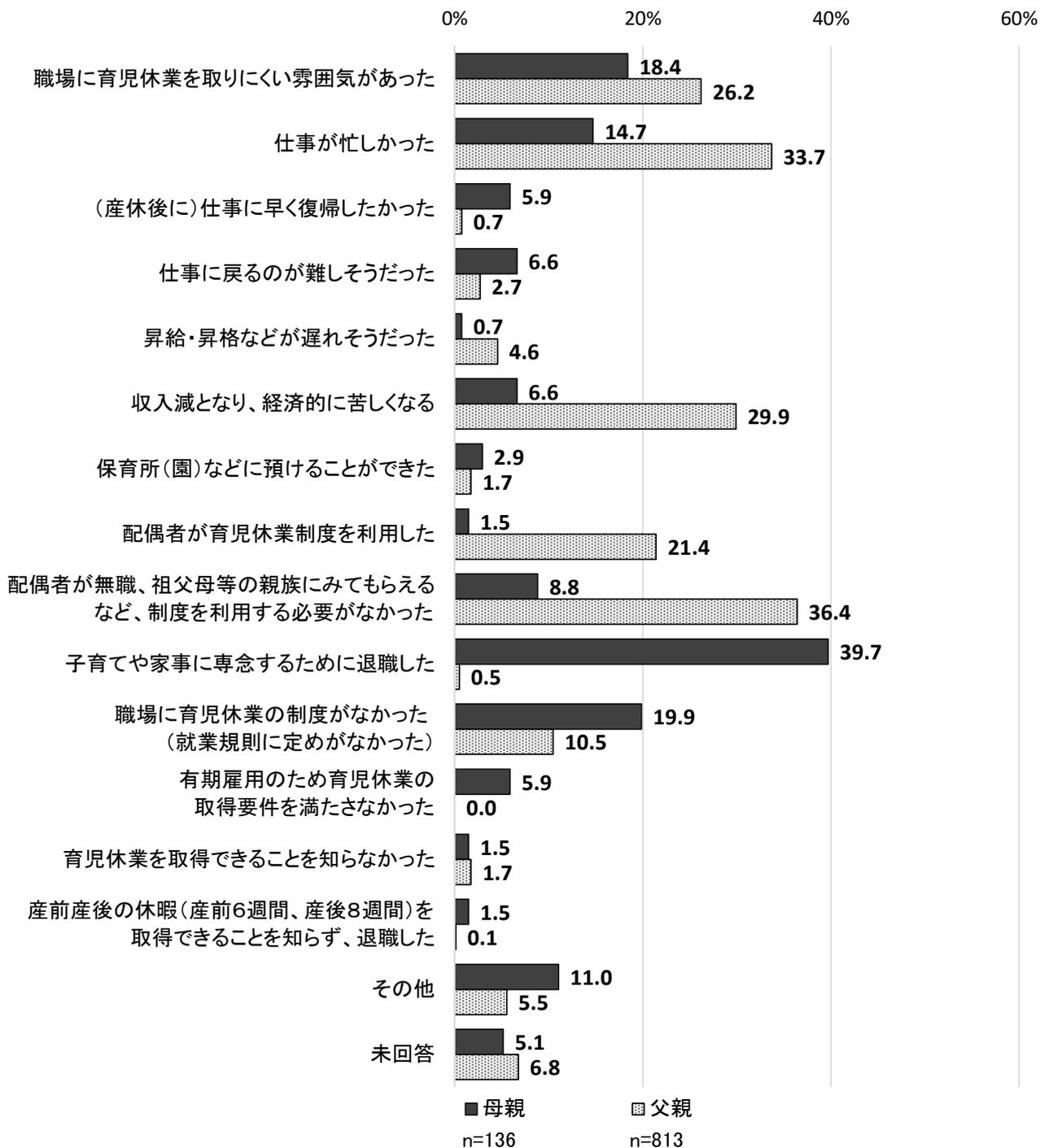
問30 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をご記入ください。(〇は1つ)

子どもが生まれた時の保護者の育児休暇取得状況は、母親「働いていなかった」51.3%、父親「取得していない」84.2%となっています。「取得した(取得中である)」は、母親32.4%、父親2.3%となっています。



育児休業を取得していない理由は、母親「子育てや家事に専念するために退職した」39.7%、父親「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」36.4%、次いで「仕事が忙しかった」33.7%となっています。

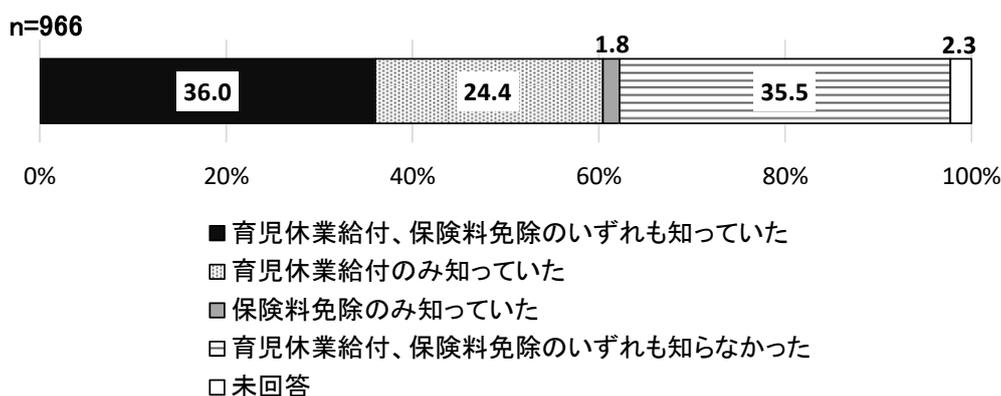
◎取得していない理由



問30-1 育児休業給付の仕組みや、育児休業などの期間に健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

(○は1つ)

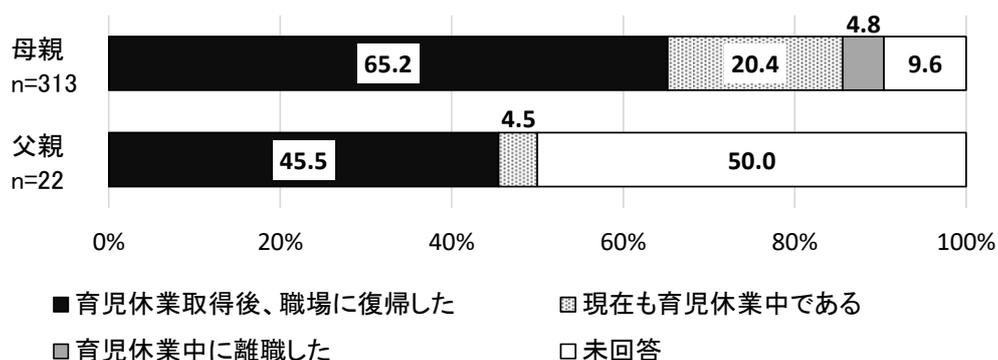
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」36.0%、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」35.5%となっています。



問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は1つ)

※問30で「取得した(取得中である)」と答えた方

母親「育児休業取得後、職場に復帰した」65.2%、父親「育児休業取得後、職場に復帰した」45.5%となっています。

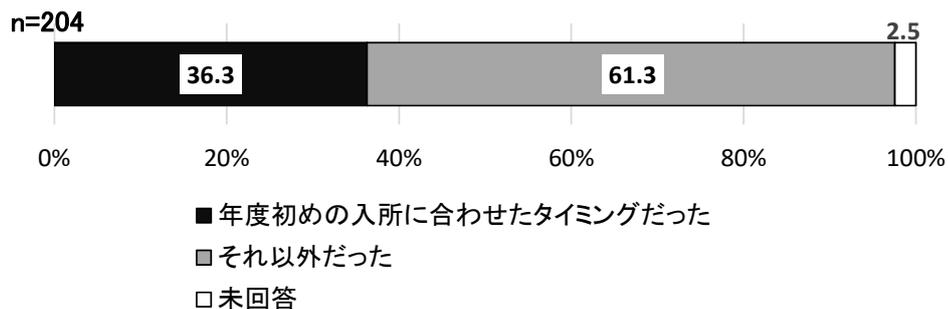


問30-3 育児休業から職場復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（〇は1つ）

※問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

母親の回答は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」36.3%、「それ以外だった」61.3%となっています。

・母親



・父親

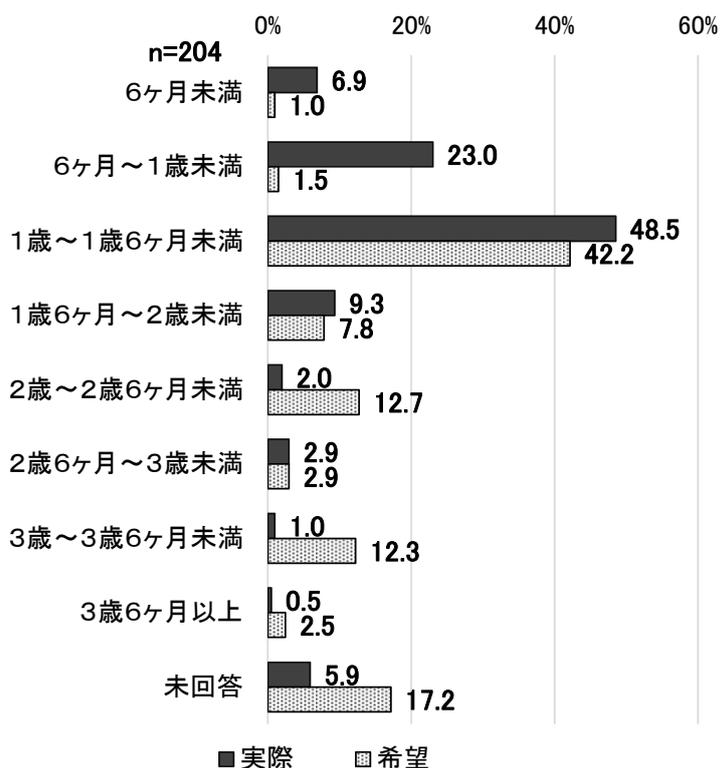
回答	父親	
	件数	割合 (%)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	0	0.0
それ以外だった	10	100.0
未回答	0	0.0
合計	10	100.0

問30-4 育児休業からは「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

※問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

育児休業から実際に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかは、母親の回答は実際と希望ともに「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が最も高くなっています。

・母親



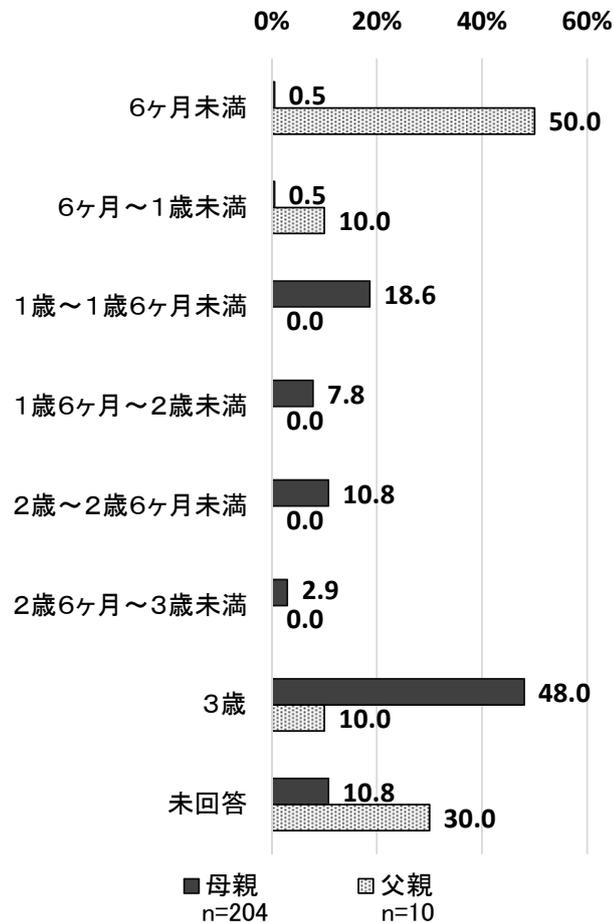
・父親

父親	実際		希望	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
6ヶ月未満	3	30.0	1	10.0
6ヶ月～1歳未満	0	0.0	1	10.0
未回答	7	70.0	8	80.0
合計	10		10	

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

※問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

母親は「3歳」48.0%、父親は「6ヶ月未満」50.0%となっています。



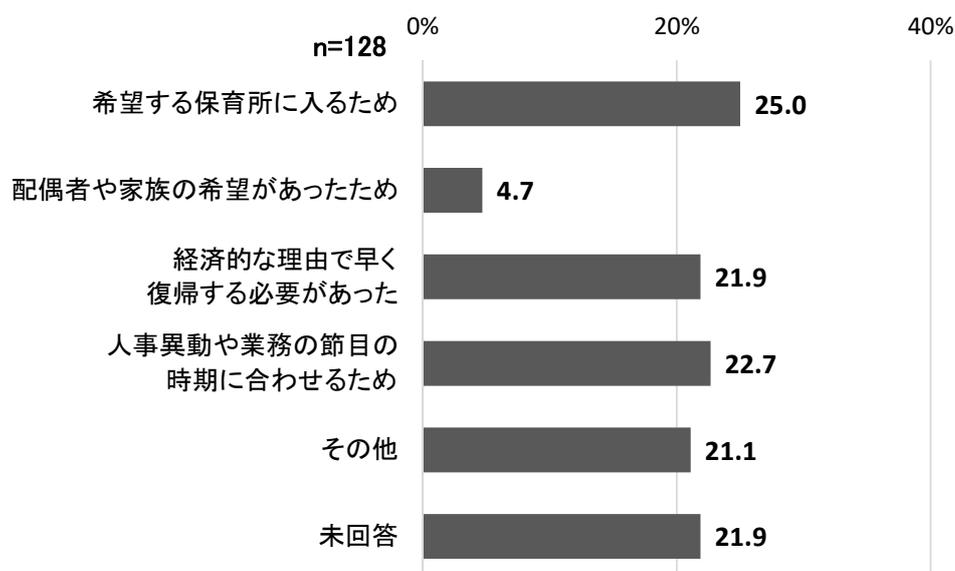
問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※問30-4で実際の復帰と希望が異なる回答をした方

母親の回答で、希望より早く復帰した方は、「希望する保育所に入るため」25.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」22.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」21.9%となっています。希望より遅く復帰した方は、「希望する保育所に入れなかったため」25.0%となっています。

① 「希望」より早く復帰した方

・母親

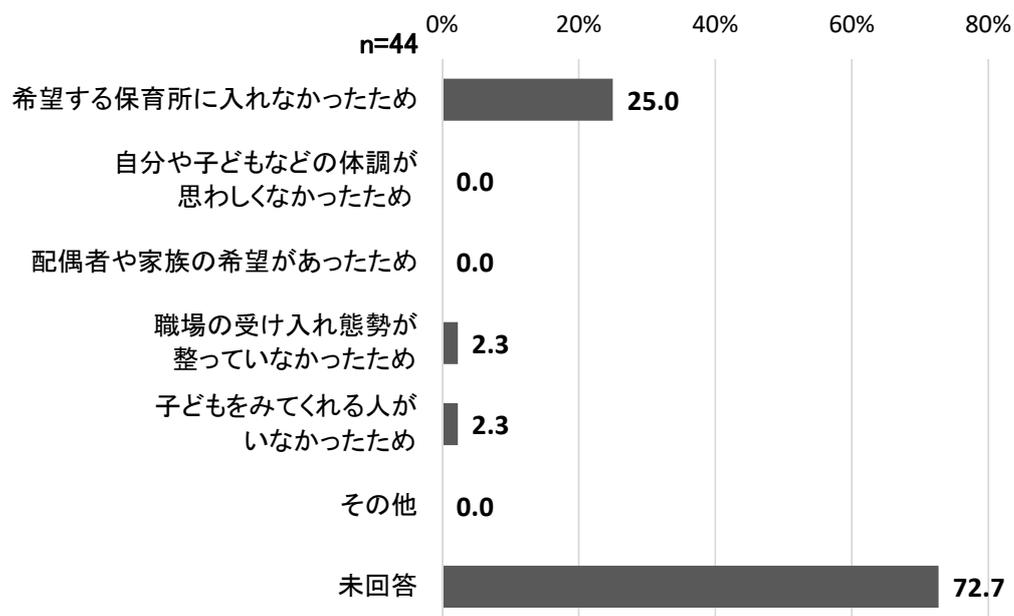


・父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
希望する保育所に入るため	0	0.0
配偶者や家族の希望があったため	1	25.0
経済的な理由で早く復帰する必要があった	1	25.0
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	1	25.0
その他	0	0.0
未回答	1	25.0
合計	4	

②「希望」より遅く復帰した方

・母親



・父親

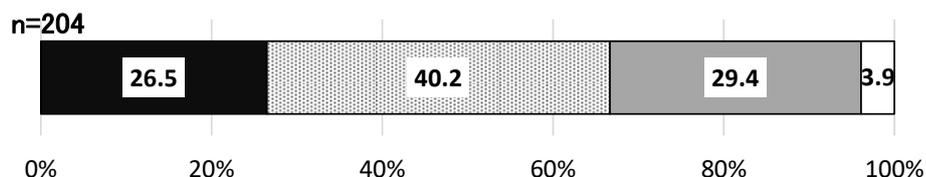
※父親の回答はありませんでした。

問30-7 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。(〇は1つ)

※問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

母親「利用した」40.2%、父親「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」40.0%となっています。

・母親



- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- ▨ 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 未回答

・父親

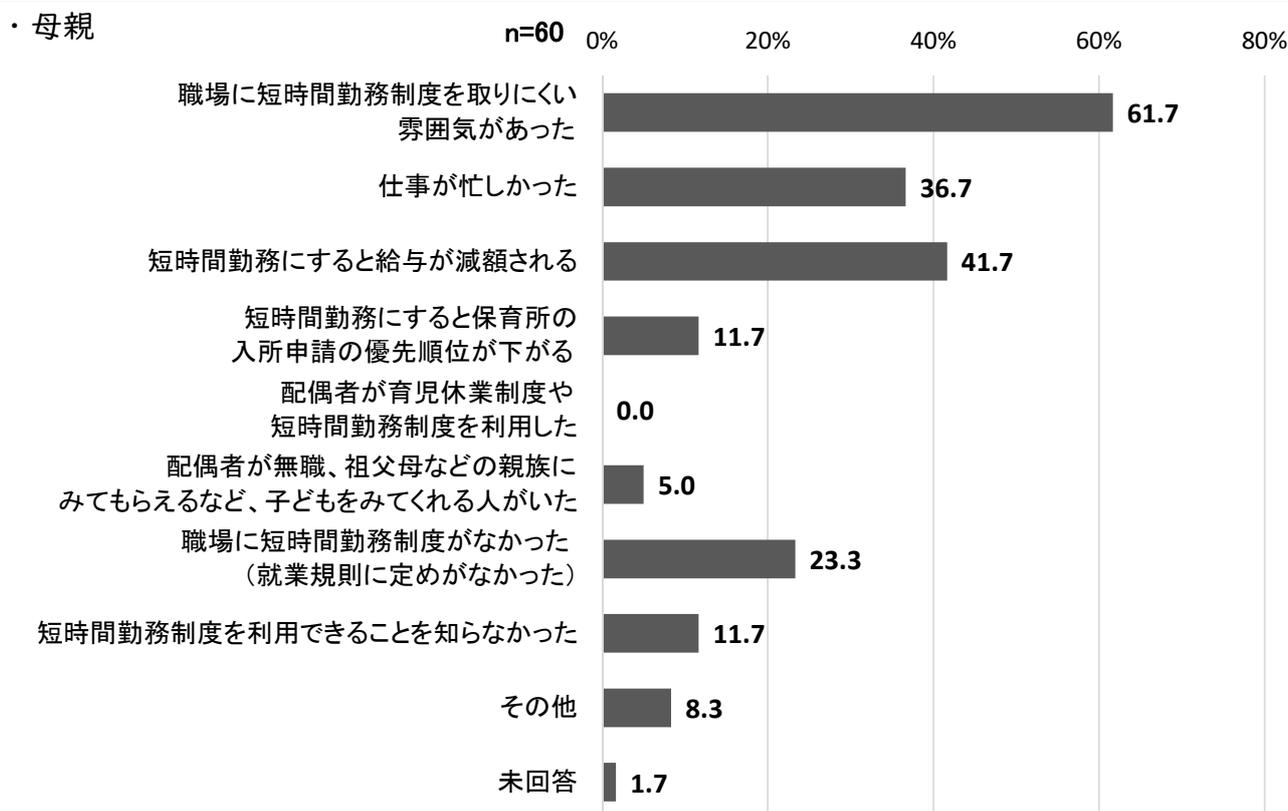
回答	父親	
	件数	割合 (%)
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	4	40.0
利用した	1	10.0
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	1	10.0
未回答	4	40.0
<b>合計</b>	<b>10</b>	<b>100.0</b>

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

（〇はいくつでも）

※問30-7で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と答えた方

母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」61.7%、「短時間勤務にすると給与が減額される」41.7%となっています。



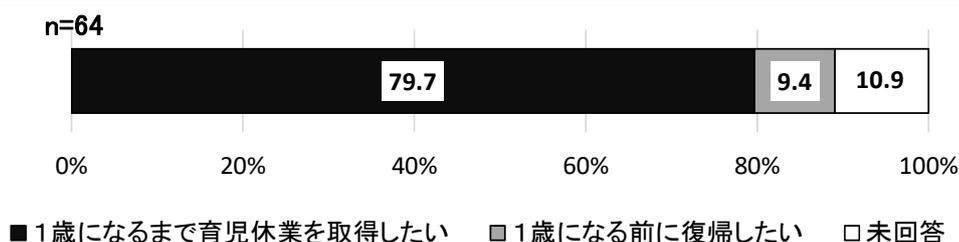
・父親

※父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「その他」（職場に男性の短時間勤務制度がない）にのみ1件の回答がありました。

問30-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（〇は1つ）

※問30-2で「現在も育児休業中である」と答えた方

「1歳になるまで育児休業を取得したい」79.7%となっています。

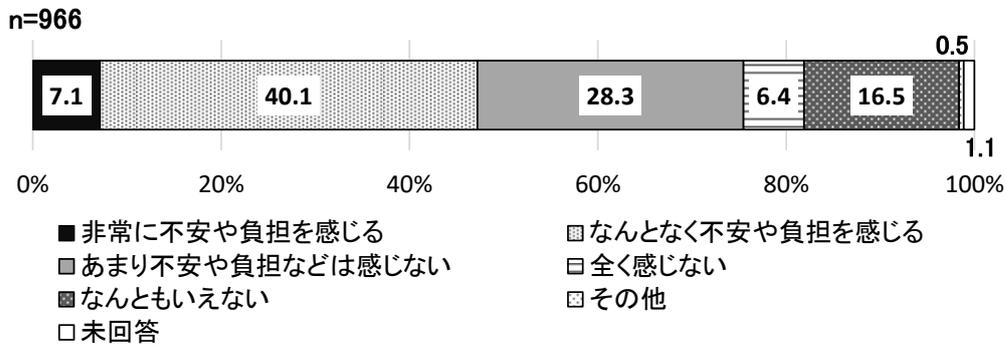


※父親の回答はありませんでした。

## 子育て全般についてお伺いします

### 問31 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか。(〇は1つ)

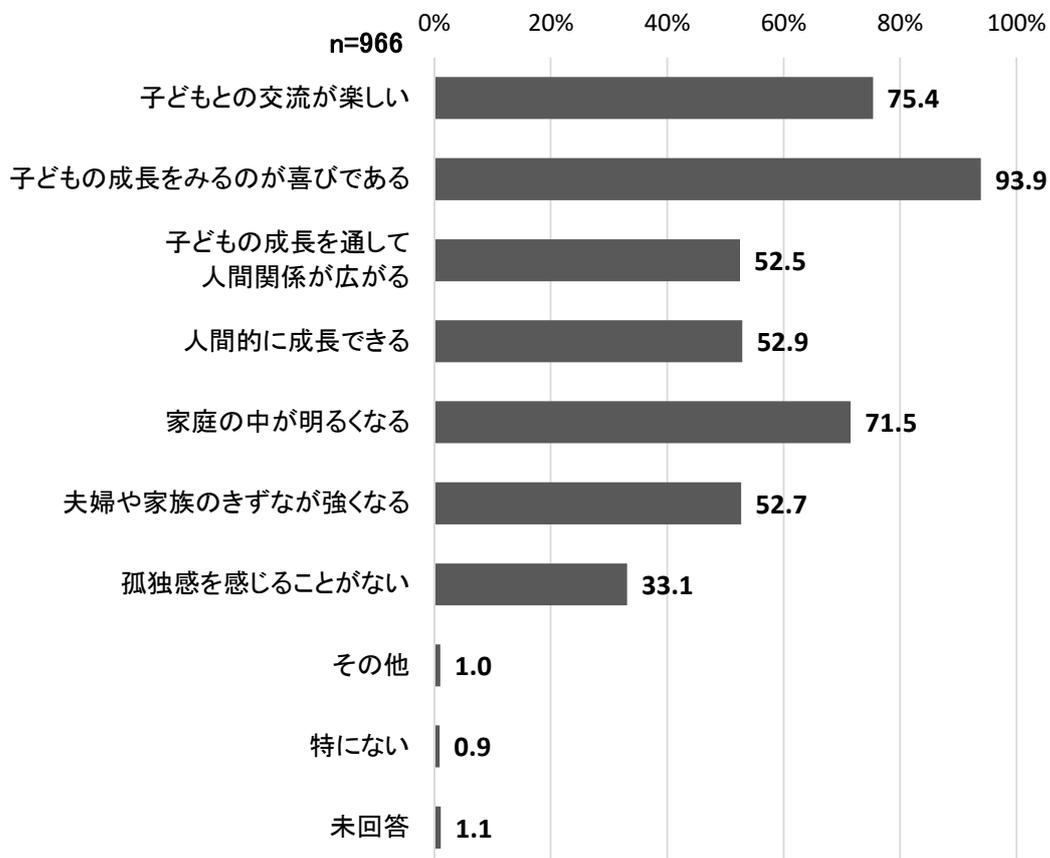
「なんとなく不安や負担を感じる」40.1%、次いで「あまり不安や負担などは感じない」28.3%となっています。



### 問32 あなたは、子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありますか。

(〇はいくつでも)

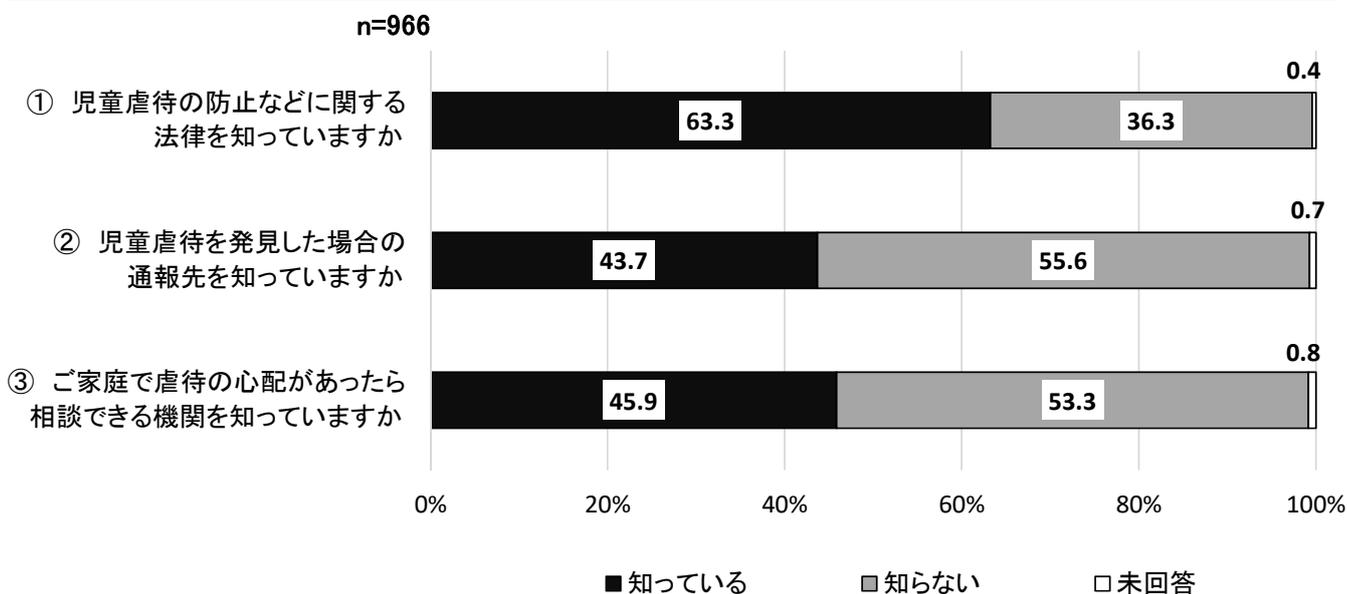
上位から「子どもの成長をみるのが喜びである」93.9%、「子どもとの交流が楽しい」75.4%、「家庭の中が明るくなる」71.5%となっています。



問33 あなたは、児童虐待について次のことを知っていますか。

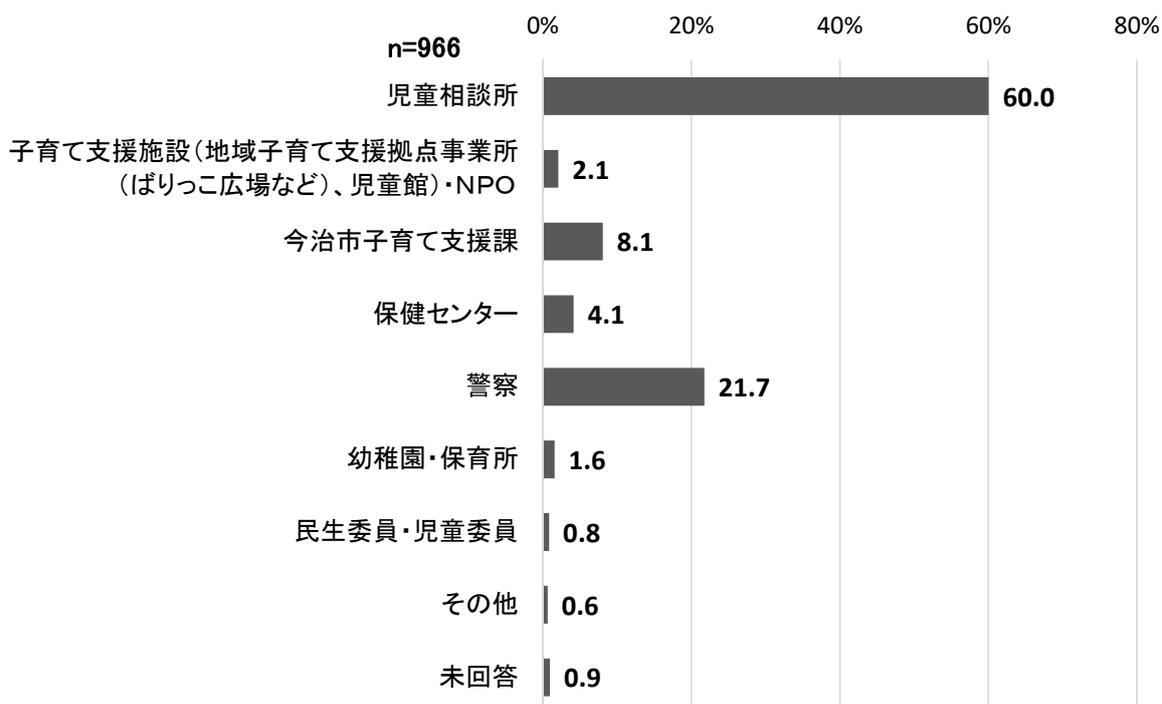
(①～③のそれぞれに○は1つずつ)

児童虐待の防止などに関する法律を知っている 63.3%、児童虐待を発見した場合の通報先を知らない 55.6%、相談機関を知らない 53.3%となっています。



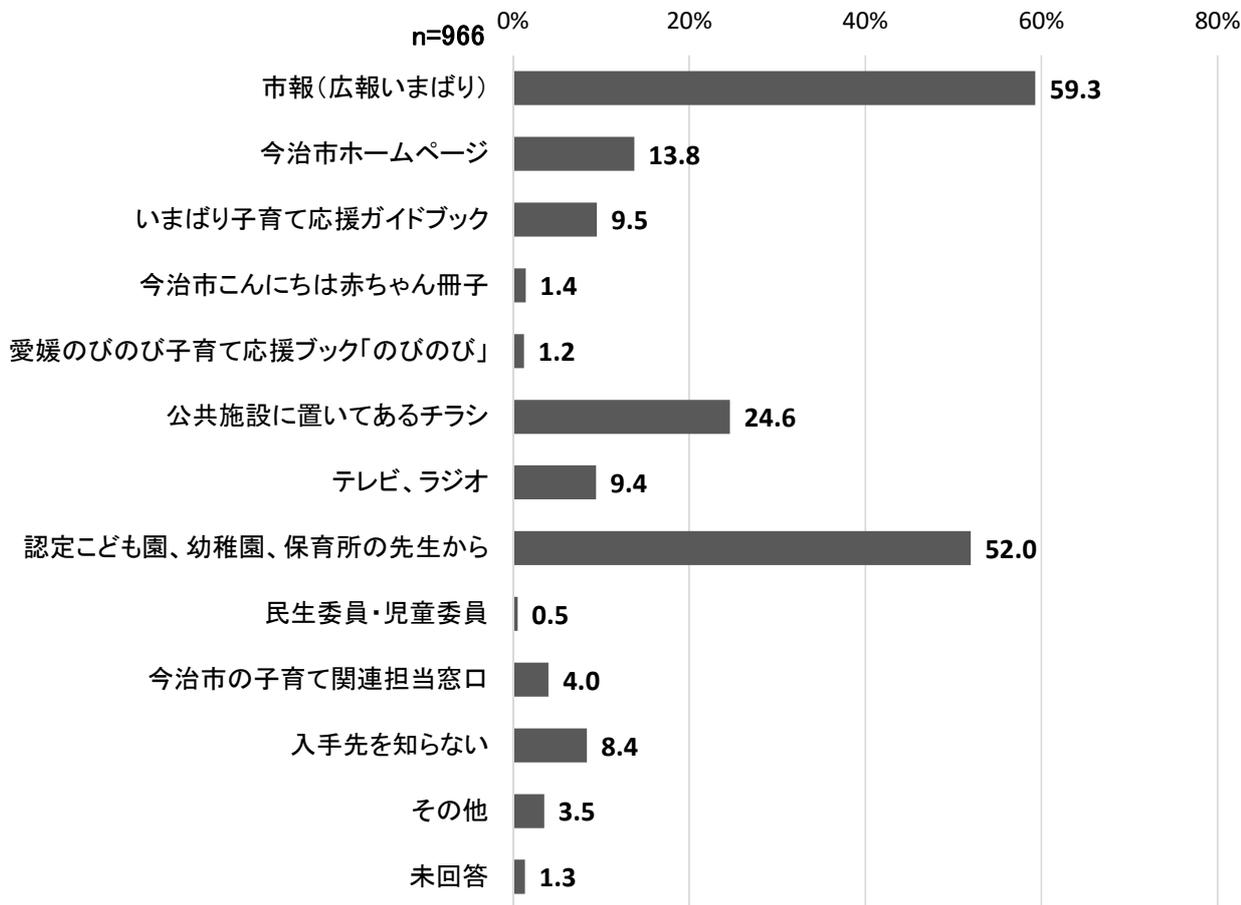
問34 あなたは、児童虐待を発見した場合、どこに通報しますか。(○は1つ)

児童虐待を発見した場合の通報先は、「児童相談所」60.0%、次いで「警察」21.7%となっています。



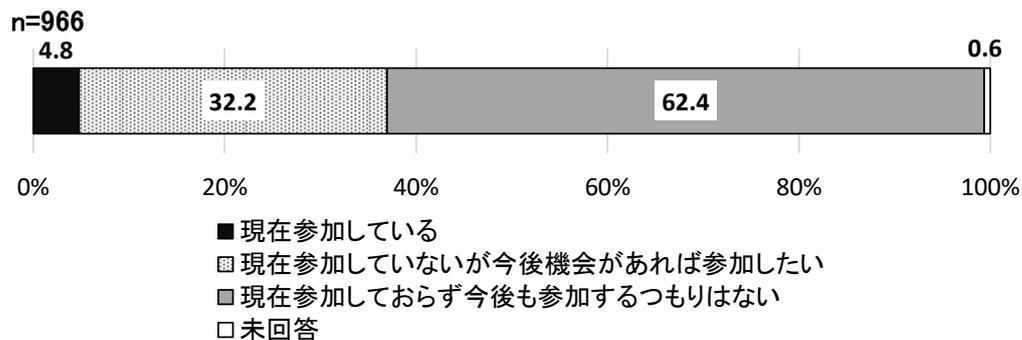
問35 あなたは、今治市の子育てに関する情報はどこから入手していますか。  
(〇はいくつでも)

「市報(広報いまばり)」59.3%、次いで「認定こども園、幼稚園、保育所の先生から」52.0%となっています。



問36 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。(〇は1つ)

「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」62.4%となっています。

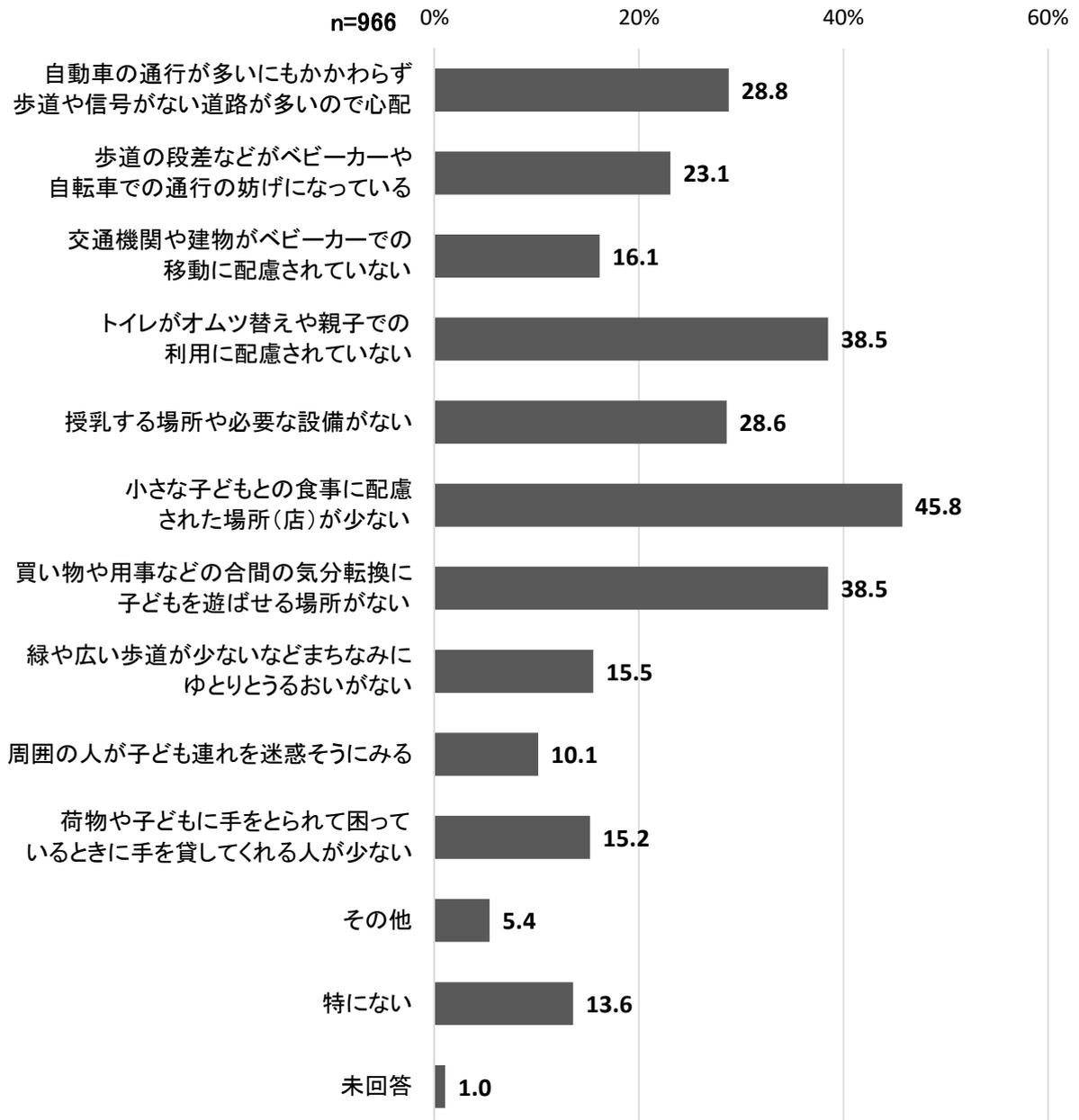


## 子育てを支援する生活環境の整備についてお伺いします

問37 あて名のお子さんとの外出の際、困ること・今までに困ったことは何ですか。

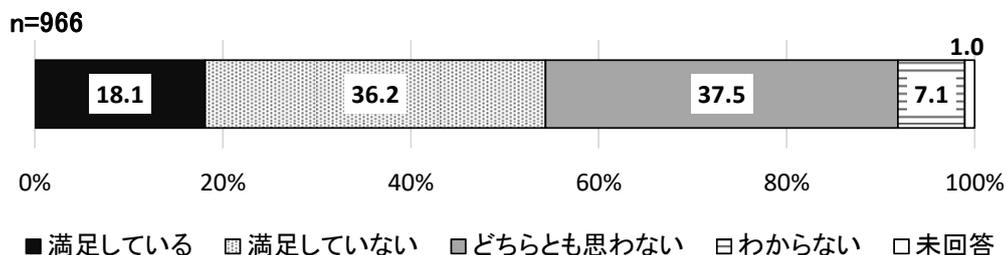
(〇はいくつでも)

上位から「小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない」45.8%、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」と「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」38.5%となっています。



問38 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(〇は1つ)

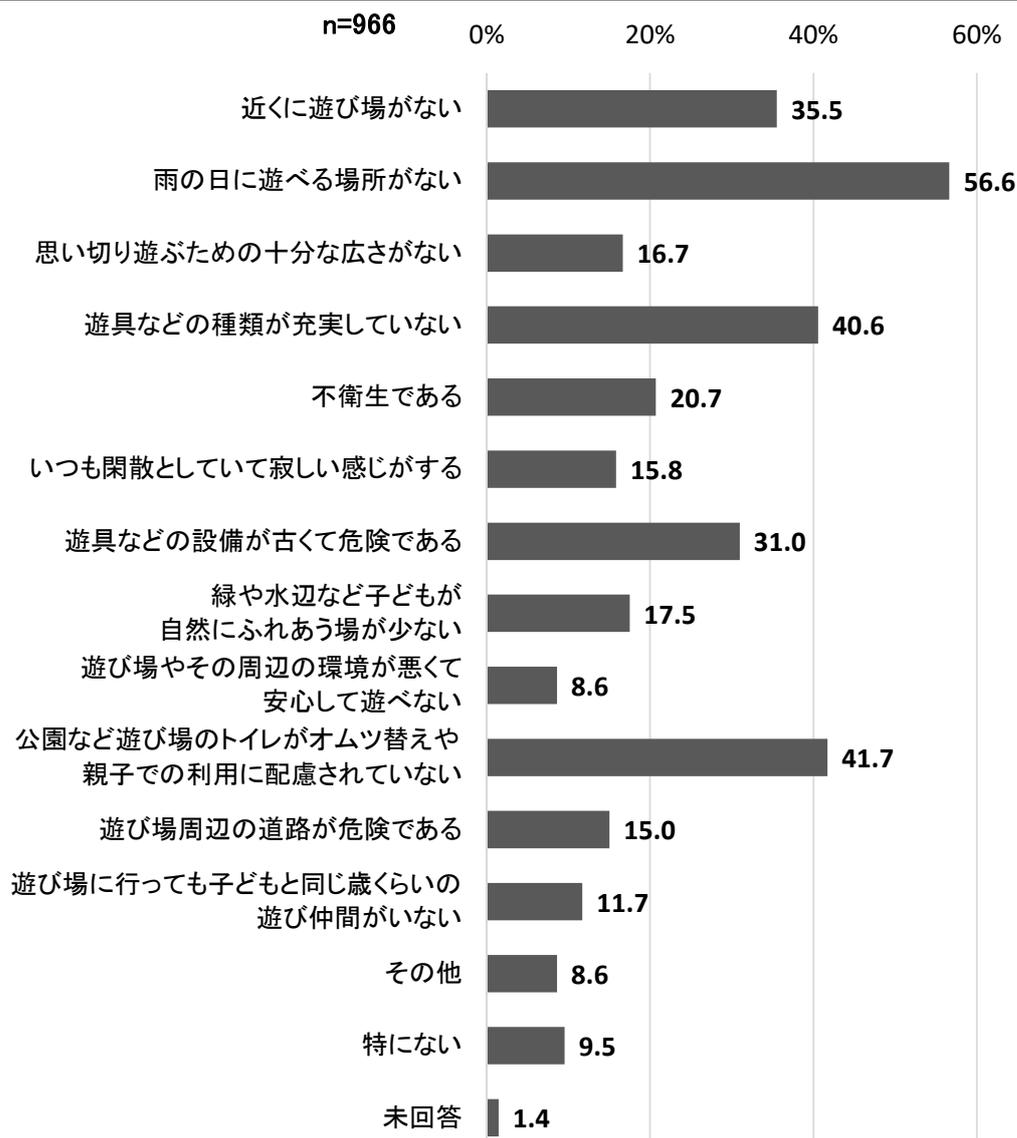
「どちらとも思わない」37.5%、次いで「満足していない」36.2%となっています。



問39 お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

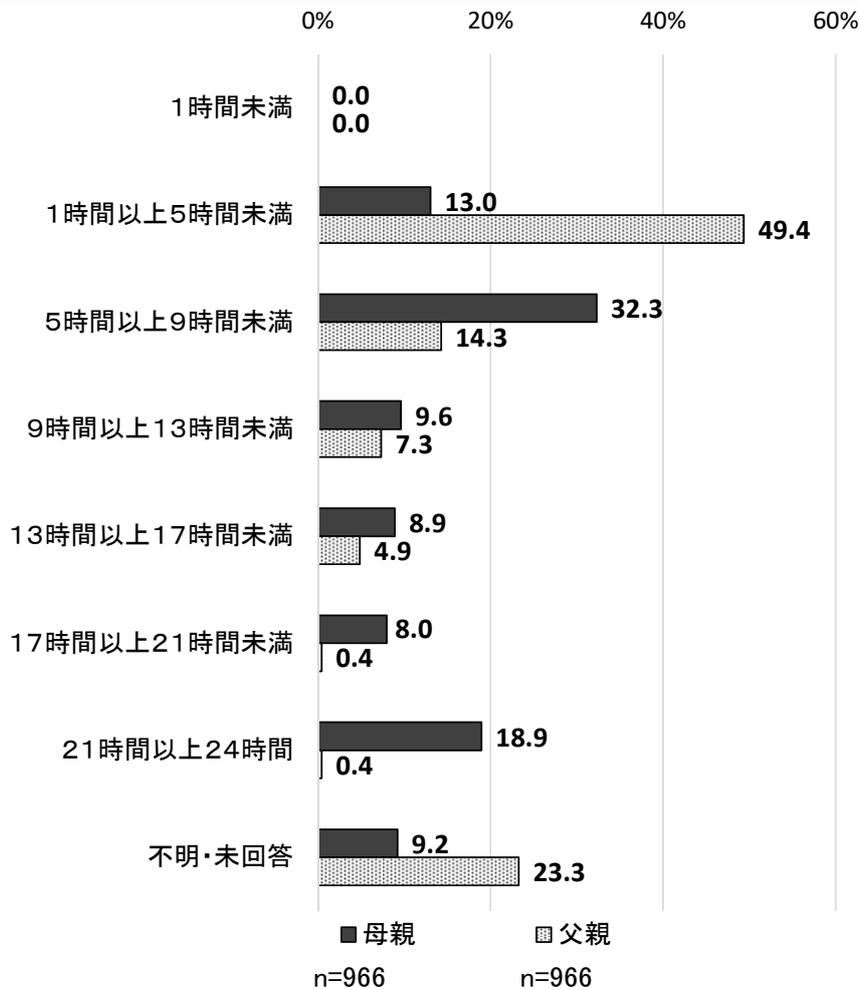
(〇はいくつでも)

上位から「雨の日に遊べる場所がない」56.6%、「公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」41.7%、「遊具などの種類が充実していない」40.6%となっています。

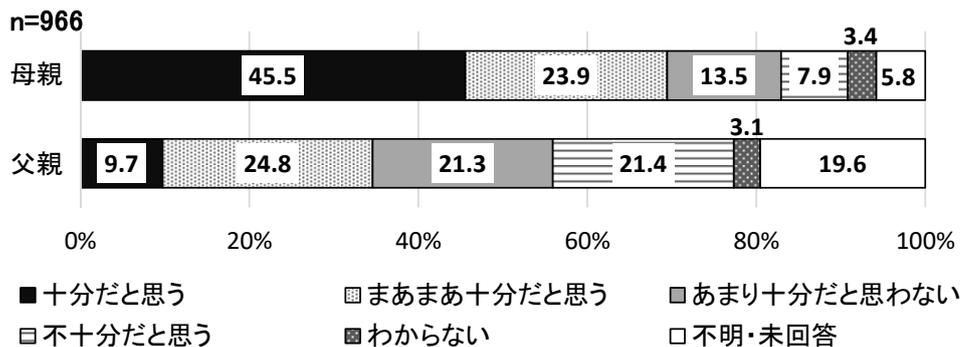


**仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします**  
**問40** 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。また、その時間は十分だと思いますか。（〇は1つ）

子どもと一緒に過ごす時間は、母親「5時間以上9時間未満」32.3%、父親「1時間以上5時間未満」49.4%となっています。その時間を十分と思うかは、母親「十分と思う」45.5%、父親「まあまあ十分と思う」24.8%となっています。

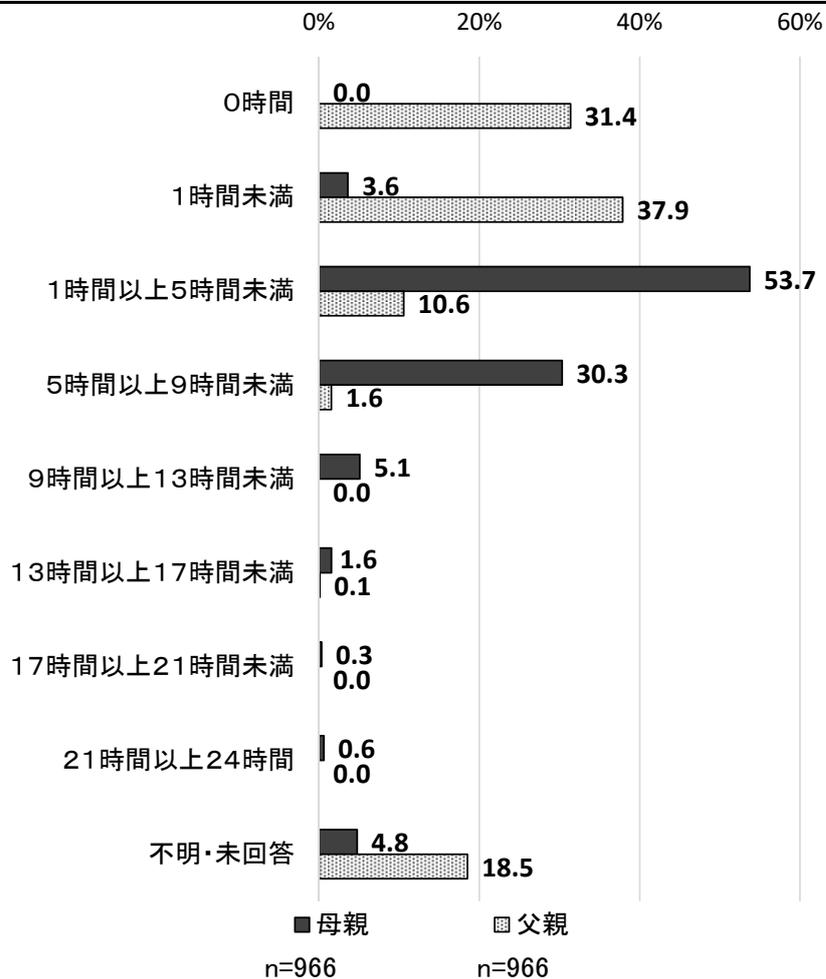


◎その時間は十分だと思うか



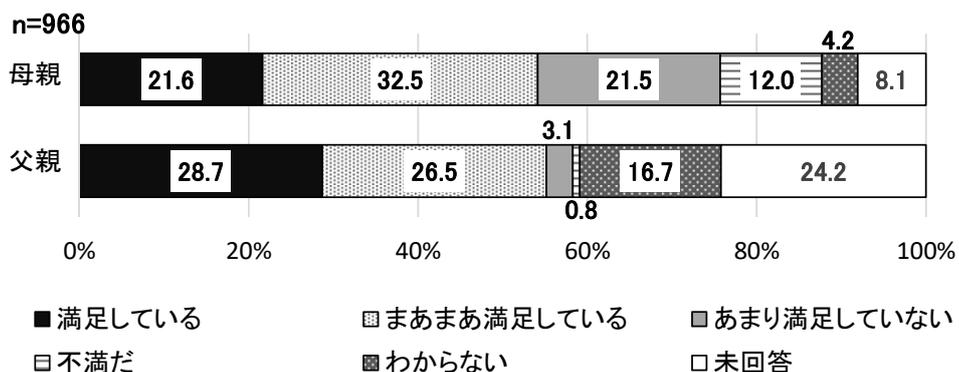
問41 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。(1週間の平均的な時間をお答えください。)

母親が「2時間以上5時間未満」53.7%、次いで「5時間以上9時間未満」30.3%、父親が「1時間未満」37.9%、次いで「0時間」31.4%となっています。



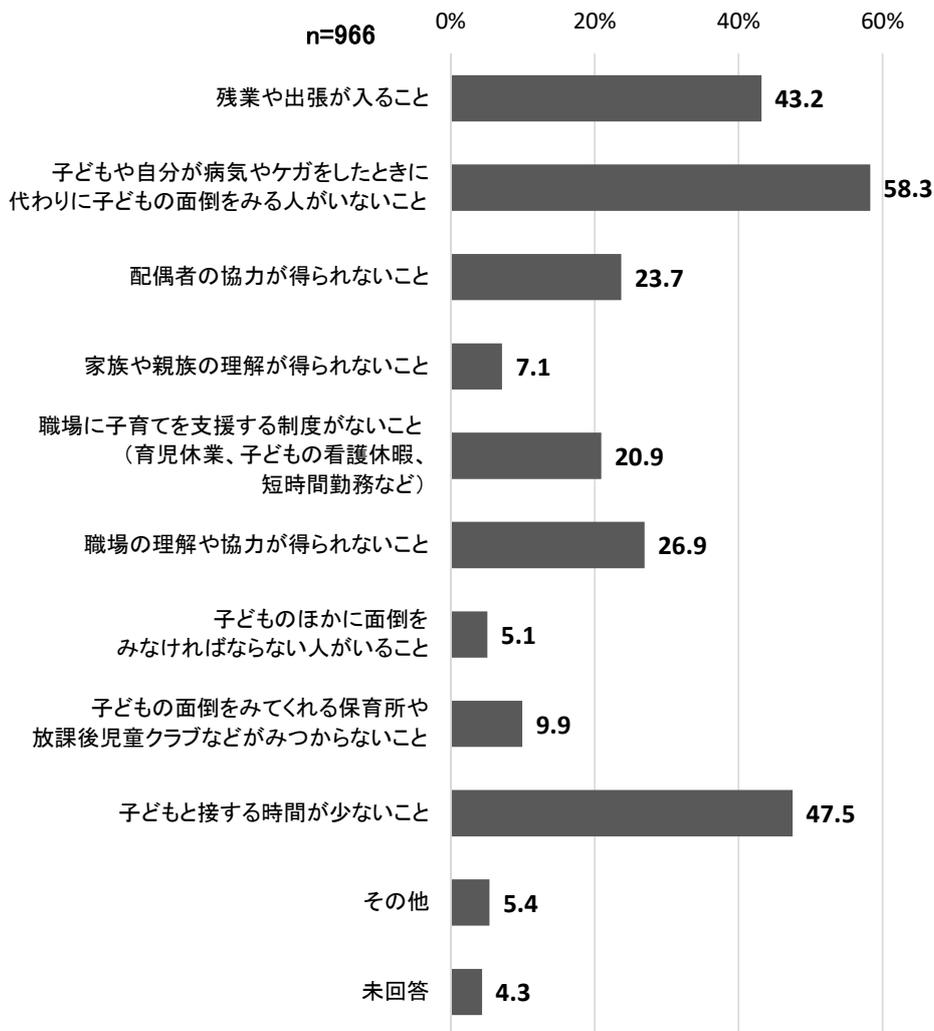
問42 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。(〇は1つ)

配偶者との家事、育児分担の満足度は、母親「まあまあ満足している」32.5%、父親「満足している」28.7%となっています。



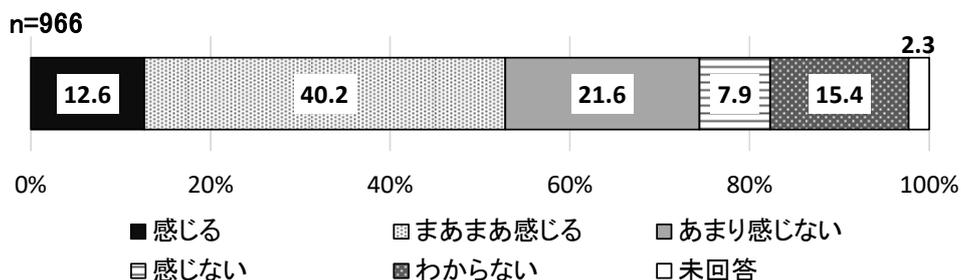
問43 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。（〇はいくつでも）

上位から「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」58.3%、「子どもと接する時間が少ないこと」47.5%、「残業や出張が入ること」43.2%となっています。



問44 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。（〇は1つ）

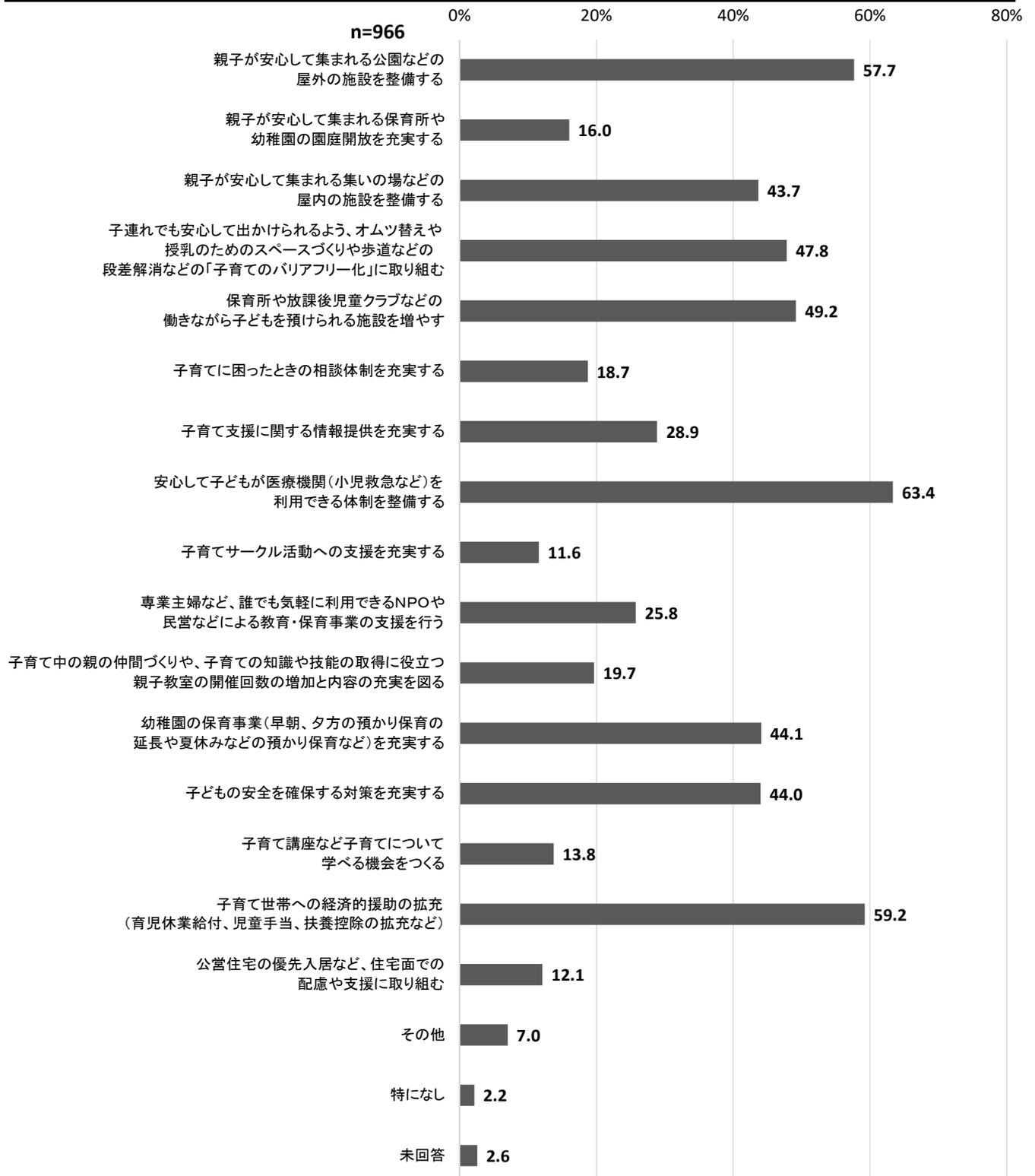
「まあまあ感じる」40.2%、次いで「あまり感じない」21.6%となっています。



## 行政への要望についてお伺いします

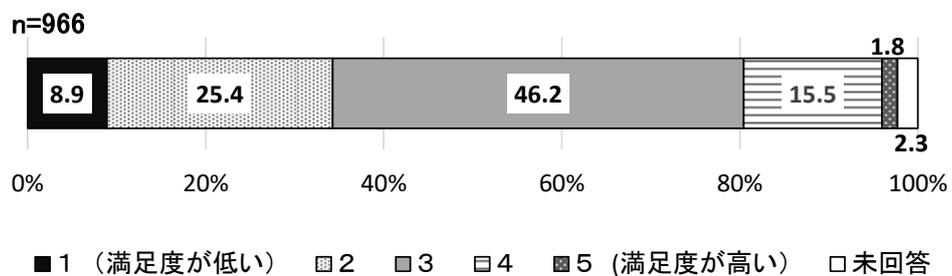
問45 行政に対して、子育て支援の現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。（〇はいくつでも）

上位から「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」63.4%、「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など）」59.2%、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」57.7%となっています。



問46 今治市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。  
(○は1つ)

「満足度 3」46.2%の割合が最も高くなっています。

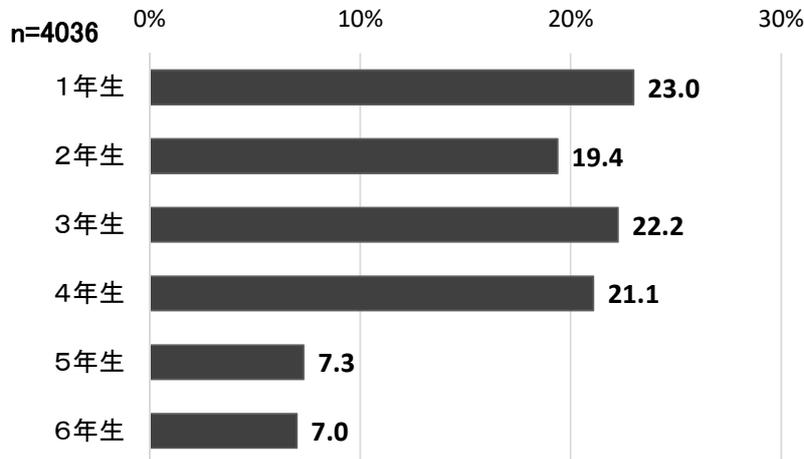


#### IV 調査結果（放課後児童クラブ）

## 放課後児童クラブに関するアンケート調査

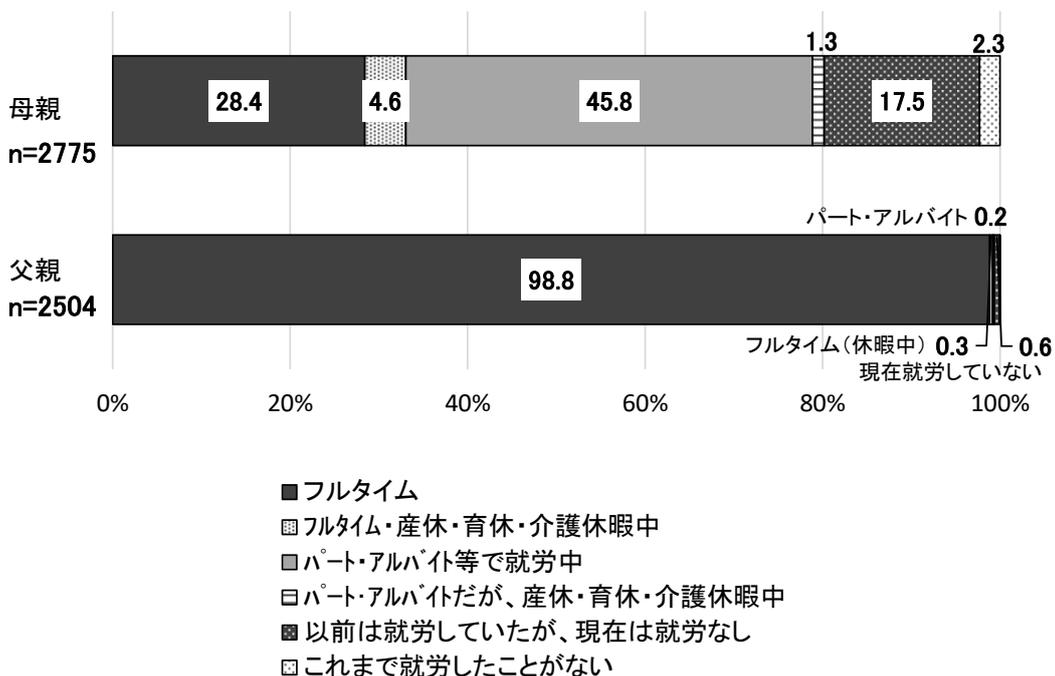
### 問1 お子さんの学年と人数を教えてください。

回答いただいた小学校各学年の割合は、上位から「1年生」23.0%、「3年生」22.2%、「4年生」21.1%となっています。



### 問2 保護者の就労状況について、ご両親それぞれの、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（〇は1つ）

保護者の現在の就労状況は、母親は「パート・アルバイト等で就労中」45.8%、次いで「フルタイム」28.4%となっています。産休・育休・介護休暇中も含めると、フルタイム33.0%、パート・アルバイト47.1%となっています。父親は「フルタイム」98.8%の割合が最も高くなっています。産休・育休・介護休暇中も含めると、「フルタイム」99.1%となっています。

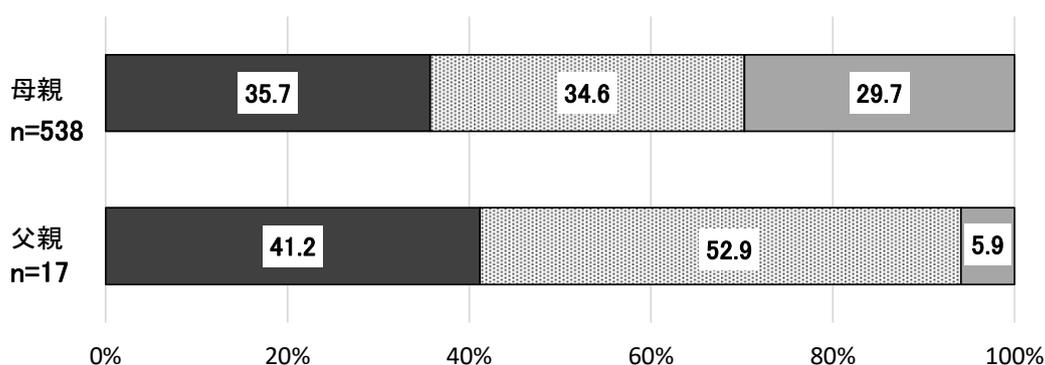


### 問3 就労したい希望はありますか。(〇は1つ)

※問2で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と答えた方

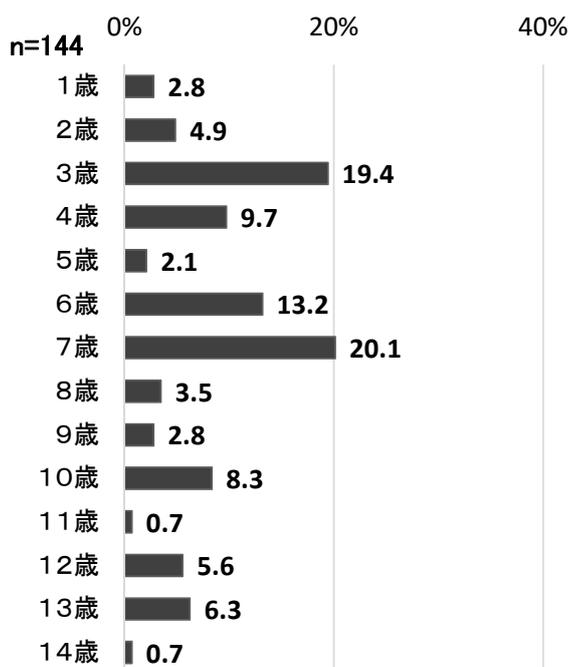
現在就労していない方の就労希望は、母親「子育てに専念したい」35.7%、次いで「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」34.6%となっています。父親「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」52.9%、次いで「子育てに専念したい」41.2%となっています。

また、一番下の子が何歳になったら就労したいかは、「7歳」20.1%、次いで「3歳」19.4%となっています。



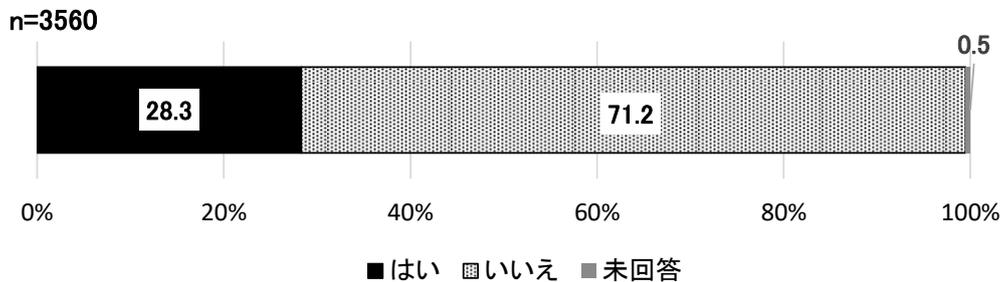
- 子育てに専念したい
- ▨ すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 1年より先。一番下の子が〇歳になったら就労したい

#### ◎一番下の子が何歳になったら就労したいか



**問4 現在、お子さんは児童クラブに入会していますか。(〇は1つ)**

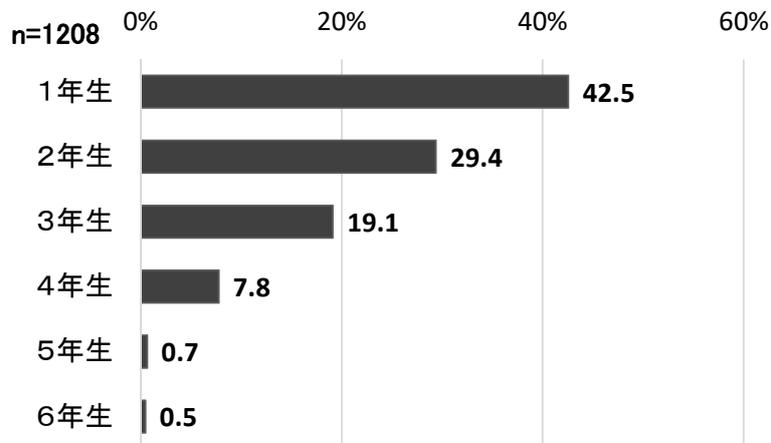
「いいえ」71.2%、「はい」28.3%となっています。



**問5 放課後児童クラブを利用しているお子さんの学年と人数を教えてください。**

※問4で「はい」と答えた方

放課後児童クラブを利用している学年は、「1年生」42.5%、次いで「2年生」29.4%となっています。1年生から6年生に学年が上がるごとに利用者は減っていきます。

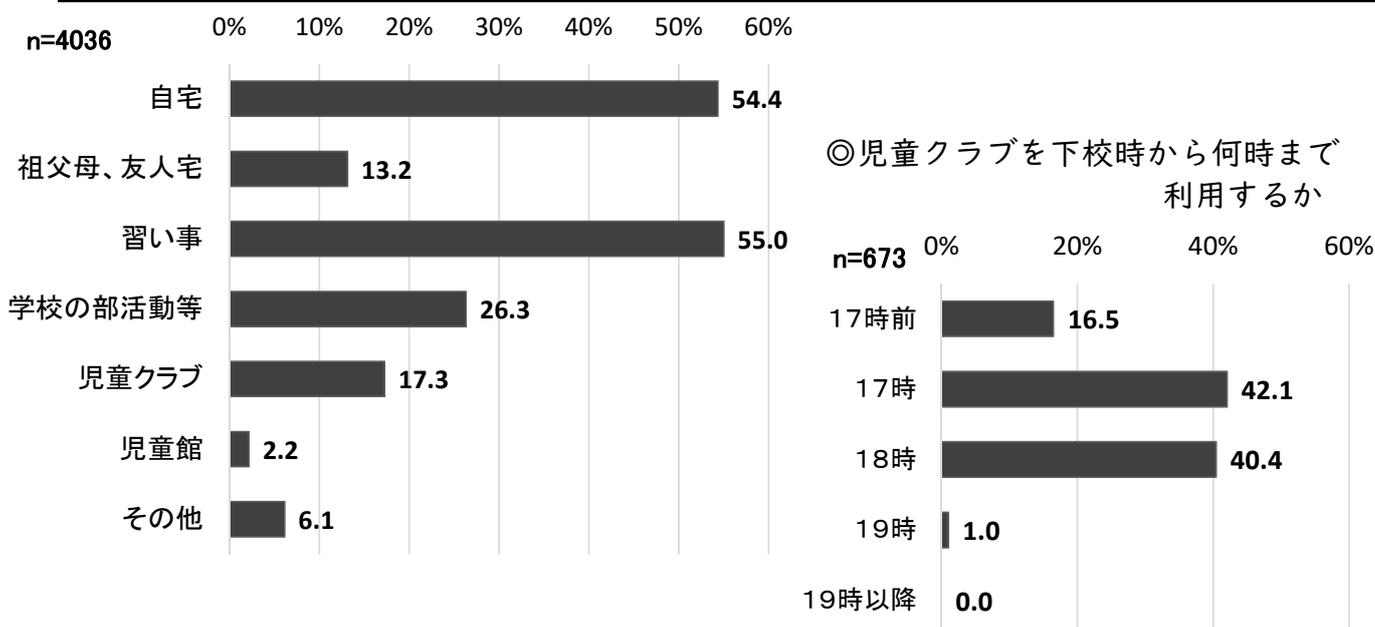


**問6 小学校高学年(4～6年)の期間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしたいと思いますか。または、過ごしていますか。(〇はいくつでも)**

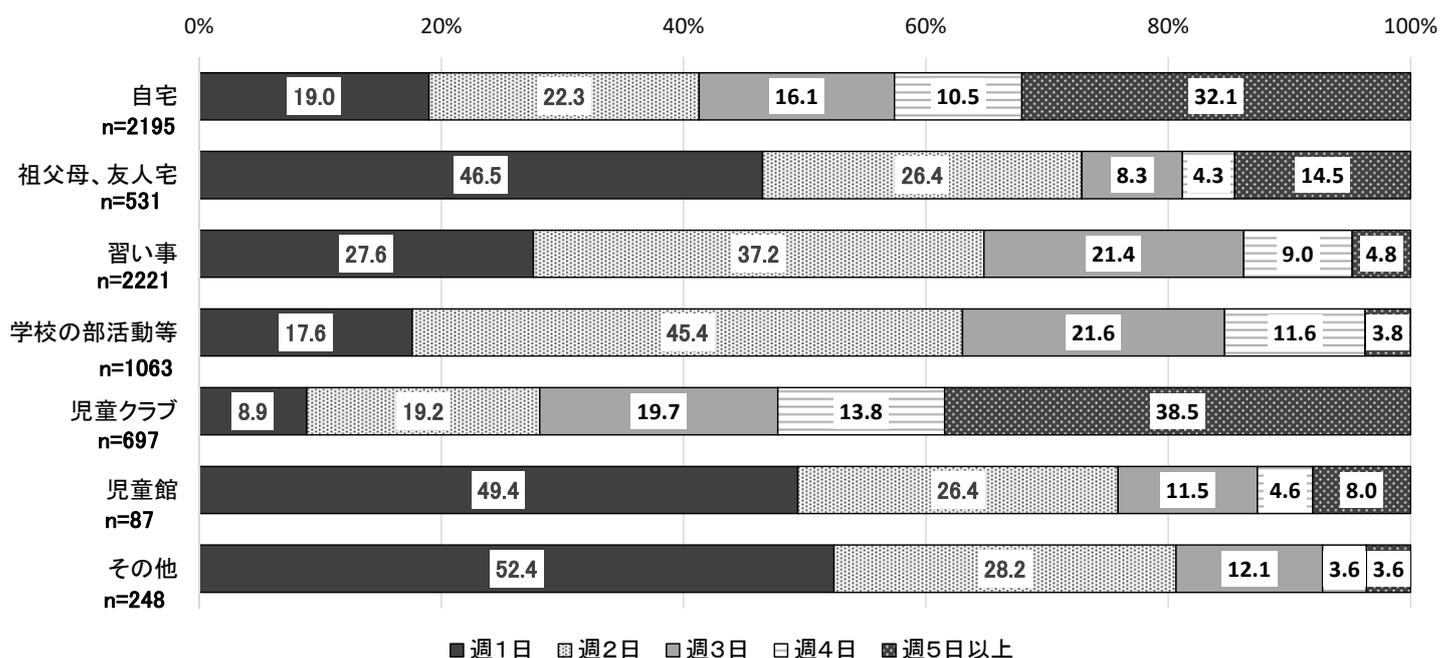
小学校高学年の期間、放課後に過ごしたい(過ごしている)場所は、「習い事」55.0%、次いで「自宅」54.4%となっています。

場所ごとに最も多い週当たりの日数をみると、週1日は「祖父母、友人宅」と「児童館」が多く、週2日は「習い事」と「学校の部活動等」が多く、週5日以上は「自宅」と「児童クラブ」が多くなっています。

児童クラブを下校時から何時まで利用したいかは、「17時」42.1%、次いで「18時」40.4%となっています。



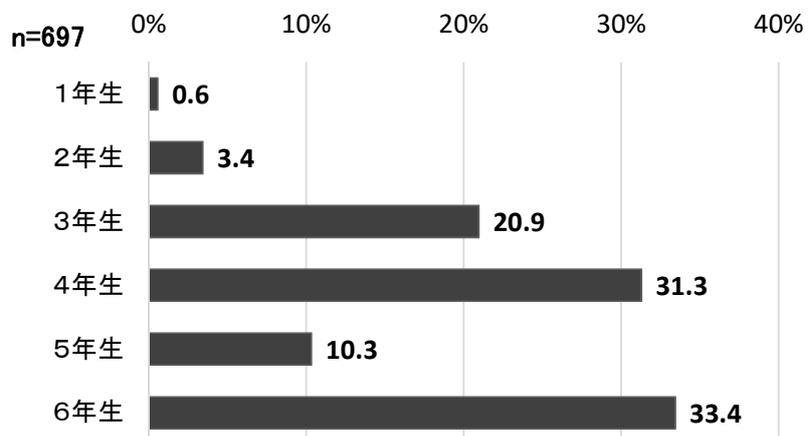
**◎放課後過ごしたい場所での週当たり日数**



問7 児童クラブを何年生までは、利用したいと考えていますか。

※問6で「児童クラブ」と答えた方

児童クラブの利用を何年生まで利用したいかは、上位から「6年生」33.4%、「4年生」31.3%、「3年生」20.9%となっています。



平成 30 年度 第 1 回 今治市子ども・子育て会議 教育・保育部会の開催結果報告について

(H31.2.13 開催)

## 1 議題

## (1) 平成 31 年度特定教育・保育施設の利用定員の設定について

**提案理由**

特定教育・保育施設の利用定員を定める場合は、子ども・子育て支援法第 31 条第 2 項の規定により、あらかじめ子ども・子育て会議の意見を聴かなければならないことによる。

## ア. 新たに新制度に移行する幼稚園

名称	所在地	利用定員(人)				計
		1号	2号	3号		
				0歳	1,2歳	
唐子幼稚園	今治市東村南2丁目2-10	210	0	0	0	210

## イ. 定員変更

(変更前)

名称	所在地	利用定員(人)				計
		1号	2号	3号		
				0歳	1,2歳	
しまなみの杜 認定こども園	今治市しまなみの杜2-1	180	50	6	34	270



(変更後)

名称	所在地	利用定員(人)				計
		1号	2号	3号		
				0歳	1,2歳	
しまなみの杜 認定こども園	今治市しまなみの杜2-1	180	50	6	44	280

**【変更理由】**

市内で唯一就学前児童数が増加している校区にあり、地域における教育・保育ニーズも増大している。平成 27 年度から新制度に移行しているが、3号定員について、定員を超えるニーズが常態化しており、これに対応するため、3号定員 10 名の増員を行おうとするものである。

**教育・保育部会での審議結果** ⇒ ともに承認とされた。

## (2) 今治市子ども・子育て支援事業計画（第 2 期）の策定について

来年度における今治市子ども・子育て支援事業計画（第 2 期）の策定について、部会における審議の実施及び、策定までのスケジュールについて説明、了承を得た。